LUI SX

AV機能ガイド

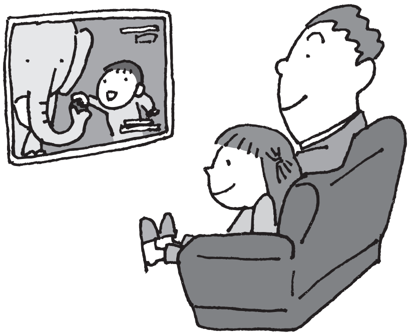
録画・映像・音楽を楽しむ本

Luiのある生活。
録画・映像・音楽を楽しむ方に。

LuiStationで録画する
Windows Media Centerで
映像・音楽を楽しむ



Luiのある暮らし



2台のデジタルチューナーが裏番組までしっかりキャッチ。
お好みの番組を逃さず録画できます。
パソコンに取り込んだCDの音楽やホームビデオの映像、
デジタルカメラの写真もリモコンから操作できます。
ホームネットワークで配信すれば、リビングでも書斎でも、
テレビ番組や音楽を楽しむことができます。

●地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送を最大2番組同時録画可能！

番組表から手軽に録画(p.35)/おまかせ番組表で番組を探す(p.44)
放送局を選んで、まるごと録画もOK！(p.49)



LuiStation



●映像、音楽、写真など、さまざまなマルチメディアデータを一括管理＆ネットワーク配信！

DLNAを使用して、ホームネットワーク内の機器にコンテンツを配信できます。
デジタル放送の録画番組も、DTCP-IPで配信可能！※(p.106)

※外出先からデジタル放送の録画番組を視聴することはできません。

●外出先からこのパソコンのファイルやデータにアクセスできる！※

「セーフコネクト」機能でこのパソコンのコンテンツにアクセス！(p.109)

※ご使用のモデルによって利用可能な機能は異なります。

このマニュアルの表記について

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠注意	人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

❗	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
ポイント	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。
地上デジタル放送	地上デジタル放送のみの内容を示しています。
BSデジタル放送	BS・110度CSデジタル放送のみの内容を表しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ、DVDスーパーマルチドライブのいずれかを指します。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」はデスクトップの（サポートナビゲーター（電子マニュアル））をダブルクリックして起動します。

853-810939-001-A
2008年4月　初版

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、Windows Vista	Windows Vista® Home Premium Service Pack 1
Windows Media Center	Windows® Media Center
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
DVD MovieWriter for NEC	DVD MovieWriter® for NEC Ver.5
WinDVD for NEC	InterVideo® WinDVD® for NEC
WinDVD BD for NEC	InterVideo WinDVD BD® for NEC
Corel Paint Shop Pro Photo	Corel® Paint Shop Pro® Photo XI
ウイルスバスター	ウイルスバスター™2008
「スタート」、「スタート」ボタン	Windows Vista® スタート ボタン

ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
（4） 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5） 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6） 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
（7） 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business またはWindows Vista® Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8） ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9） あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
（10） この製品は、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しています。

目次　CONTENTS

付　録　135

PART 1

ご使用前の準備

テレビを録画したり、音楽や映像などを楽しむための準備をしましょう。
アンテナケーブルの接続と、Windows Media Centerのセットアップ、LuiStationの設定が必要です。

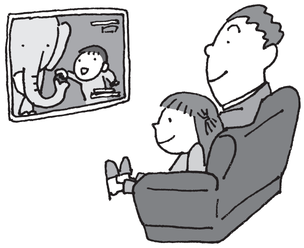
PART 1
ご使用前の準備

このマニュアルの読み方

はじめに、このマニュアルを読む上で注意していただきたいことを説明します。

このパソコンで楽しめるテレビ放送

このパソコンでは、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送を楽しめます。



●地上デジタル放送
2003年12月から始まった、新しいテレビ放送です。デジタル放送になっているため、今までのアナログ放送に比べて高画質、高音質です。

●BS・110度CSデジタル放送
デジタルで放送されている衛星放送です。BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の番組が見られます。地上デジタル放送と同じく、高画質、高音質です。

チェック

●このパソコンはデータ放送に対応していません。
●このパソコンは地上アナログ放送に対応していません。

■ 放送ごとに異なる操作について

放送波の種類ごとに説明内容が異なる場合、マニュアルの説明を次のマークで分けています。何もマークが付いていない説明は、地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送の両方に共通の内容です。

地上デジタル放送　地上デジタル放送のみの内容を表しています。

BSデジタル放送　BS・110度CSデジタル放送のみの内容を表しています。

●表記の例

■ BS・110度CSデジタル放送が受信できる環境ですか？　BSデジタル放送
お使いのアンテナが、BS・110度CSデジタル放送に対応しているか確認してください。
ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

→ BS・110度CSデジタル放送の内容

■ B-CAS カードはセットされていますか？
このパソコンに添付のB-CASカードがなければ、テレビ番組を録画できません。また、正しい向きでセットされていないと映像が映りません。
『準備と設定』第2章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

→ すべての放送に共通の内容

接続と設定は済んでいますか？

アンテナケーブルの接続と、Windows Media Centerのセットアップ、LuiStationの設定が必要です。
次の説明を読んで準備をしてください。

こんな準備が必要です

テレビを録画する前に、本機をパソコンとして使う準備（ケーブル類の接続、セットアップ作業）が必要です。まず、『準備と設定』の第1章～第3章をご覧になり、準備をしてください。
パソコンとして使う準備ができたら、次にテレビを録画するための準備をおこないます。

■ テレビを録画するまでの流れ

テレビを録画するまでの流れは次のとおりです。

アンテナケーブル、B-CAS（ビーキャス）カードの準備をする

テレビを録画するにはアンテナケーブルの接続が必要です。
また、デジタル放送のサービスを利用するために必要なB-CASカードをセットします。
詳しくは『準備と設定』第2章をご覧ください。

↓

Windows Media Center（ウィンドウズ メディア センター）をセットアップする

テレビを録画したり、録画した番組を見るためのソフト「LuiStation」は、「Windows Media Center」というソフトから起動することができます。また、Windows Media Centerは、音楽や映像などを楽しむときも使います。
まず、Windows Media Centerをセットアップします。「Windows Media Centerをセットアップする」（p.4）をご覧ください。

↓

LuiStationの設定（チャンネルや地域の設定）をする

チャンネルや地域などの設定をおこないます。
「テレビ録画のための設定をする」（p.6）をご覧ください。

チェック

- CATV（ケーブルテレビ）から地上デジタル放送を受信できるかどうかは、各CATV会社により異なります。
- CATV会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一パススルー方式、周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を録画可能です。その他の方式（トランスモジュレーションなど）では録画できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のCATV会社にご確認ください。
- このパソコンにCATVの番組を受信するための、CATVホームターミナルを接続することはできません。

PART 1
ご使用前の準備

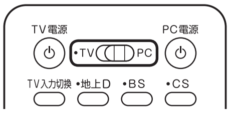
Windows Media Centerをセットアップする

「Windows Media Center」を使えば、「LuiStation」で扱う録画番組はもちろん、さまざまな映像や音楽を、リモコンを使って統合的にコントロールすることができます。
まずはWindows Media Centerをセットアップしましょう。

Windows Media Centerをはじめて使うときは、セットアップが必要です。

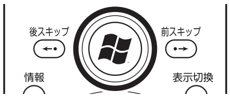
1 Windowsを起動してデスクトップ画面を表示する

2 リモコンの【モード切換】スイッチを「PC」に切り換える



セットアップの画面が表示されます。

3 【メディアセンター】を押す



セットアップの画面が表示されます。

チェック

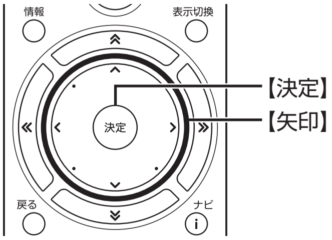
セットアップを始める前に、リモコンに乾電池を入れておいてください。

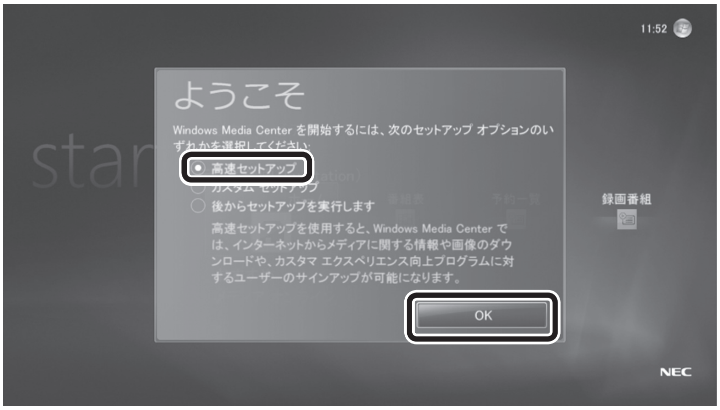
参照

リモコンの準備について→『準備と設定』第2章の「リモコンを使う準備をする」

4 「高速セットアップ」が選ばれていることを確認し、「OK」を選んで【決定】を押す

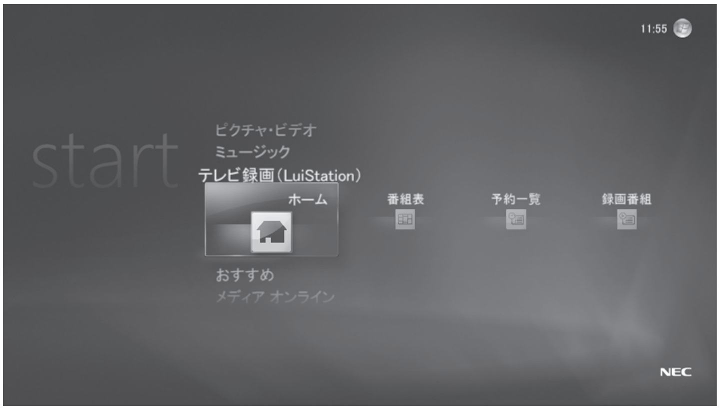
選ばれている項目は、先頭のマークが◉になっています。



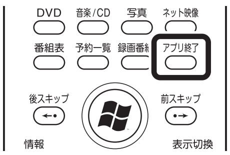


セットアップが始まります。

次の画面(Windows Media Centerのメインメニュー)が表示されたら、セットアップは完了です。



5 【アプリ終了】を押す



Windows Media Centerが終了します。

続けて、LuiStationを設定します。次の「テレビ録画のための設定をする」に進んでください。

ポイント

- 「高速セットアップ」では、このパソコンの状態などが自動的に確認され、その結果に合わせてWindows Media Centerが自動設定されます。

  「カスタムセットアップ」を選んだときは、このパソコンの状態などを判断しながら手動で設定をおこないます。特に必要がない限り、「高速セットアップ」を選ぶことをおすすめします。
- Windows Media Centerのメインメニューで「タスク」の「設定」を選び、表示された「設定」画面で「全般」-「Windows Media Centerセットアップ」を選んで、Windows Media Centerのセットアップをやりなおすことができます。

PART 1
ご使用前の
準備

テレビ録画のための設定をする

テレビを録画したり、録画した番組を見るためのソフト「LuiStation」を設定します。

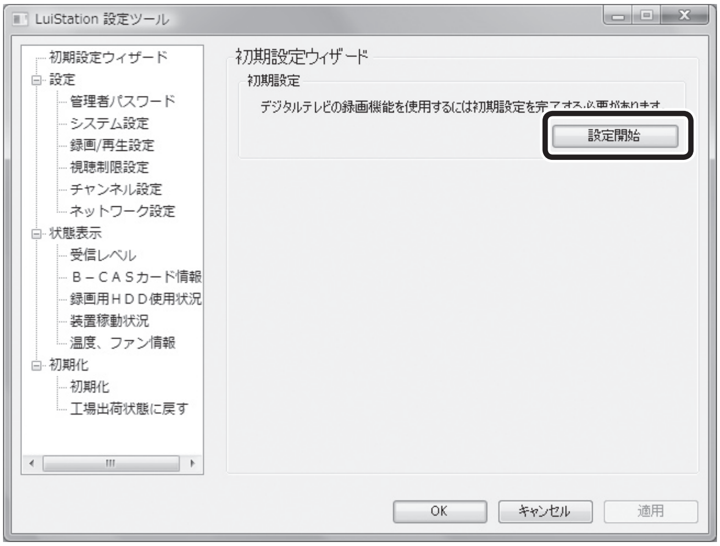
LuiStationの初期設定

マウスを使って、チャンネルなどを設定します。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「LuiStation」-「LuiStation設定ツール」をクリック

「LuiStation設定ツール」が起動します。

2 「設定開始」をクリック

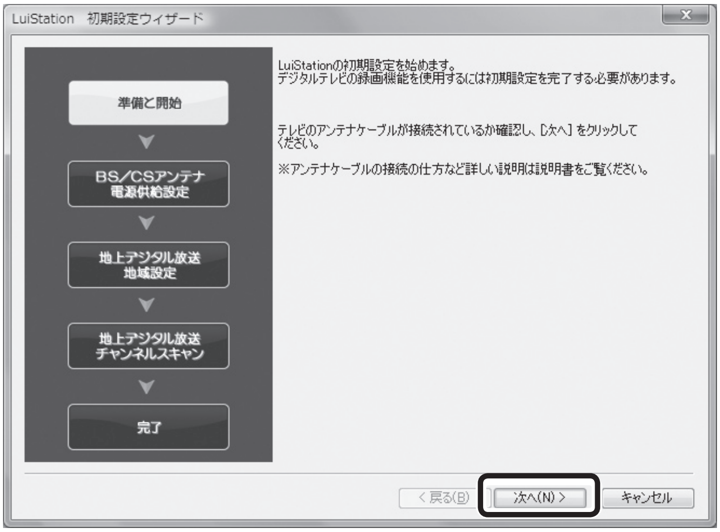


「初期設定ウィザード」が起動します。

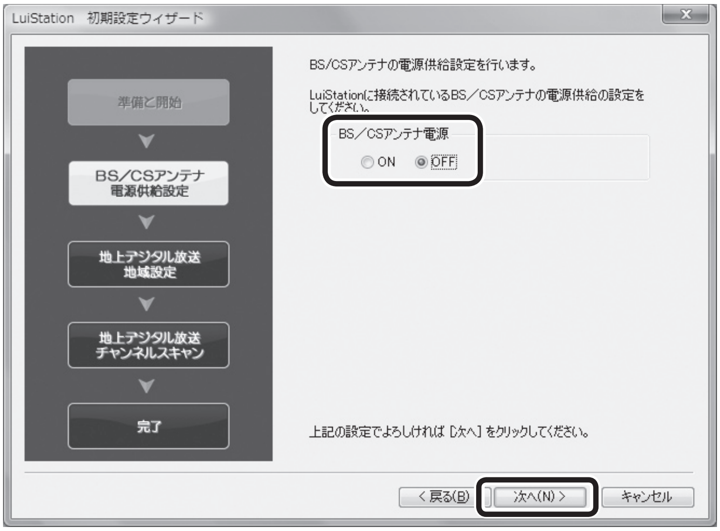
チェック

「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

3 表示された内容を確認し､｢次へ｣をクリック



4 このパソコンからBS/CSアンテナへ電源を供給するときは｢ON｣､そうでないときは｢OFF｣を選び､｢次へ｣をクリック



- ON
  このパソコンとBSアンテナを直接接続している場合に設定します。
- OFF
  マンションなどの共聴アンテナを使用している場合や、ブースターなどの別の機器から電源が供給されている場合に設定します。

チェック

設定を中止するときは「キャンセル」をクリックしてください。

参照

アンテナケーブルの接続について
→『準備と設定』第2章

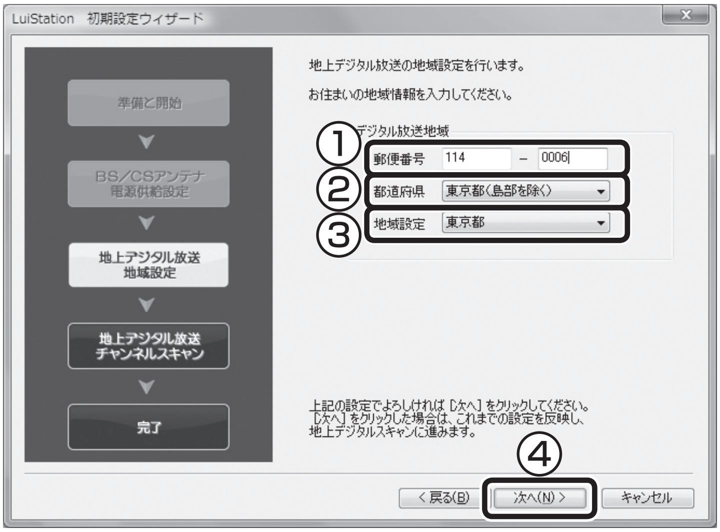
5 地域情報を入力する

①キーボードを使ってお住まいの「郵便番号」を入力する

②お住まいの「都道府県」を選択する

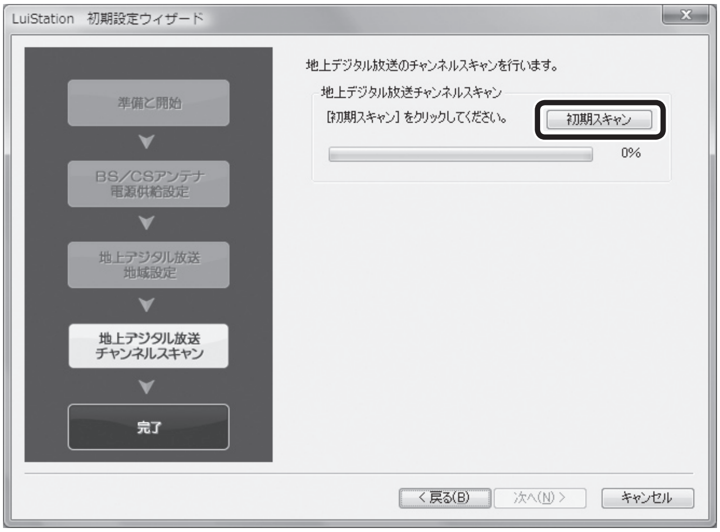
③「地域設定」を選択する

④「次へ」をクリック



チャンネルスキャンの画面が表示されます。

6 「初期スキャン」をクリック



チャンネルのスキャンが始まります。

チャンネルのスキャンが終わると、設定されたチャンネルの一覧が表示されます。

ポイント

- 「都道府県」「地域設定」は、お住まいの地域でもっとも近いものを入力してください。
- 「地域設定」は、地上デジタル放送のチャンネルスキャンが正常に完了したとき、反映されます。

チェック

- 「戻る」をクリックして手順5に戻ったときは、数秒間待ってから「次へ」をクリックしてください。
- 「次へ」をクリックしたときにエラーメッセージが表示されたら、一度、Windowsを終了してパソコンの主電源を切ってください。その後、主電源を入れなおしWindowsを起動しなおしてから、LuiStationの初期設定をやりなおしてください。
- アンテナの受信レベルが低いとチャンネルスキャンに失敗することがあります。その場合は、他の地上デジタルチューナーなどで受信レベルを確認してください。

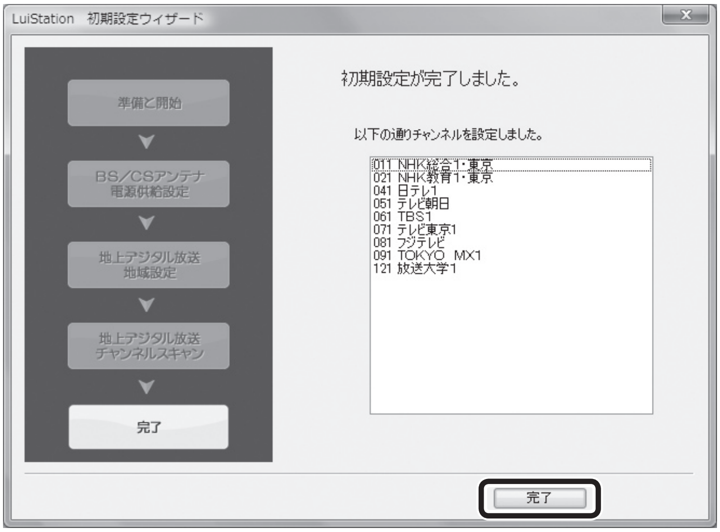
ポイント

地上デジタル放送のチャンネルスキャンに失敗したときは、「地域設定」が反映されません。

参照

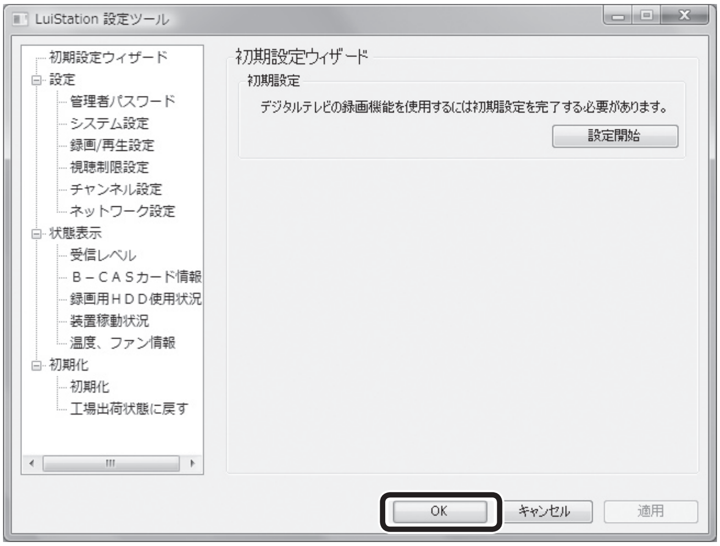
Windowsの終了と主電源の切り方について→『準備と設定』第4章の「終了する」

7 「完了」をクリック



「LuiStation設定ツール」の画面に戻ります。

8 「OK」をクリック



これでテレビを録画するための設定は完了です。続けて、「正常に録画できるかどうかテストする」に進んでください。

チェック

ここで「OK」をクリックしてLuiStation設定ツールをいったん終了させてください。

LuiStation設定ツールを一度終了させないとチャンネルの表示がおこなわれません。

正常に録画できるかどうかテストする

チャンネルのスキャンが終了したら、見たい番組を録画する前に、正常に録画できるかどうかテストすることをおすすめします。
録画と再生の方法については、「PART2 テレビ映像の録画・再生」をご覧ください。

チェック

録画のテストがうまくいかなかったときは、次の「テレビ録画に関する設定を確認する」をご覧ください。

「番組表」の受信について

LuiStationで使用する「番組表」はテレビの電波から受信されます。
LuiStationの初期設定が終了すると、番組表のデータの受信が始まります。このため、初めてお使いになるときは、番組表が表示されなかったり、一部だけ表示されることがあります。このような場合でも、番組表のデータが受信されるにしたがって、表示される項目が増えていきます。
なお、録画でデジタルチューナーを使用しているときは番組表の受信がおこなわれません。LuiStationの初期設定終了後は、しばらく録画予約をいれないでいただくと、番組表がスムーズに受信できます。

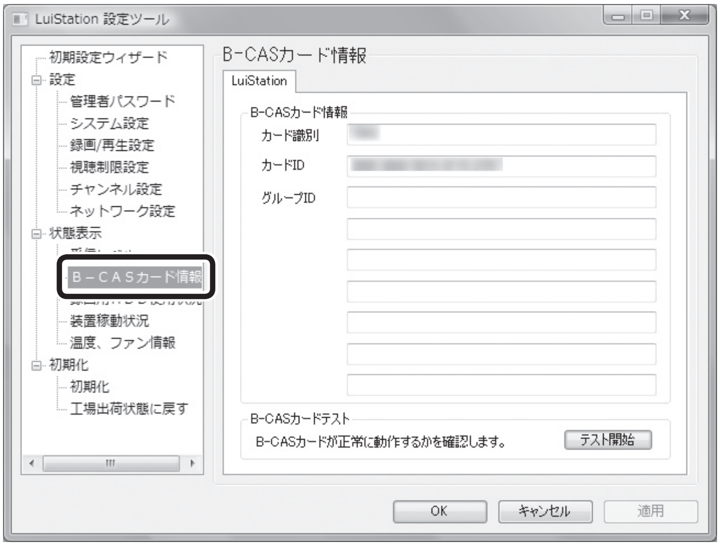
テレビ録画に関する設定を確認する

正常に録画できないときは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「LuiStation」-「LuiStation設定ツール」をクリックして「LuiStation設定ツール」を起動し、次の項目について状態や設定を確認してください。

■ B-CAS カードの状態を確認する

1 「B-CASカード情報」をクリック

B-CASカードの情報が表示されます。



「B-CASカード情報」に、カードのIDが表示されていないときは、B-CASカードまたはカードのセットのしかたに問題があります。
『準備と設定』第2章をご覧になり、B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。
「B-CASカードテスト」の「テスト開始」をクリックして、B-CASカードが正しくセットされ、正常に動作しているかどうかを確認することもできます。

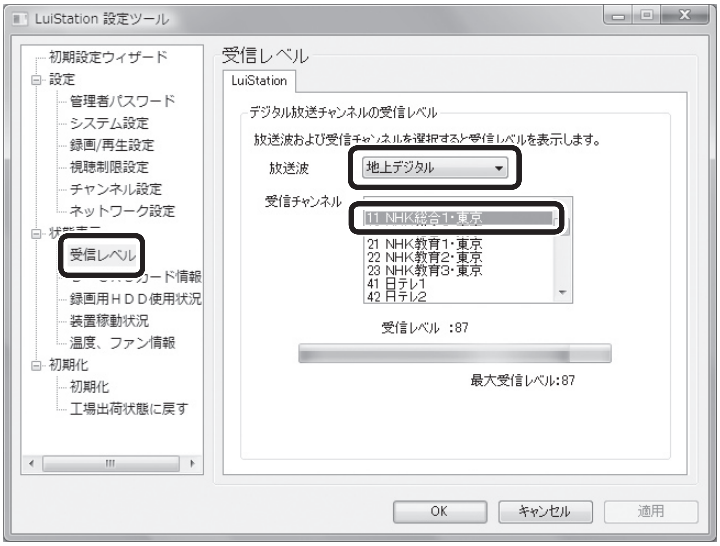
■受信レベルを確認する

1 「受信レベル」をクリック

「受信レベル」が表示されます。

2 「放送波」を選び、「受信チャンネル」をクリック

そのチャンネルの電波の受信レベルが表示されます



受信レベルが地上デジタル放送は60以上、BS・110度CSデジタル放送は65以上になるよう、アンテナの位置を調整してください。

チェック

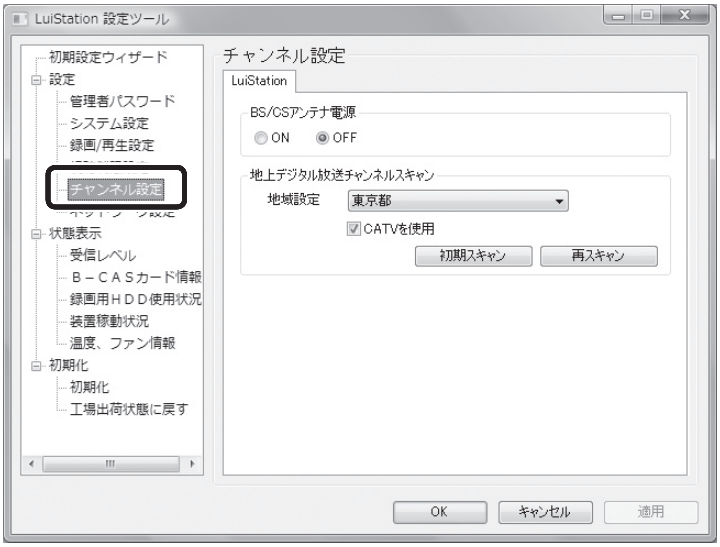
- 受信レベルがすべて0の場合は、お近くの電気店などに次の点を確認してください。
  - ・衛星放送アンテナが正しい方向に設置されているか
  - ・110度CS放送に対応した衛星放送アンテナを使っているか
  - ・このパソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か
  - ・地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか

  また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかどうかを確認してください。
- 受信レベルが低い場合、録画が失敗することがあります。
- 録画中に受信レベルの確認をすることはできません。

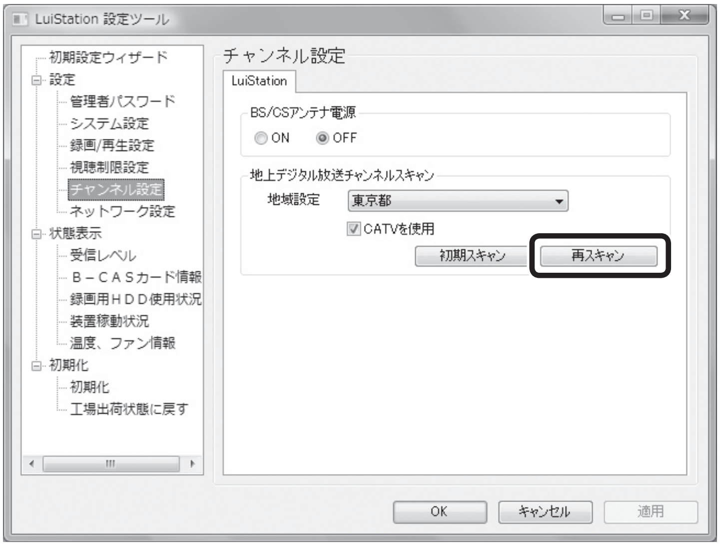
■チャンネル設定を確認する / 設定しなおす

1 「チャンネル設定」をクリック

「チャンネル設定」が表示されます。



2 「再スキャン」をクリック



スキャンが始まります。終了するとスキャンの結果が表示されます。

このパソコンをお使いの場所で受信できるチャンネルが表示されていることを確認してください。

チェック

●チャンネルスキャンをおこなっても受信可能なチャンネルが表示されない場合は、お近くの電気店などに次の点を確認してください。

・このパソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か

・地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか

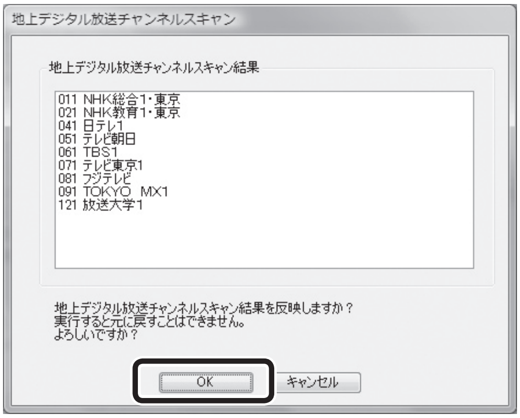
また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかどうかを確認してください。

●チャンネルスキャンが失敗した場合は、地域設定および受信可能なチャンネルは更新されません。

ポイント

「地域設定」を変更したときは、「初期スキャン」をクリックして、あらためてチャンネルのスキャンをおこなってください。

3 「OK」をクリック



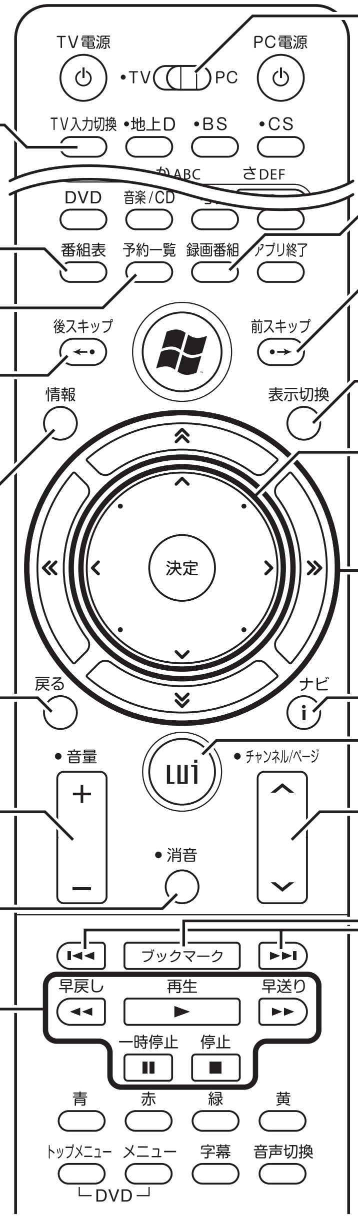
スキャンした結果が反映されます。

PART 1
ご使用前の準備

よく使うリモコンのボタンについて

LuiStationは、リモコンを使って操作します。

LuiStationでよく使うボタン



LuiStationを操作するPCモードと、ご家庭のテレビを操作するTVモードを切り換えます。LuiStationを操作するときは「PC」にしてお使いください。

ご家庭のテレビを操作しているときに、テレビの外部入力を切り換えます。

録画済番組の一覧(録画番組リスト)を表示します(p.62)。

番組表を表示します。

録画番組の再生中は、30秒後のシーンに進みます。進む秒数はLuiStation設定ツールで変更することができます(p141)。

予約している番組の一覧を表示します。

録画番組の再生中は、15秒前のシーンに戻ります。戻る秒数はLuiStation設定ツールで変更することができます(p.141)。

録画番組リストの表示を切り換えます。

項目の移動や決定に使います。

番組の情報を表示します。

ページの移動や日付の変更、ジャンルの変更などに使います。

前の画面に戻ります。

ナビメニューを表示します(p.28)。

LuiStationを起動し、ホームメニューを表示します。

音量を調節します。

チャンネルを切り換えます。

音量が0になります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

録画した番組にチャプタを挿入します。

前後のチャプタに移動します。

録画した番組を視聴するときに使います。

テレビの操作について

【モード切換】を「TV」にすると、ご家庭のテレビに対して次の操作ができます。

・テレビ電源のオン/オフ
・テレビの入力切り換え
・放送波の切り換え(地上デジタル/BS/CS)
・チャンネルの切り換え
・音量の調節

なお、テレビ電源のオン/オフと、テレビの入力切り換えは、【モード切換】が「PC」になっていても操作できます。

■ ご家庭のテレビを操作するためには、事前にメーカーキー番号の設定が必要です。

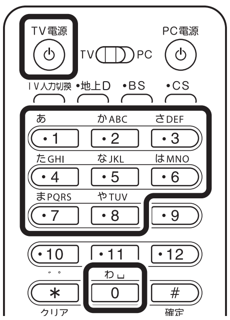
●メーカーキー番号

メーカー名	メーカーキー番号	
	1桁目	2桁目
シャープ	0	1
ソニー	0	2
松下電器産業(Panasonic)	0	3
東芝	0	4
日立製作所	0	5
日本ビクター	0	6
三菱電機	0	7
パイオニア	0	8

あらかじめ【モード切換】を「TV」にして、操作してください。

1 リモコンの【TV電源】ボタンを押しながら、メーカーキー番号を1桁目、2桁目の順番に押す

メーカーキー番号を入れ終わるまで【TV電源】ボタンは押したままにしてください。



2 【TV電源】ボタンを離す

これで、対応したメーカーのテレビが操作できるようになります。

チェック

すべてのテレビでの動作を保証するものではありません。

ポイント

ご家庭のテレビを操作できるリモコンのボタンは、ボタン名の左に「･」が付いています※。

※【TV電源】【TV入力切換】を除く

チェック

ご購入時は「シャープ」に設定されています。

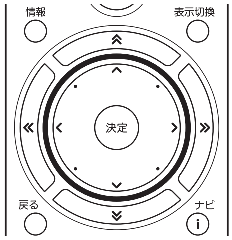
PART 1
ご使用前の準備

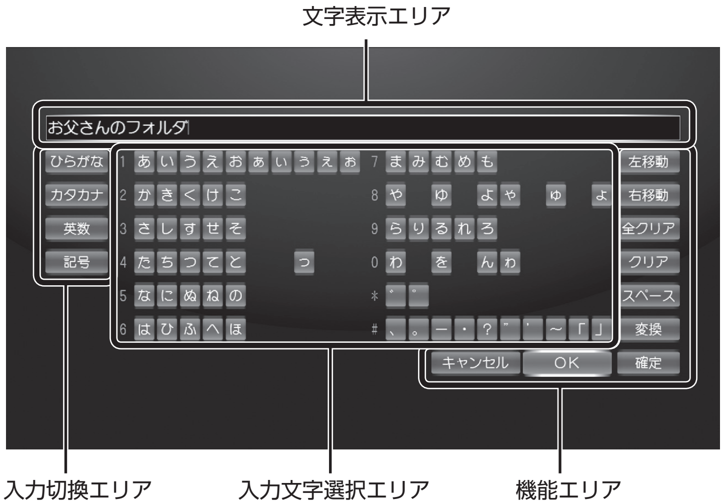
SWキーボードについて

LuiStationでは、番組を検索したり、番組のタイトルを付けなおしたりするとき、画面に表示されるキーボードを使って文字を入力することができます。
これをSWキーボード(ソフトウェアキーボード)と呼びます。

SWキーボードの基本的な使い方

番組を検索する際のキーワードや、変更したい番組のタイトルなど、文字を入力する部分を選んで【決定】を押すと、SWキーボードが表示されます。
リモコンの【矢印】と【決定】で操作できます。





●文字を入力する

入力文字選択エリアに表示された文字を選んで【決定】を押します。文字は文字表示エリアに表示されます。

●文字の種類を切り換える

入力切換エリアの「ひらがな」・「カタカナ」・「英数」・「記号」を選びます。

チェック

入力できる文字数の上限は以下のとおりです。

・番組タイトル名、フォルダ名、おまかせ設定タイトル名
→全角40文字まで

・キーワード
→全角10文字まで

ポイント

●このパソコンのキーボードとマウスを使って文字を入力することもできます。

●リモコンの数字ボタンを使って文字を入力することもできます。数字ボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押すたびに入力される文字が切り換わります。

●「ひらがな」を変換する

ひらがなは漢字やカタカナに変換できます。
ひらがなを入力して機能エリアの「変換」を選んで【決定】を押すと、変換候補のリストが表示されます。リストから希望する候補を選んで【決定】を押します。

●入力を終了する

入力が終了したら、機能エリアの「OK」を選んで【決定】を押します。SWキーボードが表示される前の画面に戻り、文字表示エリアに表示されていた文字列が、検索用のキーワードや番組のタイトルとして反映されます。
文字を反映せずに前の画面に戻るときは、「キャンセル」を選んで【決定】を押してください。

PART
2

テレビ映像の録画・再生

さっそくテレビ番組を録画し、再生してみましょう。
番組表を使って録画する番組を選び、手軽に予約することができます。録画された番組は、番組名の一覧から選んで再生できます。
録画済みの番組を整理して、CPRM対応のDVD-RAMやBD-REに保存することもできます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

注意

- **録画した番組をご覧になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。**
- **録画した番組をご覧になる前に、音量を確認し、調節してください。**

PART 2
テレビ映像の
録画・再生

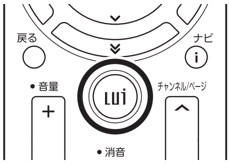
基本的な使い方

ここではLuiStationの起動方法と、基本的な操作について説明します。一般のハードディスクレコーダーと同じようにリモコンで操作します。

LuiStationを起動する

1 リモコンの【Lui】を押す

「スタート」-「すべてのプログラム」-「LuiStation」-「LuiStation」をクリックしても起動できます。



LuiStationが起動し、ホームメニューが表示されます。



このマニュアルでは、特に但し書きのない限り、上記のホームメニューが表示された状態からの操作を説明しています。

チェック

LuiStationを使う前に、Windows Media Centerのセットアップと、LuiStationの設定が必要です。

参照

●Windows Media Centerのセットアップについて→PART1の「Windows Media Centerをセットアップする」(p.4)
●LuiStationの設定について→PART1の「テレビ録画のための設定をする」(p.6)

ポイント

LuiStation/PLAYERの使い方は、LuiStationとほぼ同様です。

参照

LuiStation/PLAYERについて→PART4の「「LuiStation/PLAYER」を使う」(p.118)

■ Windows Media Center から起動する

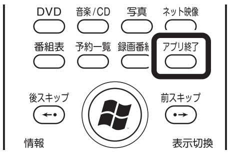
Windows Media Centerを起動し、「テレビ録画(LuiStation)」の「ホーム」を選んで、LuiStationのホームメニューを表示させることもできます。



LuiStationを終了する

■ LuiStation を終了して、パソコンの画面を表示する

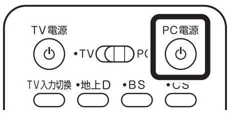
1 リモコンの【アプリ終了】を押す



LuiStationが終了し、パソコンのデスクトップ画面が表示されます。

■ LuiStation を終了して、パソコンの機能も終了する

1 リモコンの【PC電源】を押す



Windowsが終了します(ご購入時の状態ではスリープ状態になります)。

ポイント

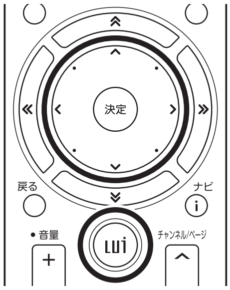
- ホームメニューで「終了」の「LuiStationの終了」を選んで、LuiStationを終了させることもできます。
- Windows Media Centerから起動したときは、Windows Media Centerが表示されます。
- 各機能の画面からホームメニューに戻りたいときは、リモコンの【Lui】を押してください。

チェック

【PC電源】を押してからWindowsが終了するまでに、30秒〜 1分程度かかる場合があります

ホームメニューについて

リモコンの【Lui】を押したり、Windows Media Centerの「テレビ録画(LuiStation)」の「ホーム」を選んだとき、最初に表示される画面が「ホームメニュー」です。



LuiStationの機能をまとめた画面で、操作の基点となります。



LuiStationの機能がまとめられています。番組表、予約、録画番組、続き再生、書き出し、お知らせ、終了があります。リモコンの【矢印】の左右ボタンで選びます。

各機能のメニューが表示されます。リモコンの【矢印】の上下ボタンで選び、【決定】で決定します。

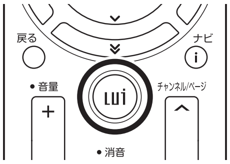
ポイント

- 各機能の画面からホームメニューに戻りたいときは、リモコンの【Lui】を押してください。
- リモコンの【矢印】ボタンで選んで【決定】を押す操作のかわりに、マウスで選びたい場所をクリックして操作することもできます。

ホームメニューの使い方

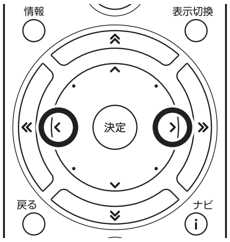
ここでは、番組表を表示させる手順を例に、ホームメニューの操作を説明します。

1 リモコンの【Lui】を押す



LuiStationのホームメニューが表示されます。

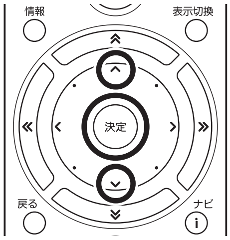
2 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「番組表」のアイコンを選ぶ





「番組表」の下のメニューが表示されます。

3 上下ボタンで「番組表」を選んで【決定】を押す





番組表が表示されます。

ポイント

初めてLuiStationを起動したときなど、番組表の受信が完了していない場合は、番組表が表示されなかったり、一部分だけ表示されることがあります(p.28)。

録画について

テレビ番組を録画する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

録画するときの注意

録画をするときは、次のことに注意してください。

●テレビ番組の録画は、多くのハードディスク容量を使います。録画した番組はこまめにDVDに保存したり、不要な番組を削除したりして、ハードディスク容量が不足しないようにしてください。

●録画中や再生中にエラーが発生した場合は、Windowsを再起動してください。それでもエラーから回復しないときは、Windowsを終了してパソコンの主電源(Main Power)を切ってください。その後、主電源(Main Power)を入れなおし、Windowsを再起動してください。

録画する場合は次のような制限があります。注意してください。

●録画できない番組がある
一部の番組は、録画はできません。
番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。
独立データ放送、ラジオ放送は録画できません。

●録画した番組は編集できない
このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、このパソコンに添付、または市販の動画編集ソフトで編集することはできません。

●ほかのソフトでは再生できない
このパソコンで録画した番組は、このパソコンのLuiStationまたはこのパソコンとDTCP-IPを使って接続されたパソコンのLuiStation/PLAYERおよびWindows Media Centerの「ホームネットワーク」－「デジタル録画番組」でのみ再生できます。ほかの動画再生ソフトでは再生できません。
ただし、BD-REまたはCPRM対応DVD-RAMに保存すれば、対応したソフトやプレーヤで再生できます。CPRM対応DVD-RAMに保存する場合は、自動的にアナログ画質に変換されます。

●録画したデータはコピーできない

●主電源(Main Power)が切れていると録画できない

●番組や時間、チャンネルを指定して予約するとき、番組の開始部分や終了部分が約2 ～ 30秒録画されない

チェック

●システムの状態によっては、映像が乱れることがあります。

●録画番組が保存されるのは、Windowsのハードディスクではなく録画用ハードディスクです。録画用ハードディスクの容量は、「録画用HDD使用状況」(p.145)で確認できます。

●録画番組は、BD-RE(ブルーレイディスクドライブモデルのみ)またはCPRM対応DVD-RAMに保存できます。CPRM対応DVD-RAMに保存する場合は、自動的にアナログ画質に変換されます。

参照

●Windowsの終了と主電源の切り方について→『準備と設定』第4章の「終了する」

●ディスクへの保存について→このPARTの「番組をディスクに保存する」(p.83)

■予約録画の優先度について

予約録画には、録画の種類や操作により、優先度があります。録画や以下の操作が重なったときは、次のような優先度で録画されます。

優先度（高→低）
まるごと録画、手動録画
ダウンロード、番組表取得、地デジロゴ取得、放送局名取得
おまかせ録画（高設定）
おまかせ録画（中設定）
おまかせ録画（低設定）

■ 地上デジタル放送の録画に必要なハードディスク容量について

地上デジタル放送

録画する番組の種類によってファイルサイズ（必要な容量）が異なります。番組の種類と録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

録画内容	1時間の録画に必要なハードディスク容量
デジタルハイビジョン 約17Mbps	約7.7Gバイト
デジタル標準テレビ 約8Mbps	約3.6Gバイト

■ BS・110度CSデジタル放送の録画に必要なハードディスク容量について

BSデジタル放送

録画する番組の種類によってファイルサイズ（必要な容量）が異なります。番組の種類と録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

録画内容	1時間の録画に必要なハードディスク容量
デジタルハイビジョン 約24Mbps	約10.8Gバイト
デジタル標準テレビ 約11Mbps	約5.0Gバイト

チェック

録画中に新規に優先度の高い予約をおこなった場合、優先度の低い録画は自動的に停止し、優先度の高い録画がはじまります（途中まで録画した番組はそのまま録画リストに残ります）。

ポイント

- 初めてLuiStationを起動したときは、BS・110度CSデジタル放送の放送局名が表示されません。
- BS・110度CSデジタル放送の放送局名の情報は深夜0時頃に受信します。なお、このとき番組を録画していると、放送局名の情報が受信できません。

録画を中断する条件

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了します。

- ハードディスクの空き容量がなくなったとき
- ハードディスクへの書き込み時にエラーが起きたとき
- 放送休止状態になったとき
- 番組の受信ができなくなったとき
- 番組が、録画不可属性になったとき
- 受信状態が不安定なとき
- B-CASカードを抜いたとき（コピーフリーの番組を除く）
- 急な番組編成の変更により、録画中の番組が終了または中断されたとき
- おまかせ録画中に、より優先度の高い録画番組の開始時刻になったとき

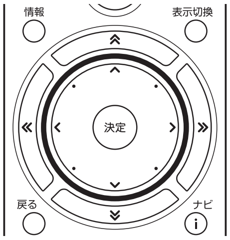
PART 2 テレビ映像の録画・再生

番組表を使う

LuiStationでは、画面に表示される番組表を使って、録画する番組を指定します。自分の好みに合わせた「マイ番組表」を作ることもできます。

番組表を見る

1 「番組表」-「番組表」を選んで【決定】を押す





番組表の画面が表示されます。

ポイント

初めてLuiStationを起動したときなど、番組表の受信が完了していない場合は、番組表が表示されなかったり、一部分だけ表示されることがあります。

ポイント

- 番組表は、テレビの電波で自動的に更新されます。
- リモコンの【番組表】を押して、番組表の画面を表示させることもできます。

■番組表の使い方



Ⓐ チャンネル

放送局とチャンネルが表示されます。
【表示切換】を押すと、一度に表示されるチャンネルの数が次のように切り換わります。5→3→1→5…(以降繰り返し)

Ⓑ 番組表

現在の時刻が白い横線で表示されます。
番組はジャンル別に背景が色分けされています (ジャンルの背景色は上段に表示)。
番組を選ぶと「番組情報」欄に情報が表示されます。番組を選んで【決定】を押すと、録画予約の画面に移ります。
番組表からの録画、おすすめ録画、おまかせ録画から番組を指定して予約したときは、時計の形のアイコンが表示されます。

Ⓒ 日付

リモコンの【⩓】・【⩔】を押して日付を移動することができます。

Ⓓ 時刻

すでに予約が入っている時刻には赤い縦線が表示されます。

Ⓔ 番組情報

番組表で選んだ番組の情報が表示されます。リモコンの【情報】を押すと、詳しい情報が表示されます。

ポイント

- 「ジャンルの背景色(橙、緑、青)」に対応するジャンル名を変更することができます(p.32)。
- 【地上D】・【BS】・【CS】を押して、表示されている放送波(地上デジタル/BS/CS)を切り換えることができます。同様に、【«】・【»】を押して、3つの放送波および「マイ番組表」(p.29)を切り換えることもできます。
- 【ナビ】を押すと、表示されている画面に関連した機能の一覧「ナビメニュー」が表示されます。もう一度【ナビ】を押すと、「ナビメニュー」が閉じます。

同じ放送局のチャンネル(たとえば051ch、052ch、053ch)ですべて同じ番組を放送しているときは、番組表では各放送局につき1つのチャンネルだけを表示します。
別の番組を放送しているときは、次のように番組を重ねて表示します。カーソルを動かすと、裏に隠れていたチャンネルの番組が表示されます。


裏に番組表が隠れている

リモコンの【矢印】でカーソルを右に動かすと…


次のチャンネルの番組が表示される

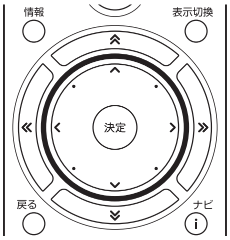
リモコンの【矢印】でカーソルを右に動かすと…


次のチャンネルの番組が表示される

■マイ番組表を作る(表示チャンネル設定)

お好みのチャンネルだけを登録したマイ番組表を作ることができます。

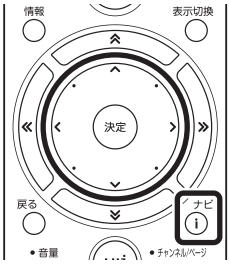
1 「番組表」-「マイ番組表」を選んで、【決定】を押す

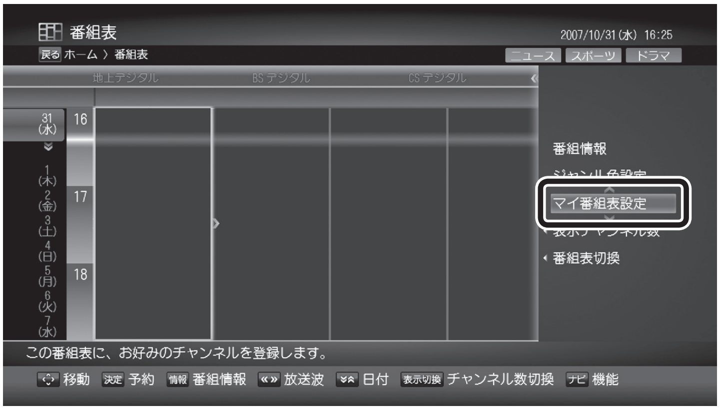




「マイ番組表」画面が表示されます。

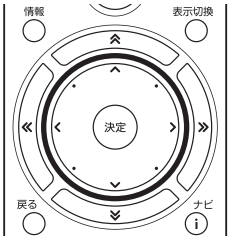
2 【ナビ】を押し、「マイ番組表設定」を選んで【決定】を押す

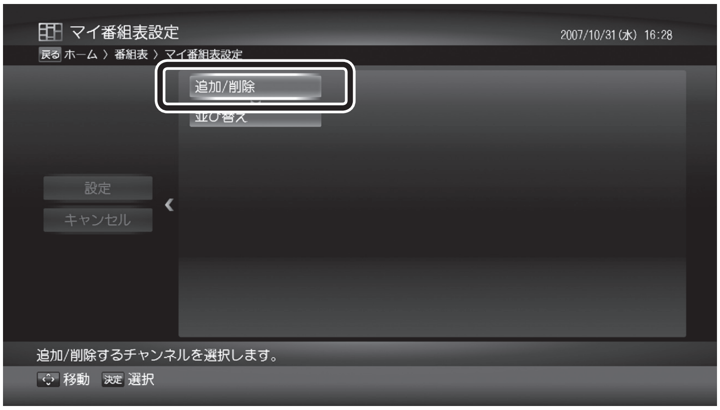




「マイ番組表設定」画面が表示されます。

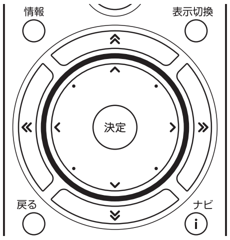
3 「追加/削除」を選んで【決定】を押す

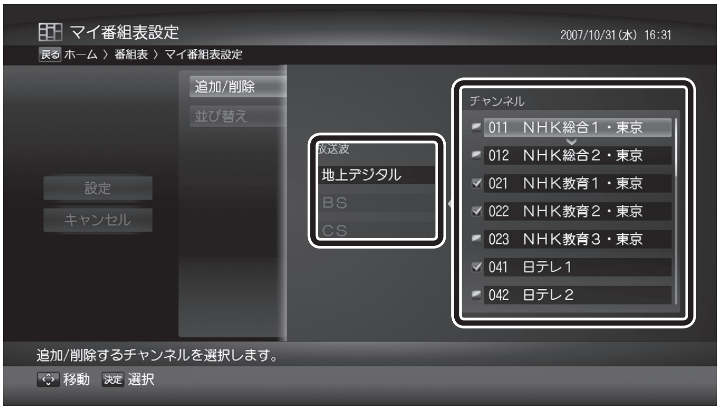




チャンネルを選ぶ画面が表示されます。

4 放送波を選び、登録したいチャンネルを選んで【決定】を押す

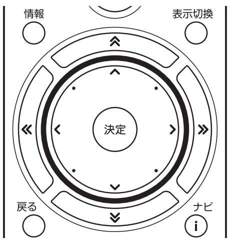




手順4を繰り返して登録するチャンネルを選んでください。選んだチャンネルにはチェックマークが付きます。

削除するときは、もう一度そのチャンネルを選んで【決定】を押し、チェックマークをはずしてください。

5 「並び替え」を選んで【決定】を押す





チャンネルの表示順序を設定する画面が表示されます。

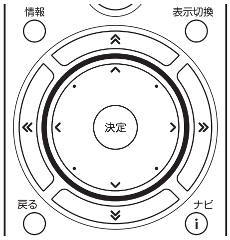
ポイント

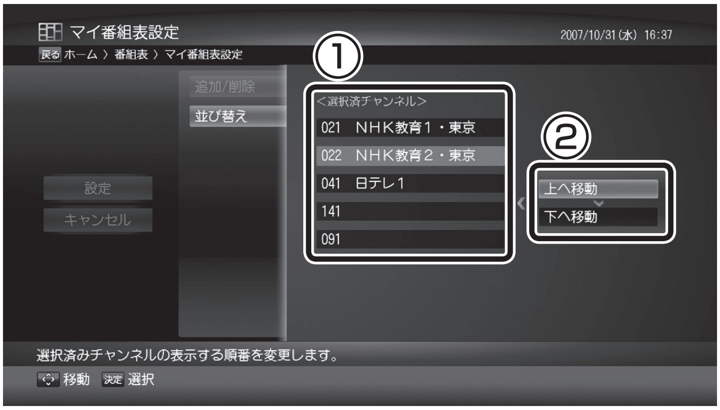
同じ放送局のチャンネル（たとえば051ch、052ch、053ch）も、それぞれ個別に登録できます。

6 チャンネルを好みの順序に並べる

①移動したいチャンネルを選んで【決定】を押す

②「上へ移動」または「下へ移動」を選んで【決定】を押す





選んだチャンネルが上または下に移動します。①と②を繰り返して、チャンネルを好みの順序に並べてください。

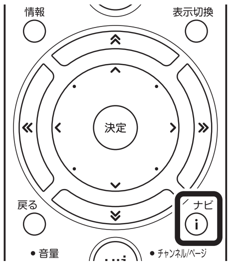
7 「設定」を選んで【決定】を押す

設定が保存され、マイ番組表が表示されます。

■ジャンルの背景色を設定する

番組表の番組は、ジャンル別に背景が色分けされています。この「ジャンルの背景色(橙、緑、青)」に割り当てるジャンル名を変更することができます。

1 番組表が表示された状態で【ナビ】を押す



ナビメニューが表示されます。

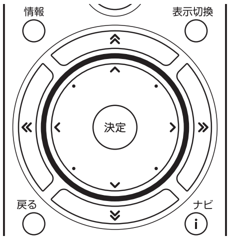
ポイント

マイ番組表は、LuiStationのホームメニューで「番組表」-「マイ番組表」と選んで表示させることができます。使い方は番組表と同様です。

ポイント

背景色は変更することができません。

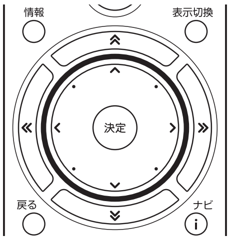
2 「ジャンル色設定」を選んで、【決定】を押す





「ジャンル色設定」画面が表示されます。

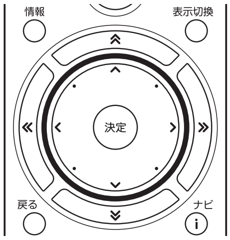
3 割り当てを変更したい「ジャンルの背景色」を選んで【決定】を押す

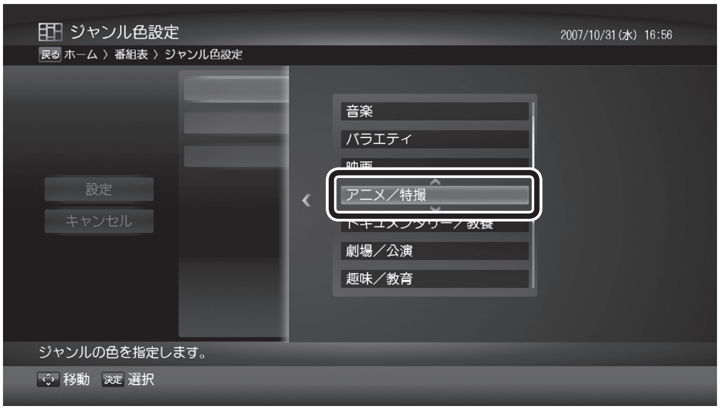




ジャンルの一覧が表示されます。

4 割り当てるジャンル名を選んで【決定】を押す





必要に応じて手順3 ～ 4を繰り返し、それぞれの背景色にジャンル名を割り当ててください。

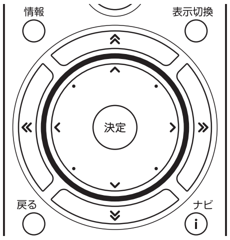
5 「設定」を選んで【決定】を押す

設定が保存され、番組表に戻ります。

番組表から録画予約する

番組表で番組を選び、録画予約することができます。

1 「番組表」-「番組表」を選んで【決定】を押す





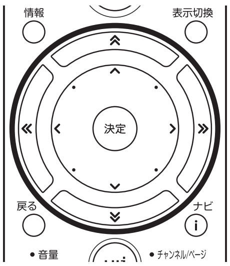
番組表の画面が表示されます。

2 予約する番組を決める

①【⩓】・【⩔】で日付を選ぶ

②【≪】・【≫】で放送波を選ぶ

③予約したい番組を選んで【決定】を押す





番組を予約する画面が表示されます。

チェック

- このパソコンは、「地上デジタル/BS・110度CSデジタル放送共用」および「地上デジタル放送専用」のデジタルチューナーをひとつずつ搭載しており、同時に次の2チャンネルを録画できます。
  - ・地上デジタル、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送いずれか1チャンネル
  - ・地上デジタル放送を1チャンネル

  ただし、それまでの録画予約の状況によって、上記の組み合わせで録画できないことがあります。

  (例:「地上デジタル/BS・110度CSデジタル放送共用」のデジタルチューナーが手動で録画予約した地上デジタル放送の受信に継続的に使用されているとき、録画予約されたBSデジタル放送の番組が始まっても、録画を開始することができない)
- 128件まで録画予約できます。

  (おまかせ録画やまるごと録画を除く。但し、おまかせ検索画面から番組を選択して予約した場合は128件に含まれます)
- 録画件数は最大1万件です。録画済の番組と録画予約の合計が1万件を超えるときは新たな予約ができません。必要に応じて録画済の番組を削除してください。
- 録画するために契約が必要となるチャンネルがあります。あらかじめご確認ください。なお、初めてLuiStationを起動してから数日間は、未契約のチャンネルでも録画予約できることがあります。ただし、録画はできません。

参照

録画済番組の削除について→このPARTの「録画した番組を削除する」(p.73)

ポイント

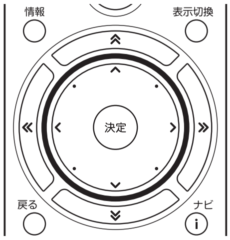
リモコンの【番組表】を押して、番組表の画面を表示させることもできます。

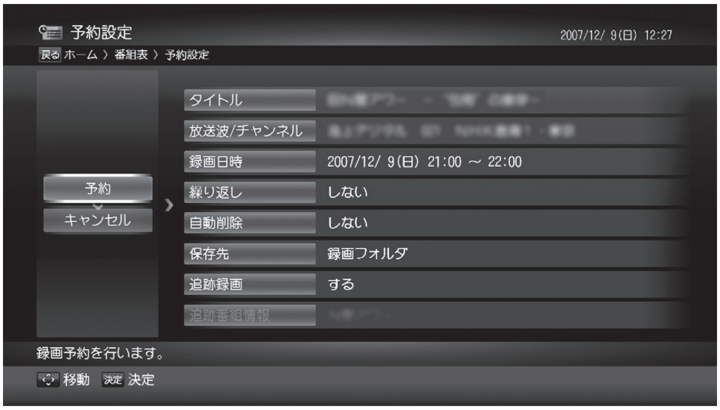
参照

番組表について→このPARTの「■番組表の使い方」(p.28)

3 予約内容を確認する

それぞれの項目を選んで【決定】を押し、内容を変更できます。





- タイトル
  番組のタイトルが表示されます。
- 放送波/チャンネル
  録画する放送波とチャンネルが表示されます。変更すると「追跡録画」が無効になります。
- 録画日時
  録画する日時が表示されます。変更すると「追跡録画」が無効になります。
- 繰り返し
  予約する番組と同様のキーワード(タイトルなど)を含む番組を自動的に検索して予約する「繰り返し録画」をするかどうか設定できます。「繰り返し録画」するときは、番組を検索する曜日を指定してください。
- 自動削除
  録画した番組を自動的に削除するかどうか設定できます。
- 保存先
  録画した番組を保存するフォルダを設定できます。フォルダが指定されていないときは、「録画フォルダ」に保存されます。
- 追跡録画
  予約した番組の放映開始時刻や終了時刻が変更されたとき、それに追従して録画するかどうかを設定できます。なお、「放送波/チャンネル」または「録画日時」を変更したときは、この機能が無効になります。

ポイント

「繰り返し」で曜日を指定すると、「追跡番組情報」が有効になり、ここに入力されているキーワードを含む番組が検索されます。

ポイント

1ヵ月先までの予約が可能です。

参照

自動削除について→このPARTの「■自動削除について」(p.76)

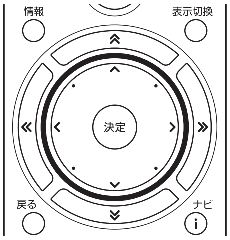
ポイント

予約登録の後に、保存先に指定したフォルダが削除された場合は、自動的に「録画フォルダ」に保存先が変更されます。

参照

追跡録画の初期設定について→付録の「録画/再生設定」(p.141)

4 「予約」を選んで【決定】を押す



番組表の画面に戻ります。これで番組の録画予約ができました。

■ 録画予約が重複した場合は

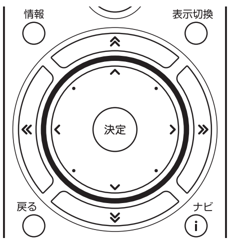
録画予約しようとした時間帯にすでに録画予約がされていて、これ以上録画予約ができない場合、「番組表から録画予約する」の手順4で「他の予約との重複により予約ができません。重複している番組を選択してください。」と表示されます。この画面が表示されたときは、次の手順で操作してください。

1 【決定】を押す

重複確認の画面が表示されます。

2 予約を削除する

①予約を削除する番組を選んで【決定】を押す
　番組名にチェックマークがつきます。
②「予約」を選んで【決定】を押す





確認の画面が表示されます。

3 「OK」を選んで【決定】を押す

これで、重複した録画予約が削除され、新たに選んだ番組が録画予約されます。

チェック

同時に録画できる番組数を超えたときは、「他の予約との重複により予約ができません。重複している番組を選択してください。」と表示されます。必要に応じて予約の内容を変更してください。操作については、次の「■録画予約が重複した場合は」をご覧ください。

チェック

このパソコンは、「地上デジタル/BS·110度CSデジタル放送共用」および「地上デジタル放送専用」のデジタルチューナーをひとつずつ搭載しており、同時に次の2チャンネルを録画できます。

- 地上デジタル、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送いずれか1チャンネル
- 地上デジタル放送を1チャンネル

ただし、それまでの録画予約の状況によって、上記の組み合わせで録画できないことがあります。

(例:「地上デジタル/BS·110度CSデジタル放送共用」のデジタルチューナーが手動で録画予約した地上デジタル放送の受信に継続的に使用されているとき、録画予約されたBSデジタル放送の番組が始まっても、録画を開始することができない)

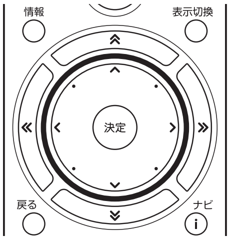
チェック

この画面で「キャンセル」を選ぶと、今回設定した予約を取りやめて番組表に戻ります。

録画予約の一覧を表示させる（予約の確認・変更・取り消し）

録画予約の一覧を表示させて、内容を確認できます。また、予約を変更したり、取り消すこともできます。

1 「予約」-「予約一覧」を選んで【決定】を押す





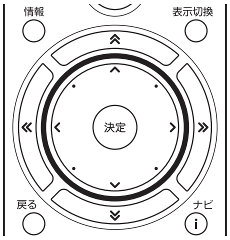
予約一覧の画面が表示されます。

ポイント

- リモコンの【予約一覧】を押して、予約一覧の画面を表示させることもできます。
- この画面で録画予約のおおまかな内容を確認することができます。詳しい内容を確認したいときは、録画予約を選んで【決定】を押してください。

■録画予約の内容を変更する

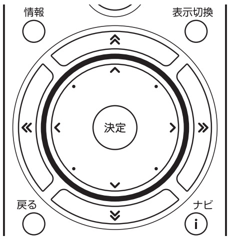
1 予約一覧の画面で、内容を変更したい録画予約を選んで【決定】を押す

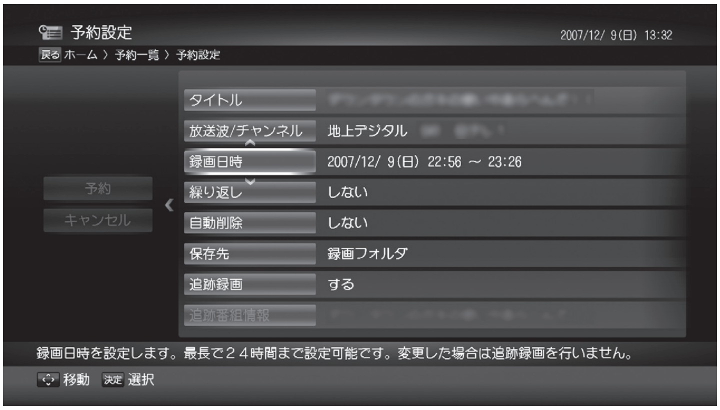




録画予約の内容が表示されます。

2 録画予約の内容を変更し、「予約」を選んで【決定】を押す





予約一覧の画面に戻ります。

参 照

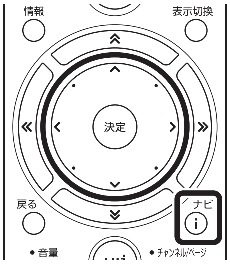
録画予約の内容について→このPARTの「番組表から録画予約する」(p.35)

■録画予約を取り消す

録画予約を取り消すことができます。複数の録画予約をまとめて取り消すこともできます。

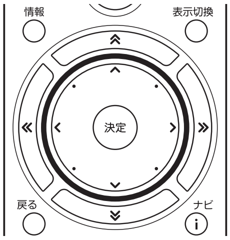
●予約を1件取り消すときは

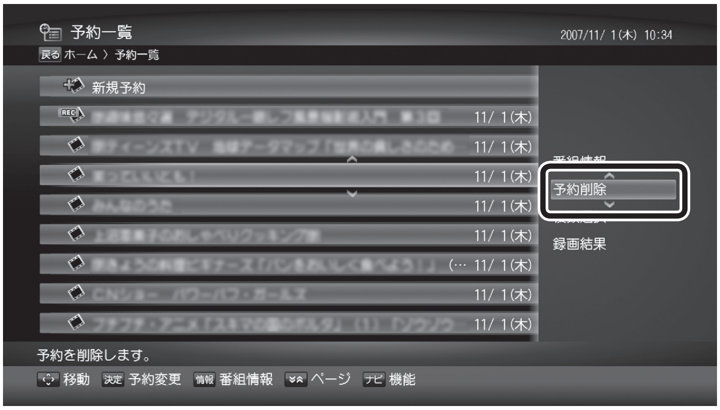
1 予約一覧の画面で、取り消したい録画予約を選んで【ナビ】を押す



ナビメニューが表示されます。

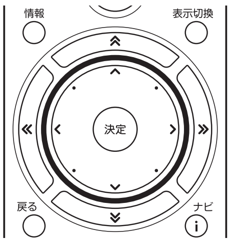
2 ナビメニューの「予約削除」を選んで【決定】を押す





「予約を削除しますか？」というメッセージが表示されます。

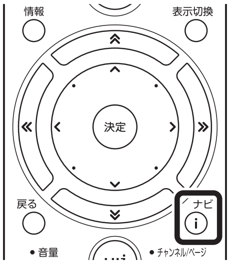
3 「OK」を選んで【決定】を押す



録画予約が削除されます。

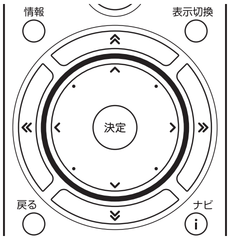
●複数の予約を取り消すときは

1 予約一覧の画面で【ナビ】を押す



ナビメニューが表示されます。

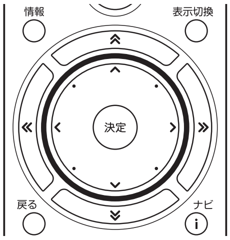
2 ナビメニューの「複数選択」を選んで【決定】を押す

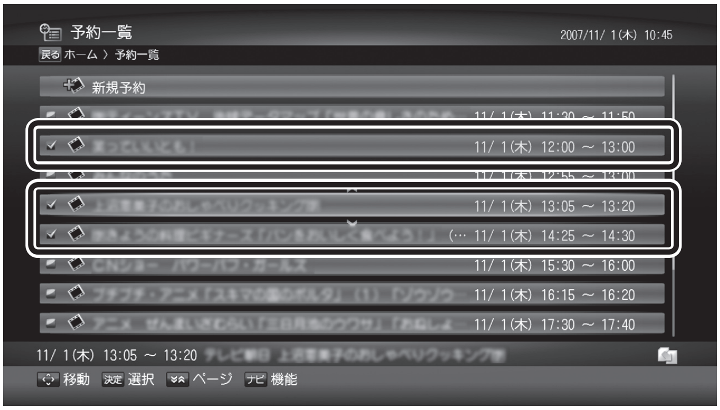




複数の録画予約が選択できるようになります。

3 取り消したい録画予約を選んで【決定】を押す



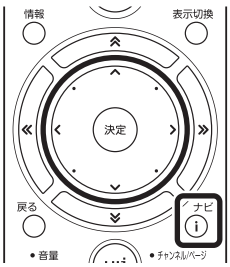


選んだ録画予約にチェックマークがつきます。

手順3を繰り返して、取り消したい録画予約にチェックマークをつけてください。

チェックマークをはずしたいときは、もう一度その録画予約を選んで【決定】を押してください。

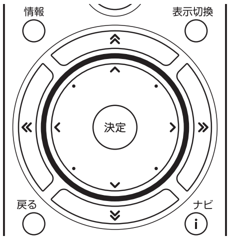
4 【ナビ】を押し、「予約削除」を選んで【決定】を押す





「予約を削除しますか？」というメッセージが表示されます。

5 「OK」を選んで【決定】を押す

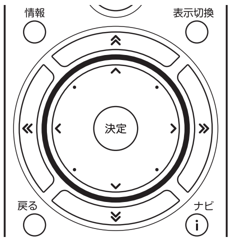


録画予約が削除されます。

録画の結果を確認する

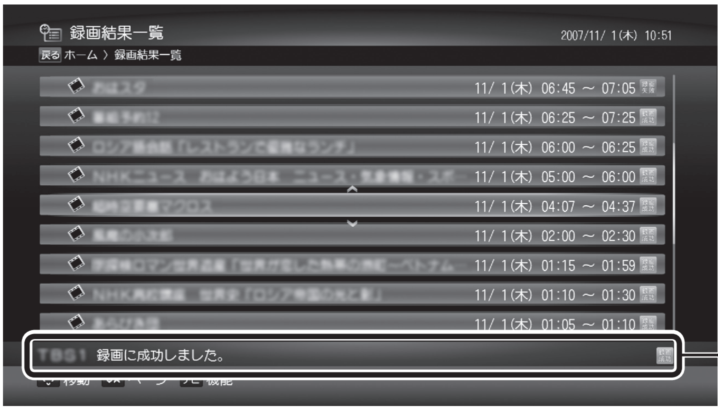
録画の結果の一覧を表示させることができます。

1 「予約」-「録画結果一覧」を選んで【決定】を押す





録画結果一覧の画面が表示されます。



情報エリア

録画結果を選ぶと、情報エリアに録画結果の詳細が表示されます。録画に失敗したときは、その理由も表示されます。

ポイント

一覧には、予約したときに登録した「タイトル」が表示されます。

おまかせ番組表から録画予約する（おまかせ番組）

キーワードやジャンルを登録して、好みの番組を自動的に抽出する「おまかせ番組表」が作れます。興味のある話題を取り扱っている番組や、お気に入りのタレントが出演している番組を探すときに便利です。

おまかせ番組からの録画方法は、検索された番組の中からランダムに録画する自動録画と、おまかせ番組表から手動録画する方法の2つがあります。

チェック

おまかせ番組での自動録画は、予約録画の優先度により、録画が途中からはじまったり中断されることがあります。

おまかせ番組表の抽出条件を設定する

ここで設定した条件で、番組が抽出されます。抽出条件は20件まで設定できます。

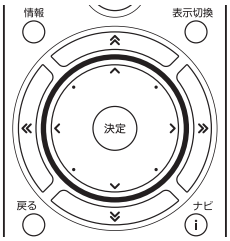
チェック

おまかせ番組表は、番組表の「番組名」や「詳細情報」に出てくる言葉をキーワードにして番組を探します。このため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の情報と一致していないときは、おまかせ番組表に抽出されません。

ポイント

番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表を確認して、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。

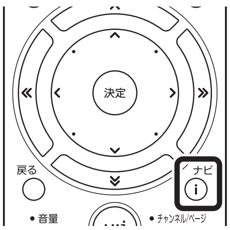
1 「番組表」-「おまかせ番組」を選んで【決定】を押す





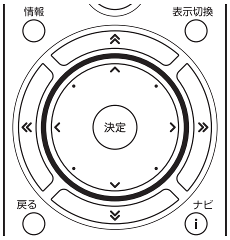
おまかせ番組表の画面が表示されます。

2 【ナビ】を押す



ナビメニューが表示されます。

3 ナビメニューの「新規条件作成」を選んで【決定】を押す

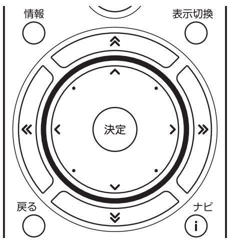


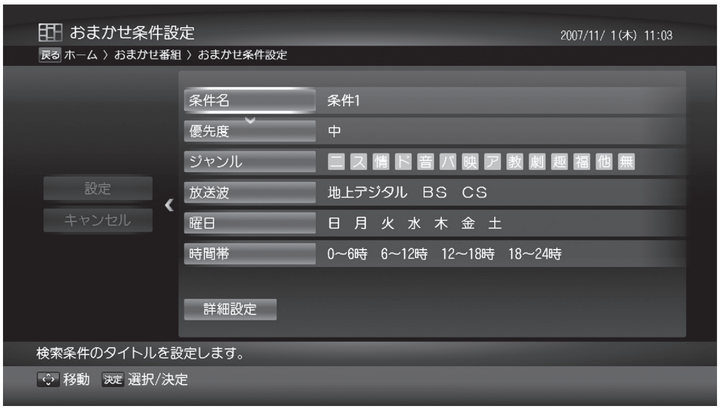


おまかせ番組表の抽出条件を設定する画面が表示されます。

4 抽出条件を設定する

それぞれの項目を選んで【決定】を押し、番組を抽出するための条件を設定します。文字はキーボード、またはSWキーボードを使って入力できます。





●条件名(必須)
抽出条件の名前を入力する画面が表示されます。全角で40文字まで入力できます。

ポイント

ご購入時は抽出条件が設定されていません。

参照

SWキーボードの使い方→PART1「SWキーボードについて」(p.16)

●優先度
「高」・「中」・「低」から優先度を選びます。
録画中に新規に優先度の高い予約をおこなった場合、優先度の低い録画は自動的に停止し、優先度の高い録画がはじまります（途中まで録画した番組はそのまま録画番組リストに残ります）。

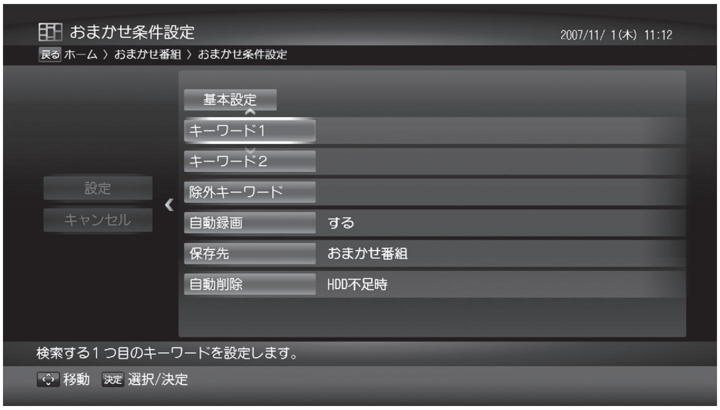
●ジャンル
ジャンルを選ぶ画面が表示されます。複数のジャンルを設定することもできます。

●放送波
放送波を選びます。「マイ番組表」を選ぶこともできます。また、複数の放送波を選ぶこともできます。

●曜日
曜日を選びます。複数の曜日を設定することもできます。

●時間帯
時間帯を選びます。複数の時間帯を設定することもできます。

●詳細設定
ここを選んで【決定】を押すと、次の「詳細設定」の画面が表示されます。



●キーワード1・キーワード2
キーワードを入力する画面が表示されます。

●除外キーワード
抽出対象から除外するキーワードを入力する画面が表示されます。ここに入力したキーワードが含まれる番組は、他の条件に合致しても抽出されません。

●自動録画
自動的に録画予約するかどうか選びます。

●保存先
録画した番組を保存するフォルダを設定できます。

●自動削除
録画番組を自動的に削除するかどうか設定できます。

●基本設定
基本設定画面に戻ります。

参照

予約録画の優先度について→このPARTの「録画を中断する条件」（p.26）

ポイント

新たに条件を作成する画面を表示させたとき、ジャンル、放送波、曜日、時間帯は、すべて選択された状態になっています。不要な項目を選んで【決定】を押し、チェックをはずして条件を絞り込んでください。

ポイント

●「自動録画」を「する」にしても、抽出されたすべての番組が自動録画されるわけではありません。このパソコンがランダムに選んだ番組が録画予約されます。なお、これらの番組は予約一覧には表示されません。確実に録画するために、次ページの「おまかせ番組表から予約する」の手順で予約してください。
●視聴に契約が必要なチャンネルは、たとえ無料番組であっても未契約の状態では録画されません。

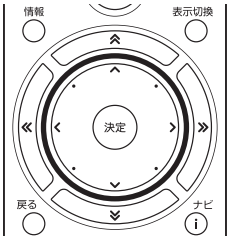
参照

自動削除について→このPARTの「■自動削除について」（p.76）

ポイント

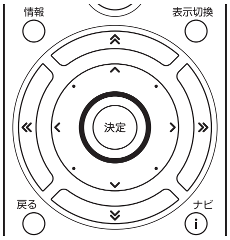
予約登録の後に、保存先に指定したフォルダが削除された場合は、自動的に「おまかせ番組」に保存先が変更されます。

5 「設定」を選んで【決定】を押す



設定内容の確認画面が表示されます。

6 【決定】を押す



抽出条件を設定する画面が閉じ、おまかせ番組表の画面が表示されます。

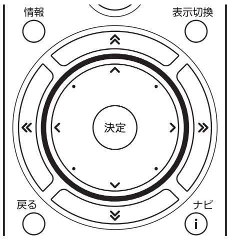
ポイント

- 現在録画中の番組は、「条件削除」をおこなっても、録画中の番組が終了する、またはより優先度の高い予約の開始時刻まで録画を続行します。
- 抽出条件を変更するときは、おまかせ番組の画面で変更したい抽出条件を選び、【ナビ】を押して「条件変更」を選んでください。操作については「おまかせ番組表の抽出条件を設定する」の手順4（p.45）をご覧ください。

おまかせ番組表から予約する

おまかせ番組表で番組を選び、録画予約することができます。

1 「番組表」-「おまかせ番組」を選んで【決定】を押す





おまかせ番組表の画面が表示されます。

チェック

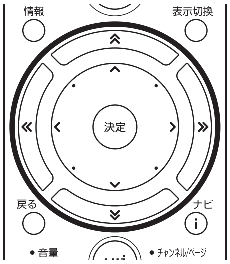
「自動録画」の設定が「する」のときは、抽出された番組が自動的に録画予約されます。これらの番組は予約一覧には表示されません（「おまかせ番組表」から予約した番組は、予約一覧に表示されます）。

2 予約する番組を決める

①検索条件を選ぶ(【⩓】・【⩔】でページを移動することもできます)

②【«】・【»】でジャンルを選ぶ

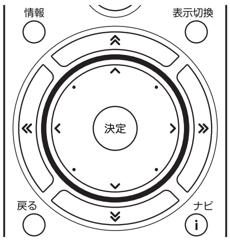
③予約したい番組を選んで【決定】を押す





番組を予約する画面が表示されます。

3 予約内容を確認し、「予約」を選んで【決定】を押す



おまかせ番組表の画面に戻ります。これで番組の録画予約ができました。

参照

予約内容について→このPARTの「番組表から録画予約する」(p.35)

PART 2
テレビ映像の録画・再生

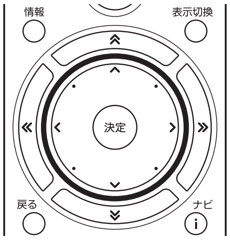
チャンネルをまるごと録画する（まるごと録画）

チャンネルや時間帯といった条件を設定して、その条件に含まれる番組をまとめて録画予約することができます。あるチャンネルの番組を朝から晩までまるごと録画する、といった使い方もできます。
たくさんの番組が録画の対象になっても、番組ごとに区切って録画されるので、再生するときに見たい番組が見つからないなんてことはありません。

まるごと録画の条件を設定する

ここで設定した条件に合った番組が録画されます。

1 「予約」-「まるごと録画一覧」を選んで【決定】を押す



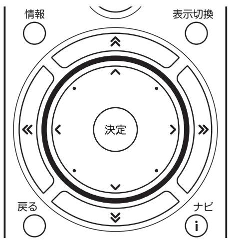


まるごと録画一覧の画面が表示されます。

チェック

- まるごと録画の最大登録件数は2件です。
- 初めてLuiStationを起動したときなど番組表の受信が完了していないときは、まるごと録画を登録しても録画が始まりません。その日の深夜など、番組表の受信が完了した後で、まるごと録画が始まります。
- このパソコンは2つのデジタルチューナーを搭載しています。まるごと録画を2件登録すると、デジタルチューナがまるごと録画に占有されてしまうため、設定したチャンネルによっては、そのチャンネル以外の番組表が受信できなくなります。
  まるごと録画に設定したチャンネルと受信できる番組表の組み合わせは以下のとおりです。
  地上デジタル放送：
  設定したチャンネルの番組表だけ受信できます。
  BSデジタル放送：
  BSデジタル放送のすべての番組表が受信できます。
  110度CSデジタル放送：
  110度CSデジタル放送のすべての番組表が受信できます。
  なお、地上波デジタル放送のハイビジョン放送など、あるチャンネルのすべてのサブチャンネルで同じ番組を放送している場合は、その番組の情報が配信されていないため、番組表の番組名などが空欄になることがあります。
- 録画する番組が連続するとき、番組の開始部分や終了部分が、約2～30秒録画されません。

2 「新規設定」を選んで【決定】を押す

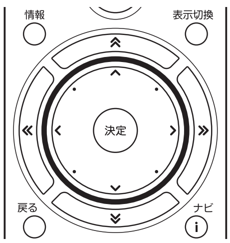


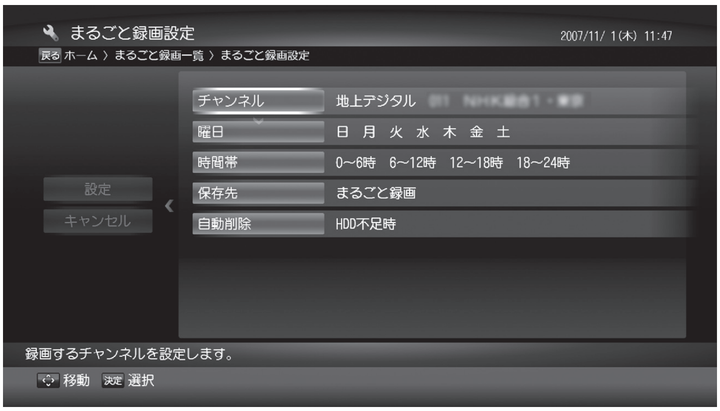


まるごと録画設定画面が表示されます。

3 録画の条件を設定する

それぞれの項目を選んで【決定】を押し、録画の条件を設定します。





●チャンネル
放送波とチャンネルを選びます。

●曜日
曜日を選びます。複数の曜日を設定することもできます。

ポイント

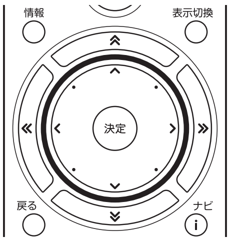
新たに条件を作成する画面を表示させたとき、曜日と時間帯は、すべて選択された状態になっています。不要な項目を選んで【決定】を押し、チェックをはずして条件を絞り込んでください。

●時間帯
時間帯を選びます。複数の時間帯を設定することもできます。

●保存先
録画した番組を保存するフォルダを設定できます。

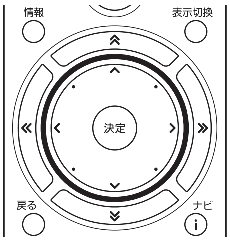
●自動削除
録画した番組を自動的に削除するかどうか設定できます。

4 「設定」を選んで【決定】を押す



設定内容の確認画面が表示されます。

5 【決定】を押す



設定が保存され、まるごと録画一覧の画面に戻ります。

ポイント

予約登録の後に、保存先に指定したフォルダが削除された場合は、自動的に「まるごと録画」に保存先が変更されます。

参照

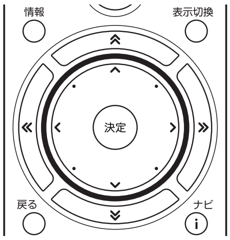
自動削除について→このPARTの「■自動削除について」(p.76)

ポイント

●録画の条件を削除するときは、まるごと録画一覧表示の画面で削除したい条件を選び、【ナビ】を押して「設定削除」を選んでください。
●現在録画中の番組は、「設定削除」をおこなっても、録画中の番組が終了する、またはより優先度の高い予約の開始時刻まで録画を続行します。

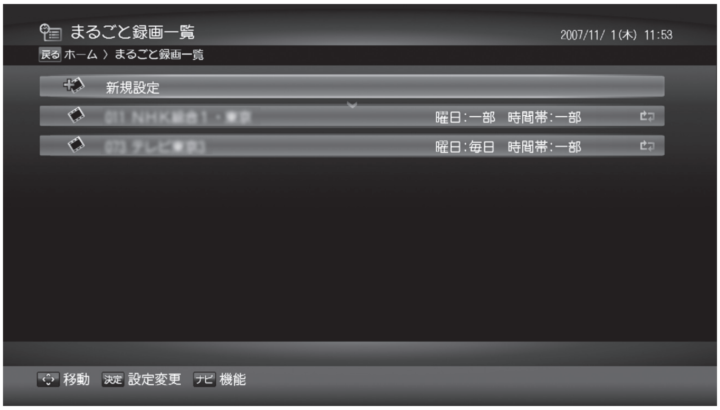
■まるごと録画の設定内容を確認する

1 「予約」-「まるごと録画一覧」を選んで【決定】を押す





まるごと録画一覧の画面が表示されます。



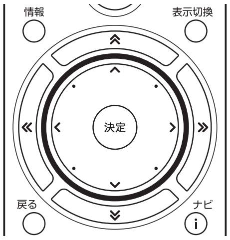
PART 2
テレビ映像の
録画・再生

おすすめ番組表から録画予約する（おすすめ録画）

今までに視聴した番組の番組情報を分析して、おすすめの番組を抽出した「おすすめ番組表」が自動的に作られます。「おすすめ番組表」を使うと、気づかなかったお好みの番組が見つかるかもしれません。

おすすめ番組表で番組を選び、録画予約することができます。

1 「番組表」-「おすすめ番組」を選んで【決定】を押す





おすすめ番組の画面が表示されます。

ポイント

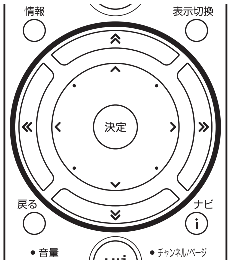
110度CSデジタル放送の番組は、おすすめ番組表には表示されません。

2 予約する番組を決める

①放送日を選ぶ(【≪】･【≫】でページを移動することもできます)

②【«】･【»】でジャンルを選ぶ

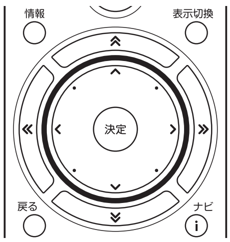
③予約したい番組を選んで【決定】を押す





番組を予約する画面が表示されます。

3 予約内容を確認し､｢予約｣を選んで【決定】を押す



おすすめ番組の画面に戻ります｡これで番組の録画予約ができました。

参照

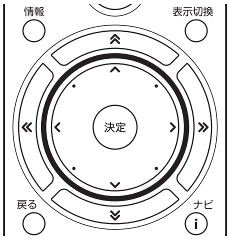
予約内容について→このPARTの｢番組表から録画予約する｣(p.35)

PART 2
テレビ映像の録画・再生

番組表を使わないで録画予約する（時刻指定録画）

番組表を使わず、チャンネルや時間帯を設定して録画することができます。

1 「予約」-「予約一覧」を選んで【決定】を押す





予約一覧の画面が表示されます。

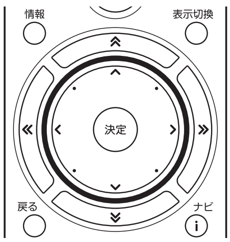
チェック

- 複数の番組が録画の対象になっていても、まるごと録画のように番組ごとに区切って録画されることはありません。
- 有料放送番組などの録画できない番組が開始すると、設定した終了時刻前でも、その時点で録画は停止します。

ポイント

リモコンの【予約一覧】を押して、予約一覧の画面を表示させることもできます。

2 「新規予約」を選んで【決定】を押す

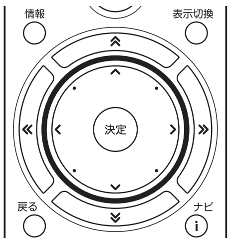


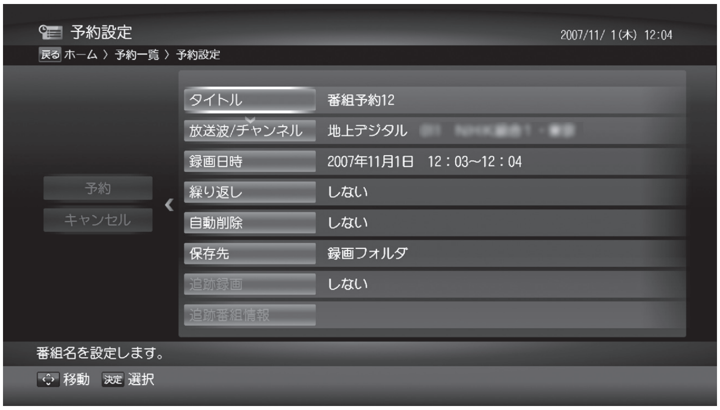


チャンネルや録画時間などを設定する画面が表示されます。

3 チャンネルや録画時間などを設定する

それぞれの項目を選んで【決定】を押し、チャンネルや録画時間などを設定します。文字はキーボード、またはSWキーボードを使って入力できます。





●タイトル
番組名などを入力する画面が表示されます。全角40文字まで入力できます(必須)。

参 照

SWキーボードの使い方→PART1「SWキーボードについて」(p.16)

●放送波/チャンネル
放送波とチャンネルを選びます。

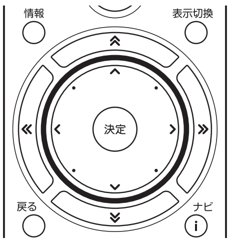
●録画日時
録画の開始時刻と終了時刻を設定します。最大24時間連続で録画できます。

●繰り返し
「繰り返し録画」するときは、曜日を指定してください。

●自動削除
録画した番組を自動的に削除するかどうか設定できます。

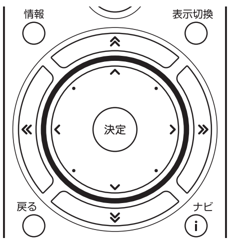
●保存先
録画した番組を保存するフォルダを設定できます。

4 「予約」を選んで【決定】を押す



設定内容を確認する画面が表示されます。

5 【決定】を押す



予約一覧の画面に戻ります。これでチャンネルや時間帯を指定する録画予約ができました。

参照

自動削除について→このPARTの「■自動削除について」(p.76)

ポイント

予約登録の後に、保存先に指定したフォルダが削除された場合は、自動的に「録画フォルダ」に保存先が変更されます。

PART 2
テレビ映像の
録画・再生

録画した番組を再生する

録画した番組を見てみましょう。

再生をおこなう前に

録画した番組を再生するときは、著作権保護のためのライセンスを取得する必要があります。
ここでは、そのライセンスの取得(アクティベーション)の操作について説明します。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「DigiOn」-「DiXiM Media Server Tool」をクリック

「Media Server Tool」画面が表示されます。

2 「デジタル録画番組の配信」タブをクリック

3 キーボードを使って、別紙の『デジタル放送録画番組配信機能をお使いのお客様へ』に記載されたライセンスキーを入力する



4 「ライセンスを取得する」をクリック

「ライセンス認証の利用規約」画面が表示されます。

5 表示された内容を確認して「同意する」をクリック

ライセンスの取得が始まります。

完了すると、ライセンスの取得完了を告げるメッセージが表示されます。

6 「OK」をクリック

これで、録画したデジタル放送番組を配信するためのライセンスの取得は完了です。

続けて、再生するためのライセンスの取得をおこないます。

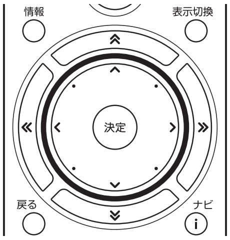
チェック

- ライセンスを取得するときは、インターネットに接続する必要があります。
  インターネット接続については、『準備と設定』の第5章以降をご覧ください。
- ライセンスの取得は、はじめて視聴するときに1度だけおこないます。ただし、パソコンを再セットアップしたときは、ライセンスを取得しなおす必要があります。

ポイント

マウスで操作してください。

7 「録画番組」-「フォルダ別」を選んで【決定】を押す





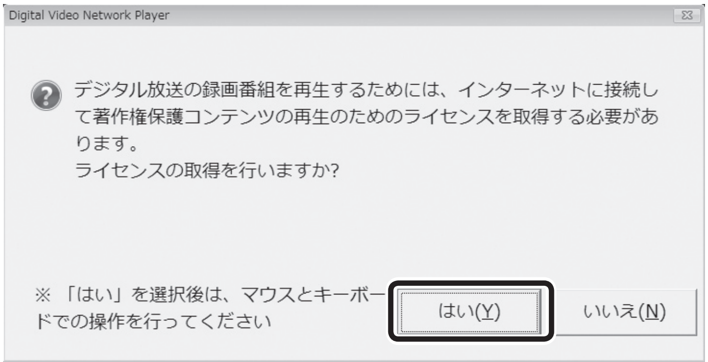
「録画番組リスト」が表示されます。

8 再生する番組を選ぶ

著作権保護のためのライセンスを取得するかどうか確認する画面が表示されます。

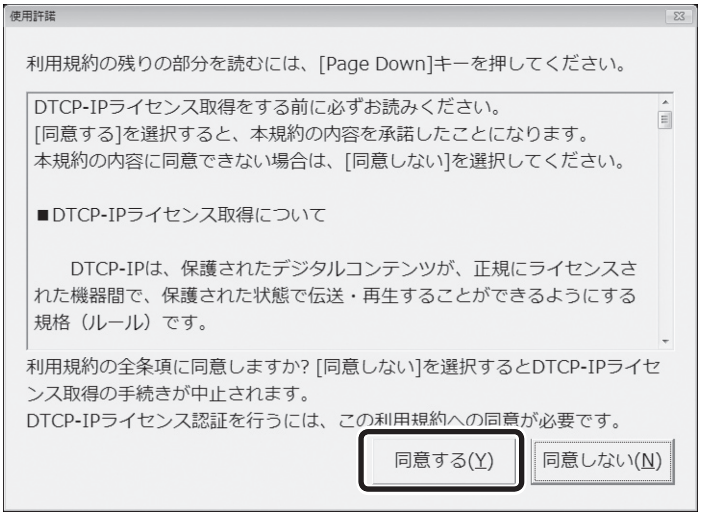
すでにライセンスを取得しているときは、そのまま選んだデジタル放送番組の再生が始まります。

9 「はい」をクリック



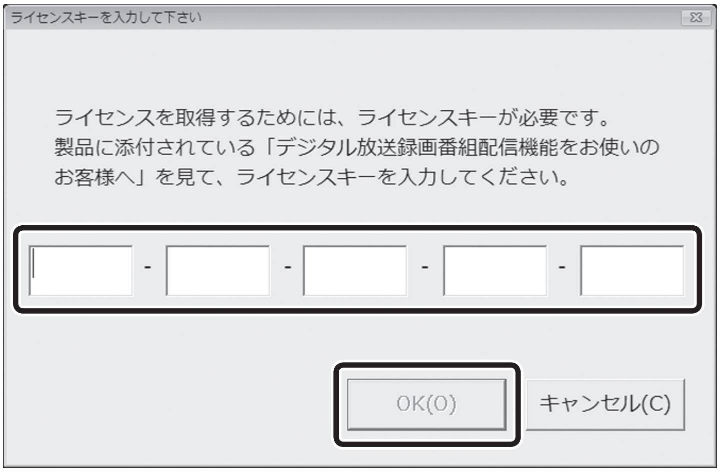
「使用許諾」画面が表示されます。

10 表示された内容を確認して「同意する」をクリック



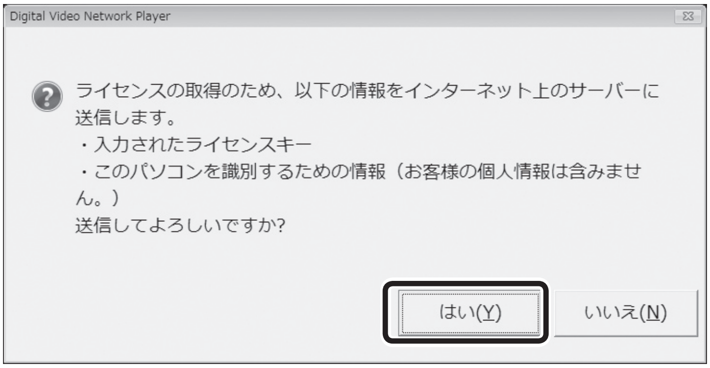
ライセンスキーを入力する画面が表示されます。

11 別紙の『デジタル放送録画番組配信機能をお使いのお客様へ』に記載されたライセンスキーを入力し、「OK」をクリック



インターネット経由でライセンスを取得するかどうか確認する画面が表示されます。

12 「はい」をクリック



ライセンスの取得が始まります。

完了すると、ライセンスの取得完了を告げるメッセージが表示され、選んだデジタル放送番組の再生が始まります。

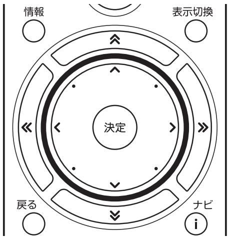
13 「OK」をクリック

これで、録画されたデジタル放送番組を視聴するためのライセンスの取得は完了です。

再生の方法

録画した番組は次の方法で再生します。

1 「録画番組」-「フォルダ別」を選んで【決定】を押す





「録画番組リスト」が表示されます。

チェック

再生中、映像の手前に他のソフトのウィンドウなどが表示されることがあります。録画番組を快適に視聴するために、必要ないソフトはすべて終了することをおすすめします。

ポイント

●リモコンの【録画番組】を押して、「録画番組リスト」画面を表示させることもできます。

●録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。

・番組表データがある場合:

番組情報の番組名になります

・番組表データがない場合:

番組名が空欄となります

なお、地上波デジタル放送のハイビジョン放送など、あるチャンネルのすべてのサブチャンネルで同じ番組を放送している場合は、その番組の情報が配信されていないため、番組表の番組名などが空欄になることがあります。

●「おまかせ録画」の番組を再生するときや、「まるごと録画」で録画した番組を再生するとき、追加したフォルダの番組を再生するときは、それぞれのフォルダを選んでください(保存先を変更した場合を除く)。

●「フォルダ別」のほか、【表示切替】を押して「チャンネル別」、「日付別」、「おまかせ別」に録画した番組を表示させることもできます。

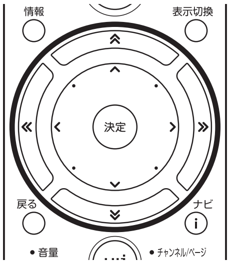
●「録画番組リスト」で【ナビ】を押し、「ソート」を選んで番組の並び順を変更することもできます。

2 再生する番組を選ぶ

①録画番組の保存されたフォルダを選ぶ（【⩓】・【⩔】でページを移動することもできます）

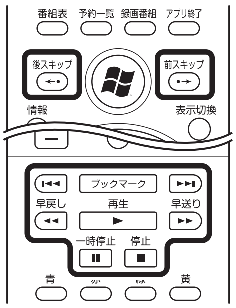
②【≪】・【≫】でジャンルを選ぶ

③再生したい録画番組を選んで【決定】を押す





再生が始まります。再生中は、一時停止、早送り、早戻し、スキップ（【⏮】【⏭】）、ワンタッチスキップ（【←・】【・→】）の操作ができます。



3 再生を終了するときは、【停止】を押す

「録画番組リスト」に戻ります。

ポイント

- 再生にはHDCP対応のディスプレイが必要です。
- 再生中のディスプレイの電源や入力を切り換えると再生が停止します。
- 番組の再生中にリモコンの【←・】【・→】を押すと、設定した秒数ずつ再生をスキップします（ワンタッチスキップ）。スキップする秒数は、「LuiStation設定ツール」で変更できます。
- 再生中、お気に入りの場所などで【ブックマーク】を押して、録画番組にブックマークを挿入することができます。再生中に【⏮】・【⏭】を押すと、前後のブックマークにジャンプします。
- リモコンの【表示切換】を押して、再生時間を示すタイムバーやタイトルの表示/非表示を切り換えることができます。
  【表示切換】を押すごとに、次のように切り換わります。

非表示
↓
タイムバー表示
↓
タイトル、タイムバー表示

チェック

- データ放送や字幕放送は再生できません。
- 再生中にテレビの入力を切り換えると、再生が停止します。
- 録画中の番組は再生できません。録画が終了してから再生してください。
- 再生中に他のソフトを起動したり録画番組を配信したりすると、パソコンのCPU使用率が高くなり、映像がコマ落ちしたり音が途切れたりすることがあります。

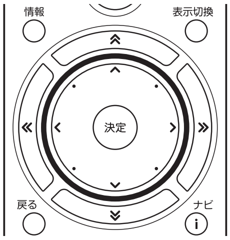
参照

- 「おまかせ録画」について→このPARTの「おまかせ番組表から録画予約する（おまかせ番組）」（p.44）
- 「まる録番組」について→このPARTの「チャンネルをまるごと録画する（まるごと録画）」（p.49）
- 「LuiStation設定ツール」について→付録の「その他の設定」（p.139）

おまかせ別で番組を探す

「おまかせ番組表」の抽出条件を使って、録画済の番組を探すことができます。
「おまかせ番組」で録画した番組だけでなく、手動録画やまるごと録画で録画した番組も抽出されます。

1 「録画番組」-「おまかせ別」を選んで【決定】を押す



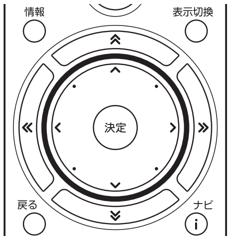


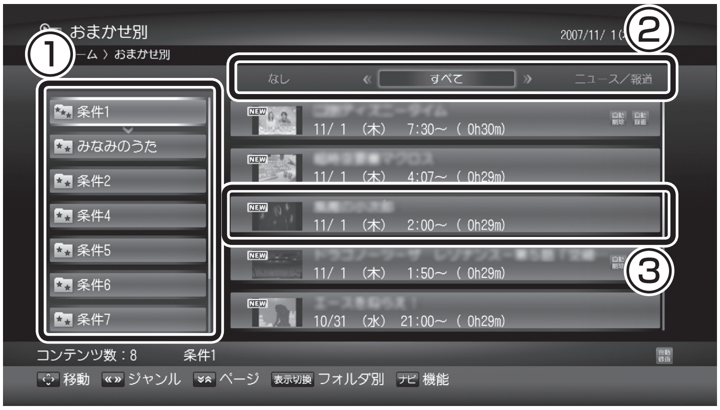
2 再生する番組を選ぶ

①検索条件を選ぶ(【⩓】・【⩔】でページを移動することもできます)

②【«】・【»】でジャンルを選ぶ

③再生したい録画番組を選んで【決定】を押す





番組の再生が始まります。

ポイント

この画面で【ナビ】を押して表示されるナビメニューから新規に「おまかせ番組」の抽出条件を設定することもできます。操作方法については、「おまかせ番組表の抽出条件を設定する」(p.44)の手順2以降をご覧ください。

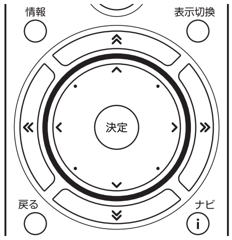
PART 2
テレビ映像の
録画・再生

録画した番組を整理する

録画した番組は、フォルダに分けて整理したり、他の人が再生できないように鍵をかけたりできます。

フォルダを作成して番組を整理する

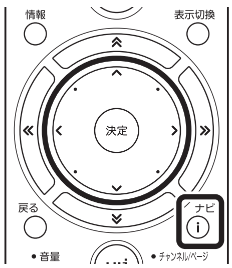
1 「録画番組」-「フォルダ別」を選び、【決定】を押す





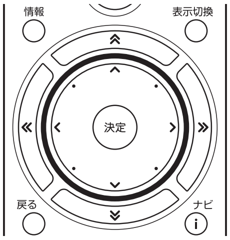
「録画番組リスト」が表示されます。

2 整理する番組を選び、【ナビ】を押す



ナビメニューが表示されます。

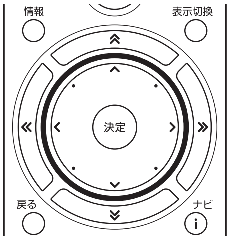
3 「移動」-「フォルダへ移動」を選び、【決定】を押す

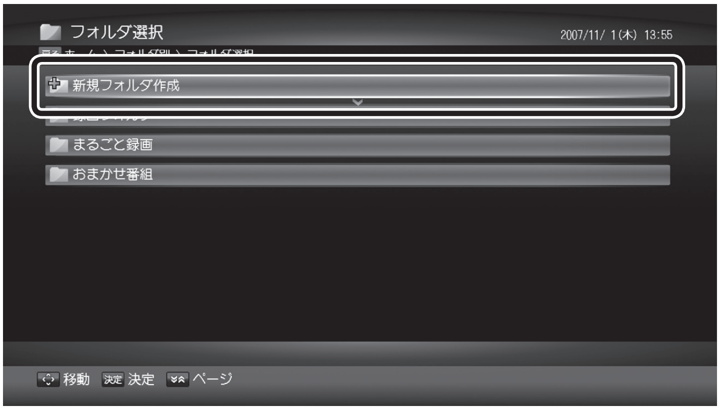




「フォルダ選択」画面が表示されます。

4 「新規フォルダ作成」を選び、【決定】を押す

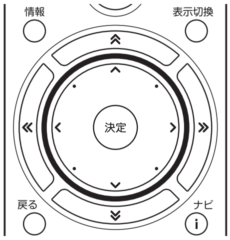


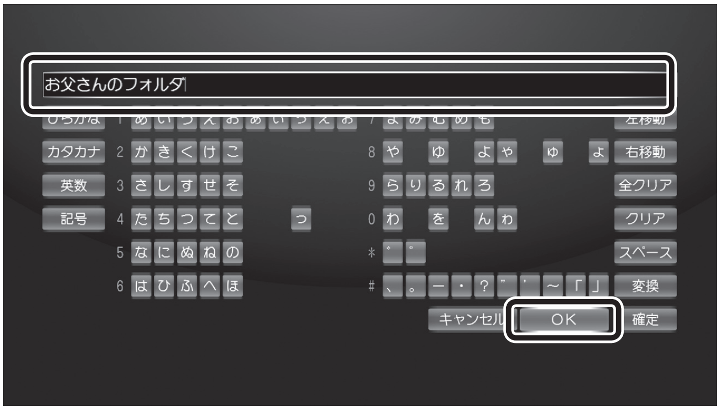


フォルダ名を入力する画面が表示されます。

5 フォルダ名を入力して「OK」を選び、【決定】を押す

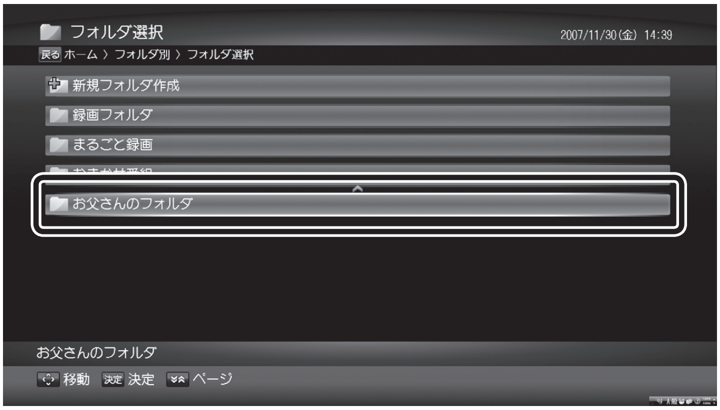
フォルダ名はキーボード、またはSWキーボードを使って入力できます。





フォルダが作成されます。

6 作成したフォルダを選び、【決定】を押す



選んだ番組がこのフォルダに移動します。すでに作成してあるフォルダに番組を移動する手順については、「録画した番組を移動する」(p.71)をご覧ください。

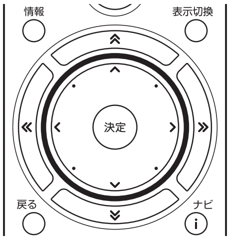
参照

SWキーボードの使い方→PART1「SWキーボードについて」(p.16)

■フォルダにパスワードをかける

作成したフォルダにパスワードをかけて保護することができます。

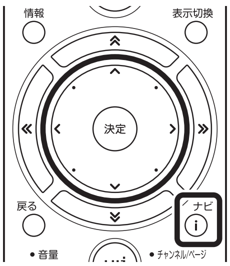
1 「録画番組」-「フォルダ別」を選んで【決定】を押す





「録画番組リスト」が表示されます。

2 パスワードをかけるフォルダを選び、【ナビ】を押す



ナビメニューが表示されます。

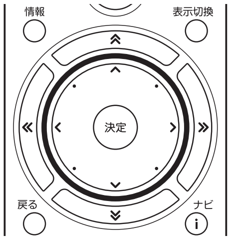
チェック

パスワードがかけられるのは、「フォルダを作成して番組を整理する」(p66)で作成したフォルダだけです。「録画フォルダ」など、最初からあるフォルダにパスワードをかけることはできません。

参照

フォルダのパスワードを削除する
→付録の「初期化」(p.147)

3 「パスワード設定」を選び、【決定】を押す

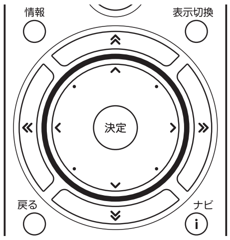




パスワードを入力する画面が表示されます。

4 パスワードを入力し、「OK」を選んで【決定】を押す

パスワードはキーボードまたはリモコンの数字キーを使って入力できます(8文字まで)。





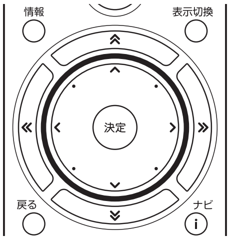
「録画番組リスト」に戻り、フォルダに錠のアイコンが表示されます。次回からこのフォルダを使うためには、パスワードが必要になります。

チェック

- ●パスワードの入力は、SWキーボードではおこなえません。
- ●パスワードを設定したフォルダに保存されている番組でも、DTCP-IPに対応したほかのソフトやほかのDTCP-IP機器では、パスワードを入力せずに再生することができます。

録画した番組を移動する

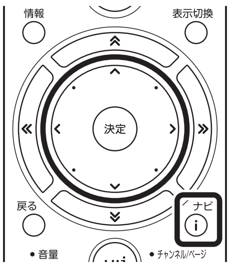
1 「録画番組」-「フォルダ別」を選び、【決定】を押す





「録画番組リスト」が表示されます。

2 移動する番組を選び、【ナビ】を押す

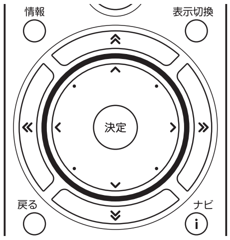


ナビメニューが表示されます。

チェック

録画中の番組は移動できません。

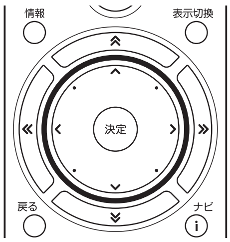
3 「移動」-「フォルダへ移動」を選び、【決定】を押す

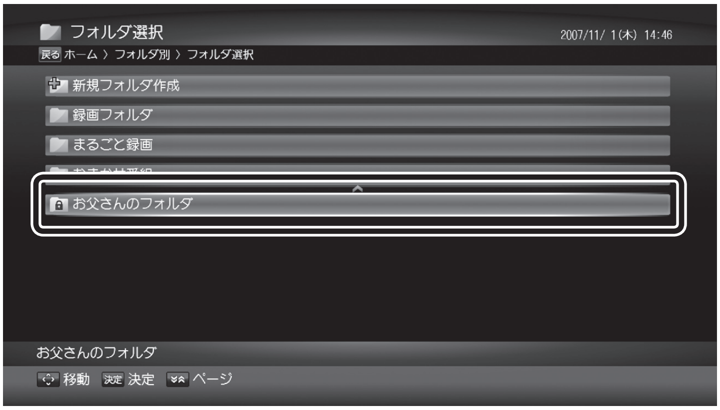




「フォルダ選択」画面が表示されます。

4 移動先のフォルダを選び、【決定】を押す





番組が移動されます。

チェック

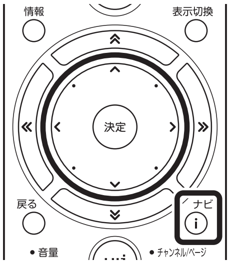
パスワードを設定したフォルダに移動するときは、パスワードの入力が必要になります。

録画した番組を削除する

録画番組を削除することができます。複数の録画番組をまとめて削除することもできます。

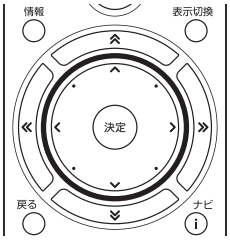
●録画番組を1件削除するときは

1 「録画番組リスト」で、削除したい番組を選んで【ナビ】を押す



ナビメニューが表示されます。

2 ナビメニューの「削除」を選んで【決定】を押す





確認のメッセージが表示されます。

3 「OK」を選び、【決定】を押す

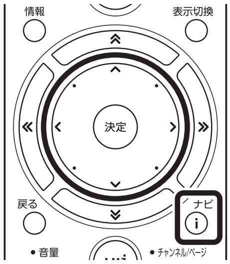
番組がごみ箱に移動されます。

チェック

- ●ごみ箱に移動しても、番組は完全には削除されません。「ごみ箱を空にする」操作をするか、ハードディスクの空き容量が少なくなると、番組が完全に削除されます。
- ●ハードディスクの空き容量が少なくなっても、ごみ箱に移動してから24時間経っていない番組は削除されません。
- ●「録画番組」-「フォルダ別」で、フォルダを選択して削除すると、フォルダ内の番組をまとめて削除できます。このとき、ごみ箱には移動されずにそのまま削除されます。
- ●パスワード付きのフォルダ内の番組を削除するときは、ごみ箱には移動されずにそのまま削除されます。

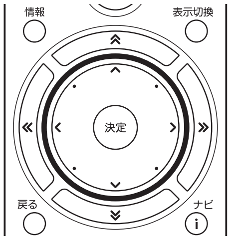
●複数の録画番組を削除するときは

1 「録画番組リスト」で、削除したい番組を選んで【ナビ】を押す



ナビメニューが表示されます。

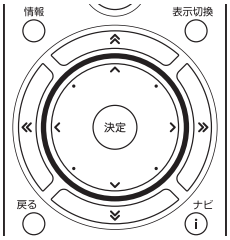
2 ナビメニューの「複数選択」を選んで【決定】を押す





複数の録画番組が選択できるようになります。

3 削除したい録画番組を選んで【決定】を押す



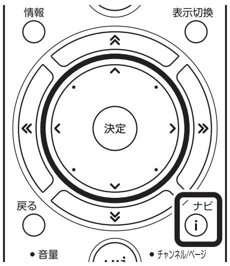


選んだ録画番組にチェックマークがつきます。

手順3を繰り返して、削除したい録画番組にチェックマークをつけてください。

チェックマークをはずしたいときは、もう一度その録画番組を選んで【決定】を押してください。

4 【ナビ】を押し、「削除」を選んで【決定】を押す



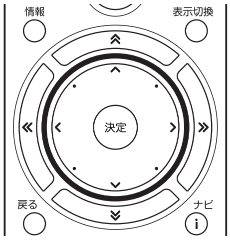


確認のメッセージが表示されます。

ポイント

異なるフォルダの録画番組を同時に選ぶことはできません。

5 「OK」を選んで【決定】を押す



録画番組が削除されます。

■自動削除について

録画予約時などにあらかじめ設定しておけば、録画した番組を自動的に削除することができます。
自動削除の設定を解除するときは、自動削除に設定されている番組を選んで【ナビ】を押し、「自動削除解除」を選んで【決定】を押してください。

削除する条件は次のとおりです。

・HDD不足時:予約の開始時にその番組を録画するのに充分な空き容量がないとき、または予約の途中でハードディスクの残り容量が0バイトになったときに削除されます。
・10日後:録画開始時刻から240時間が経過した後の深夜0時、または再起動時に削除されます。
・30日後:録画開始時刻から720時間が経過した後の深夜0時、または再起動時に削除されます。

なお、ハードディスクの残り容量が不足しているときは、次の条件で必要な空き容量が確保されるまで録画番組の削除をおこないます。

●ごみ箱にあるコンテンツ(ごみ箱に移動した日付が古いものから削除されます)
　ただし、ごみ箱に移動してから24時間経過していないものは削除されません。
●ハードディスクの残り容量の不足時に、自動削除の対象に設定されている録画番組(録画開始日時の古いものから削除されます)

チェック

録画用ハードディスクが2台の場合、ハードディスクの状況により古いものから削除されない場合があります。重要な録画番組は自動削除しないことをおすすめします。また、定期的に録画用HDD使用状況でHDD空き容量を確認し(p.145)、録画番組を整理することをおすすめします。

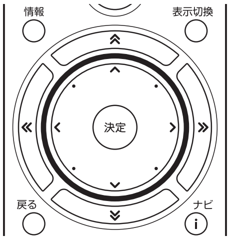
ごみ箱の操作をする

ごみ箱に移動した録画番組を手動で削除したり、録画フォルダに戻す方法について説明します。

■ごみ箱を空にする（すべての録画番組を削除する）

ごみ箱に保存されている録画番組をすべて削除します。

1 「録画番組」-「ごみ箱」を選び、【決定】を押す



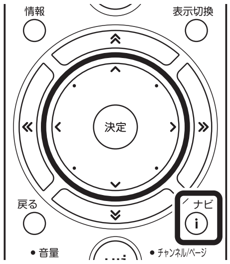


「ごみ箱」が表示されます。

チェック

ごみ箱から削除すると、番組は完全に削除され、元に戻せなくなります。

2 【ナビ】を押し、「ごみ箱を空にする」を選んで【決定】を押す





確認のメッセージが表示されます。

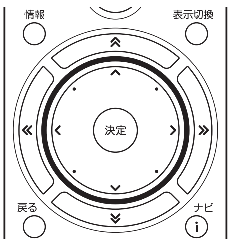
3 「OK」を選んで【決定】を押す

録画番組が完全に削除されます。

■録画番組を選んで削除する

ごみ箱に保存されている録画番組から、番組を選んで削除します。

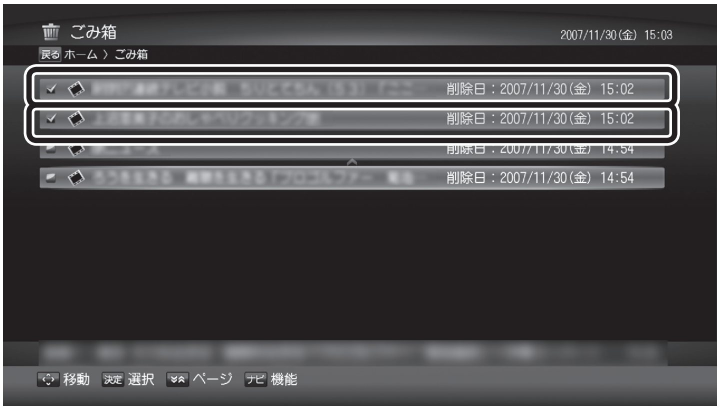
1 「録画番組」-「ごみ箱」を選び、【決定】を押す





「ごみ箱」が表示されます。

2 削除したい録画番組を選んで【決定】を押す

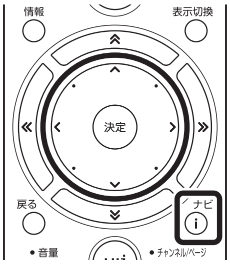


選んだ録画番組にチェックマークがつきます。

手順2を繰り返して、削除したい録画番組にチェックマークをつけてください。

チェックマークをはずしたいときは、もう一度その録画番組を選んで【決定】を押してください。

3 【ナビ】を押し、「削除」を選んで【決定】を押す





確認のメッセージが表示されます。

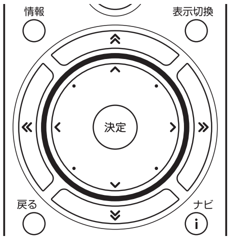
4 「OK」を選び、【決定】を押す

録画番組が完全に削除されます。

■録画番組を戻す

ごみ箱に保存されている録画番組を、「録画フォルダ」に戻します。
ごみ箱に移動する前に保存されていたフォルダに関わらず、ごみ箱から戻した録画番組は「録画フォルダ」に移動されます。

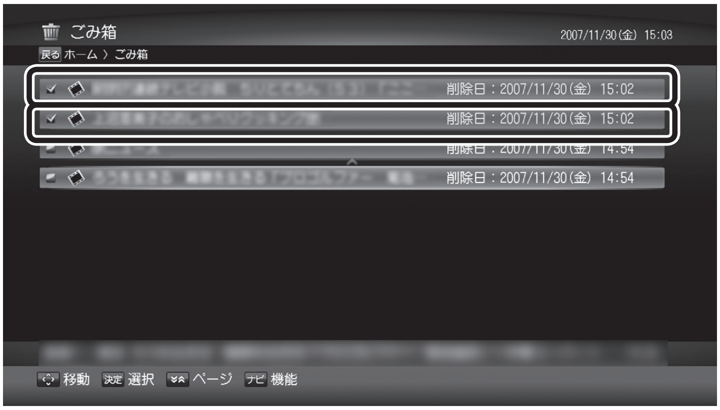
1 「録画番組」-「ごみ箱」を選び、【決定】を押す





「ごみ箱」が表示されます。

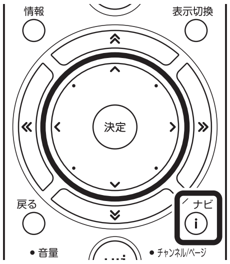
2 「録画フォルダ」に戻したい録画番組を選んで【決定】を押す



選んだ録画番組にチェックマークがつきます。
手順2を繰り返して、削除したい録画番組にチェックマークをつけてください。

チェックマークをはずしたいときは、もう一度その録画番組を選んで【決定】を押してください。

3 【ナビ】を押し、「元に戻す」を選んで【決定】を押す





録画番組が「録画フォルダ」に移動します。

PART 2
テレビ映像の録画・再生

番組をディスクに保存する準備

録画した番組は、ブルーレイディスクやDVDに保存することができます。

※使用できるディスクはモデルによって異なります。

使用できるディスクについて

録画した番組の保存には、次のディスクが使用できます。

・BD-RE（ブルーレイディスクドライブモデルのみ）
・CPRM対応DVD-RAM※

※：DVD-RAMに保存する場合は、デジタル放送画質の番組をアナログ画質に変換して保存します。

ポイント

CPRMとは、DVDなどの記録メディアで使われる、著作権を保護する技術です。

ディスクをフォーマットする（BD-RE/DVD-RAM）

BD-REやDVD-RAMに保存する場合は、事前にディスクをフォーマットしておく必要があります。ディスクは次の方法でフォーマットします。

・ブルーレイディスクドライブモデルの場合：BDドライバーソフトでフォーマットしてください。
・DVDスーパーマルチドライブモデルの場合：OSのフォーマット機能でフォーマットしてください。

BDドライバーソフトの使い方について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「BDドライバーソフト」をご覧ください。

チェック

フォーマットすると、それまでディスクに保存されていたデータはすべて削除されます。

■ CPRM のアップデートについて

CPRM対応のDVD-RAMに保存する前に、CPRMのアップデートが必要です。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「CPRMアップデータ」-「LuiStation CPRMアップデータ」をクリック

アップデート方法を説明する画面が表示されます。表示内容にしたがって、アップデートしてください。

ポイント

CPRMのアップデートをするには、インターネットに接続する必要があります。

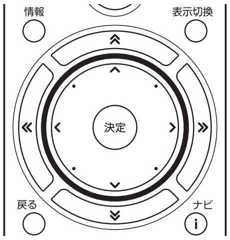
PART 2
テレビ映像の録画・再生

番組をディスクに保存する

次の手順で、録画した番組をディスクに保存します。

1 ディスクをDVD/CDドライブにセットする

2 「書き出し」-「書き出し」を選んで【決定】を押す





「書き出し」画面が表示されます。

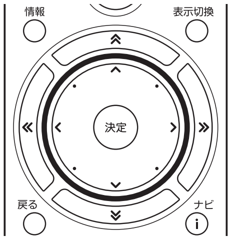
チェック

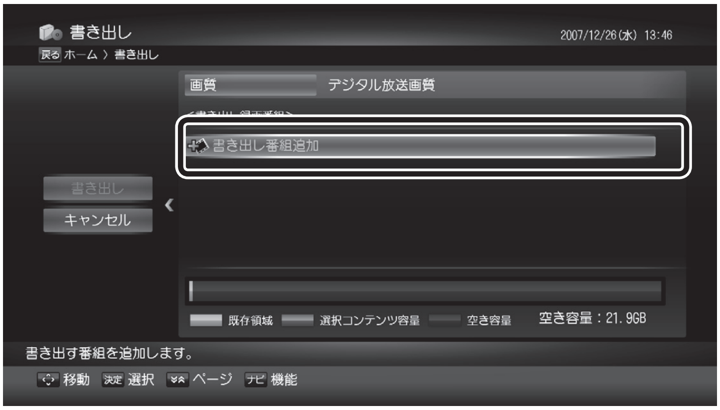
録画番組をディスクに保存しているときは、録画番組を再生することができません。

ポイント

- 録画したデジタル放送番組をディスクに保存すると、このパソコンの中の番組データは消去されます。コピーを作成して保存する「ダビング」とは異なり、移動して保存するという意味で「ムーブ(move)」と呼ばれます。
- DVD-Videoのようなメニュー画面を作成することはできません。

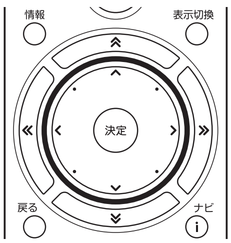
3 「書き出し番組追加」を選んで【決定】を押す

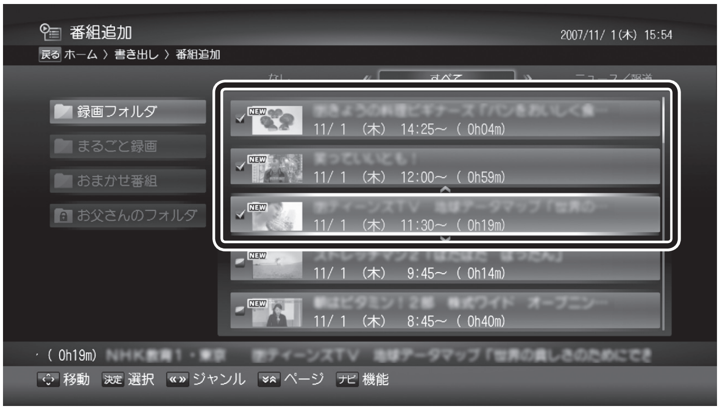




ディスクに書き出す番組を選ぶ画面（録画番組リスト）が表示されます。

4 書き出したい番組を選んで【決定】を押す





選んだ録画番組にチェックマークがつきます。

手順4を繰り返して、書き出したい録画番組にチェックマークをつけてください。

チェックマークをはずしたいときは、もう一度その録画番組を選んで【決定】を押してください。

ポイント

「画質」を選んで、ディスクに書き出すときの画質を変更することができます。

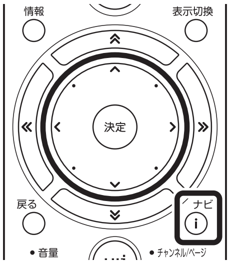
- BD-REに保存する場合
  - -デジタル放送画質
  - -アナログ変換：高画質（8Mbps）
  - -アナログ変換：標準（4Mbps）
  - -アナログ変換：長時間（2Mbps）
  - -アナログ変換：超長時間（1.2Mbps）
  - -アナログ変換：ぴったり画質※
- DVD-RAMに保存する場合
  - -アナログ変換：高画質（8Mbps）
  - -アナログ変換：標準（4Mbps）
  - -アナログ変換：長時間（2Mbps）
  - -アナログ変換：超長時間（1.2Mbps）
  - -アナログ変換：ぴったり画質※

※ディスクの空き容量に入るように、ビットレートを自動的に設定します。

ポイント

録画番組はフォルダごとに選ぶことができます。
複数のフォルダの録画番組をまとめて書き出したいときは、あるフォルダの録画番組を選んで手順5まで進み、書き出す番組の一覧が表示されたら、手順3に戻って別のフォルダの番組を選んでください。

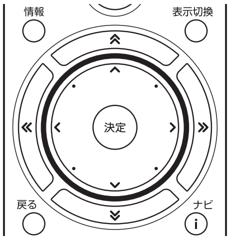
5 【ナビ】を押し、「選択完了」を選んで【決定】を押す





書き出す録画番組の一覧と、録画番組の容量（選択コンテンツ容量）が表示されます。

6 「書き出し」を選んで【決定】を押す





書き出しの確認画面が表示されます。

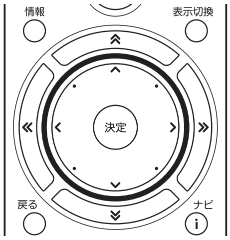
ポイント

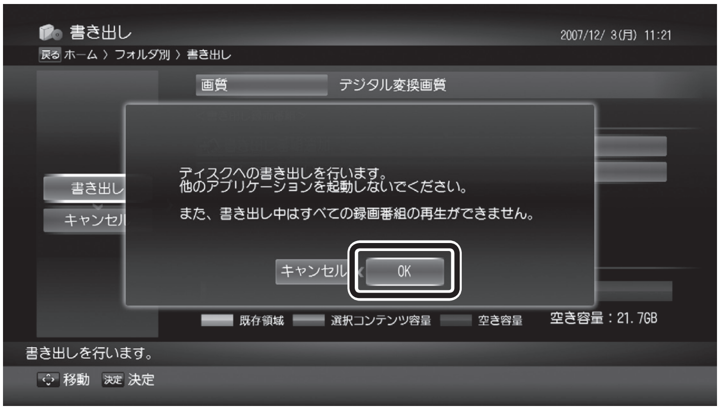
「録画番組リスト」で【ナビ】を押し、「移動」-「ディスクへ書き出し」を選んでディスクに書き出すこともできます。

チェック

- 書き出し中にWindowsがスリープ状態に移行しても、そのまま書き出しを続けます。
- 書き出し中にWindowsが休止状態に移行したりシャットダウンしたときは、書き出しがキャンセルされます。

7 「OK」を選んで【決定】を押す

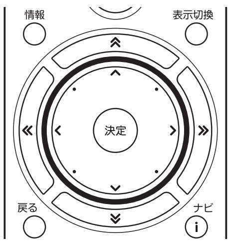




書き出しが始まり、下段に進捗状況が表示されます。

書き出しが終了すると「書き出しが完了しました」というメッセージが表示されます。

8 【決定】を押す





「書き出し」画面に戻ります。

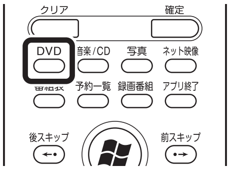
ディスクに保存した番組を再生する

ディスクに保存した番組は、WinDVD for NEC、またはWinDVD BD for NECで再生します。

■ DVD-RAM に保存した番組を再生する

CPRM対応DVD-RAMに保存した番組は、WinDVD for NEC、またはWinDVD BD for NECで再生します。再生には、CPRMの機器鍵(デバイスキー)をインストールする必要があります(マウスでの操作が必要です)。

1 リモコンの【DVD】を押す



CPRM録画されたDVD-RAMをはじめて再生するときは手順2に、2回目以降は手順3に進んでください。

2 WinDVD for NECまたはWinDVD BD for NECのウィンドウ上を右クリックし、「CPRM Packをダウンロード...」をクリック

表示される画面の指示にしたがって機器鍵(デバイスキー)をインストールしてください。

CPRMのアップデートをする方法について詳しくは、『準備と設定』付録の「CPRMのアップデート」で説明しています。このマニュアルとあわせてご覧ください。

3 DVD-RAMをDVD/CDドライブにセットする

映像の再生が始まります。

CPRM録画されたDVD-RAMをはじめてセットしたときは、WinDVD for NECまたはWinDVD BD for NECが再起動してから、映像の再生が始まります。

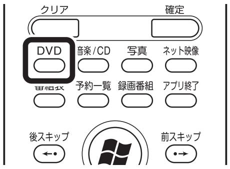
チェック

- CPRM対応DVD-RAMに保存した番組は、DVD-MovieAlbumSEでも再生できます。
- CPRMの機器鍵(デバイスキー)をダウンロードするには、インターネットに接続する必要があります。
- 作ったDVD-RAMは、このパソコン以外に、CPRM対応DVD-RAMの再生に対応したパソコンやプレーヤで再生できますが、機器によっては再生できない場合があります。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

■ BD-RE に保存した番組を再生する

BD-REに保存した番組は、WinDVD BD for NECで再生します。

1 リモコンの【DVD】を押す



2 BD-REをブルーレイディスクドライブにセットする

映像が再生されます。

■ ブルーレイディスクを再生するときの注意

- ブルーレイディスクの再生には、WinDVD BD for NECを使用してください。
- このパソコンのブルーレイディスク再生機能は次世代著作権保護技術AACS(Advanced Access Content System)に対応しています。著作権保護されたブルーレイディスクを再生するには、AACS キーの更新が必要です。また、更新の際にはインターネット接続環境が必要です。
- AACS のキーの更新は無償で提供いたしますが、NEC、コーレル株式会社の判断で予告なく終了することがあります。
- ブルーレイディスクを再生すると、画面の配色がWindows Vista ベーシックになり、ウィンドウの透過などの見栄えが変わることが あります。WinDVD BD for NECを終了するともとに戻ります。
- その他の注意事項など、「WinDVD BD for NEC」について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「WinDVD BD for NEC」をご覧ください。

PART 3

音楽・写真・動画

ここでは、Windows Media Centerを使って音楽・写真・動画を再生する方法について説明しています。

PART 3
音楽・写真・動画

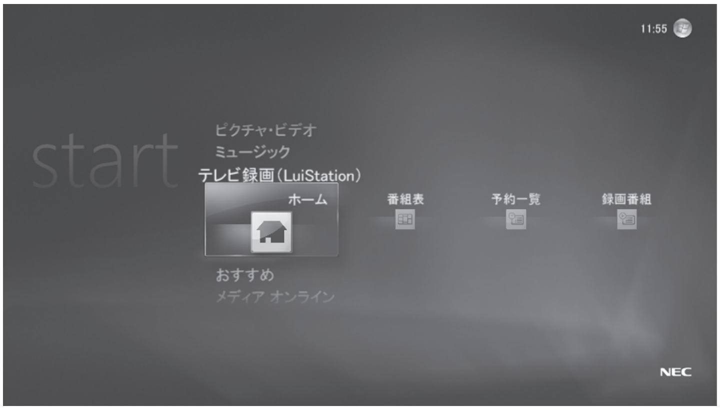
Windows Media Centerを起動／終了する

ここでは、Windows Media Centerの起動のしかたと終了のしかたについて説明します。

Windows Media Centerを起動する

1 リモコンの【メディアセンター】を押す





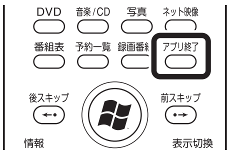
Windows Media Centerのメインメニューが表示されます。

ポイント

- Windows Media Centerを起動して、最初に表示された画面が「メインメニュー」です。この画面がWindows Media Centerのすべての操作の起点となります。
- 各機能の画面からメインメニューに戻りたいときは、リモコンの【メディアセンター】を押してください。
- リモコンの【矢印】ボタンで選んで【決定】を押す操作のかわりに、マウスで選びたい場所をクリックして操作することもできます。

Windows Media Centerを終了する

1 リモコンの【アプリ終了】を押す



Windows Media Centerが終了します。

ポイント

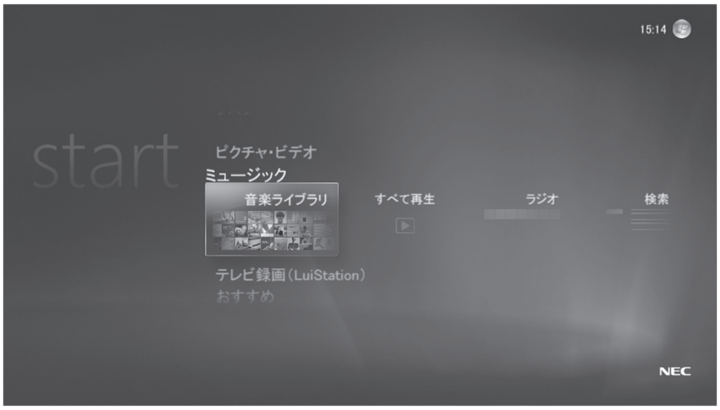
保存されていないデータがあるときは、保存するかどうか確認するメッセージが表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。

PART 3
音楽・写真・動画

音楽を聴く

Windows Media Centerでは、音楽CDの視聴、CDの曲の取り込み、取り込んだ曲の再生ができます。また、パソコンに取り込んだ曲を検索したり、インターネットを利用した検索や購入ができます。

Windows Media Centerの音楽再生機能

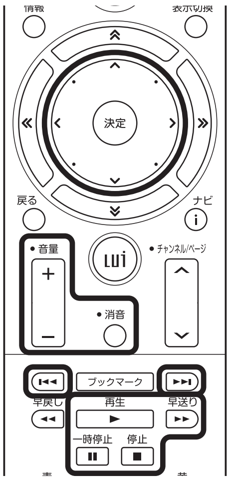


Windows Media Centerで音楽を聴くときは、メニュー一覧の「ミュージック」から操作したい項目を選びます。

■音楽ライブラリ

音楽CDを聴いたり、CDの曲の取り込み、取り込んだ曲の再生ができます。再生中の曲はメニュー一覧にプレイビュー＋再生待ちとして表示されます。

●曲の再生に使うボタン



再生中は、通常のCDプレーヤと同様に、リモコンのボタンで早送りや一時停止、スキップの操作ができます。なお、早戻しはできません（音楽CDの再生中は、早送りができません）。

ポイント

メニュー一覧の「おすすめ」にある「Music Store Browser」でインターネットの音楽販売サイトから曲を購入した場合は、「BeatJam Player」を使って聴くことができます（p.93）。

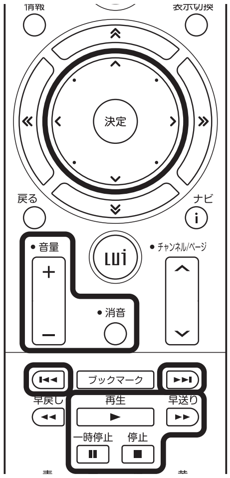
チェック

- 曲の再生中に【停止】で停止しても、「プレイビュー＋再生待ち」はメニュー一覧に表示されたままになります。表示を消したい場合は、もう一度【停止】を押してください。
- 曲の詳細画面で表示される「音楽の購入」を選ぶと、インターネットに接続され、曲の検索やサンプルの試聴ができます。

■すべて再生

音楽ライブラリに登録された曲が連続して再生されます。再生中の曲はメニュー一覧にプレイビュー +再生待ちとして表示されます。

●曲の再生に使うボタン



再生中は、通常のCDプレーヤと同様に、リモコンのボタンで早送りや一時停止やスキップの操作ができます。なお、早戻しはできません。

ポイント

ご購入時の状態では、ログインしているユーザーの「ミュージック」フォルダと「パブリックのミュージック」フォルダの曲が「音楽ライブラリ」に登録されています。他のフォルダの曲を追加する場合は、メニュー一覧の「タスク」の「設定」から「ライブラリのセットアップ」を選んでライブラリに追加するフォルダを設定してください。

■ラジオ

Windowsのヘルプをご覧ください。このパソコンが発売された時点では、日本国内のWindows Media Center用のインターネットラジオの機能はサポートされていません。将来的なサポートについては、Microsoft社のホームページなどで確認してください。

■検索

音楽ライブラリに登録された曲を対象に曲名、アルバム名、アーティスト名などをキーワードに検索をおこないます。

チェック

検索はそれぞれの曲に登録された「曲情報」に基づいて検索されます。曲情報の登録されていない曲は検索の対象外となります。

■他のミュージック

インターネットに接続している場合に表示されます。メニュー一覧の「メディア オンライン」の「プログラム ライブラリ」から関連する項目が表示されます。

その他の音楽再生機能

■ Windows Media Player について

このマニュアルでご紹介しているWindows Media Centerと同様、「Windows Media Player」を使って、音楽・画像・ビデオを楽しむことができます。



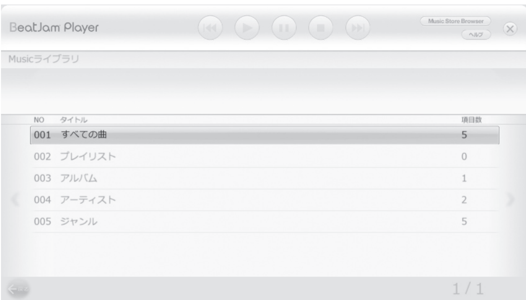
音楽CDの再生やDVDの視聴、パソコンに保存された音楽・画像・動画といったデジタルメディアファイルの再生や整理はもちろん、インターネット上のデジタルメディアファイルを再生したり、デジタルポータブルプレーヤなどに音楽やビデオを転送することもできます。

■ Music Store Browser と BeatJam Player について

「Music Store Browser」を使って、インターネットの音楽販売サイトから、曲を購入することができます。
購入した曲は、「BeatJam Player」で聴くことができます。



Music Store Browser



BeatJam Player

ポイント

Windows Media Playerを起動するには、「ソフトナビゲーター」の「音楽」-「音楽を聴く」-「Windows Media Player」の「ソフトを起動する」をクリックします。

参照

Windows Media Playerについて
→Windowsのヘルプ

ポイント

- Music Store Browserを使うには、Windows Media Centerのメインメニューから、「おすすめ」の「MusicStore Browser」を選んで【決定】を押します。
- BeatJam Playerを使うには、Windows Media Centerのメインメニューから、「おすすめ」の「BeatJam Player」を選んで【決定】を押します。

チェック

- Music Store Browserで購入した曲は、BeatJamとBeatJam Playerで再生できます。
- はじめてMusic Store BrowserやBeatJam Playerを起動したときは、使用許諾契約を確認するメッセージが表示されます。

  内容を確認して「同意する」をクリックしてください。

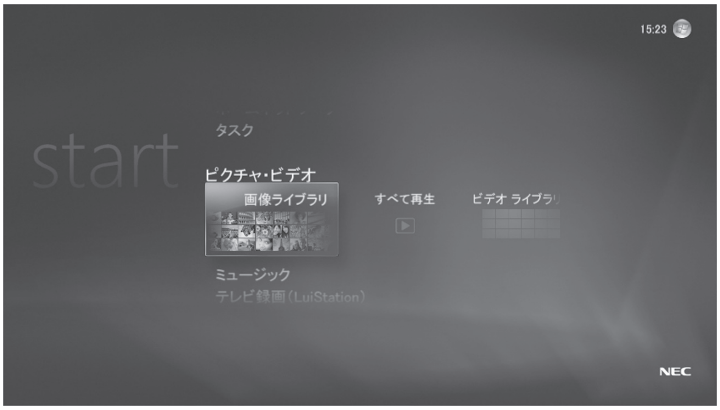
  ※すでにBeatJamの使用許諾契約に同意している場合、このメッセージは表示されません。

PART 3 音楽・写真・動画

写真を表示する

Windows Media Centerでは、デジタルカメラから写真を取り込んで再生することができます。写真の加工もできます。

Windows Media Centerの画像表示機能

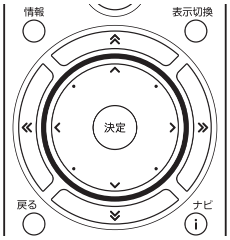


Windows Media Centerで写真を表示するときは、メニュー一覧の「ピクチャ・ビデオ」の「画像ライブラリ」または「すべて再生」を選びます。

■画像ライブラリ

パソコンに取り込んだ写真の再生ができます。1枚ずつ表示させることはもちろん、写真を自動的に切り換えて表示（スライドショー）させることもできます。

●写真の表示に使うボタン



ポイント

●Windows Media Centerを起動中に、写真を取り込むときは、パソコンにデジタルカメラを接続し、表示された画面で「画像とビデオのインポート」から取り込んでください。

●取り込んだ写真は、ログインしているユーザーの「ピクチャ」フォルダに保存されます。

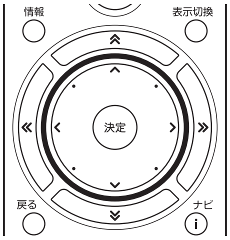
●デジタルカメラの接続方法は、デジタルカメラのマニュアルをご覧ください。

■すべて再生

画像ライブラリに登録された写真が連続して表示されます。フォルダを選んで写真を表示するときは、フォルダ内の写真を一覧で表示した状態で「スライドショー」を選んで【決定】を押してください。

曲を再生しているときに「プレイビュー」画面の「スライドショー再生」を選ぶと、曲を聴きながらスライドショー再生ができます。

●写真の表示に使うボタン



ポイント

スライドショーの設定は、【ナビ】を押して表示される「設定」-「ピクチャ」から写真の切り換え間隔や表示方法を変更できます。

Windows Media Centerの画像編集機能

赤く光ってしまった瞳の色を補正したり、写真の一部を切り抜いたりすることができます。

加工したい写真が表示された状態で【ナビ】を押し、「画像の詳細」-「修正」を選んで【決定】を押します。
(マウスの場合は写真を右クリックして、「画像の詳細」-「修正」をクリックします)
「修正」画面が表示されます。



次の補正・加工ができます。

- 赤目: ストロボなどの光で人物の瞳が赤く光った状態を補正できます。
- コントラスト: 写真のコントラストを調節できます。
- トリミング: 写真の一部を切り抜くことができます。切り抜く位置や大きさは、写真の下に表示されるボタン(アイコン)で調節できます。

ポイント

「Corel Paint Shop Pro Photot」などの画像編集ソフトを使って、写真を加工することもできます。

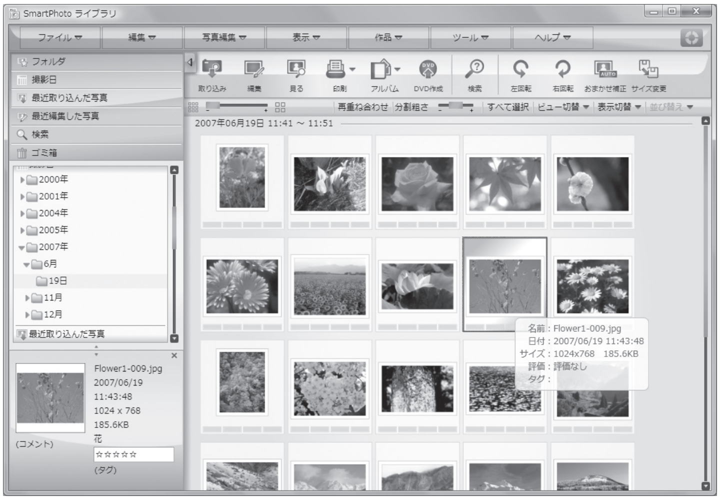
参 照

「Corel Paint Shop Pro Photot」について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「Corel Paint Shop Photot」

その他の画像編集機能

■ SmartPhoto について

このマニュアルで紹介しているWindows Media Centerと同様、「SmartPhoto」を使って、デジタルカメラの写真を取り込み、加工したり整理したりすることができます。



撮影日や時間などで写真を整理したり、「おまかせ補正」を使って写真を自動的に補正したりすることができます。また、写真を使ってアルバムを作成し、DVD-Videoにして配布することもできます。

ポイント

「SmartPhoto」を起動するには、「ソフトナビゲーター」の「写真・画像」-「写真を整理・管理する」-「SmartPhoto」の「ソフトを起動する」をクリックします。

参　照

SmartPhotoについて

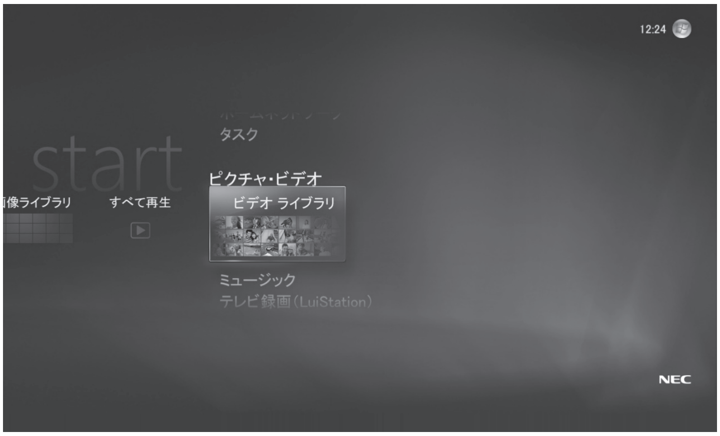
→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「SmartPhoto」

PART 3
音楽・写真・動画

動画を再生する

Windows Media Centerでは、このパソコンに取り込んだ動画を再生することができます。

Windows Media Centerの動画再生機能

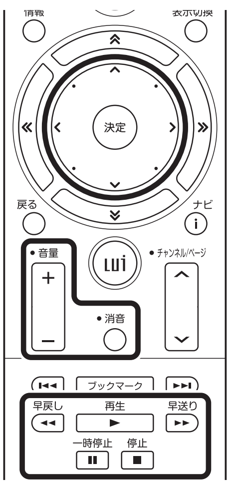


Windows Media Centerで動画を再生するときは、メニュー一覧の「ピクチャ・ビデオ」の「ビデオライブラリ」を選びます。

■ビデオライブラリ

パソコンに取り込んだ動画の再生ができます。
デジタルビデオカメラなどからこのパソコンに動画を取り込むときは、Windows® ムービーメーカーなどのソフトを使います。

●ビデオの再生に使うボタン



ポイント

「Windows Media Player」やデジタルビデオカメラに付属のソフトなどを使って、動画を楽しむこともできます。他のソフトの使い方については、それぞれのマニュアルやヘルプをご覧ください。

参照

●Windows® ムービーメーカーについて→Windows® ムービーメーカーのヘルプ
●デジタルビデオカメラの接続について→デジタルビデオカメラのマニュアル

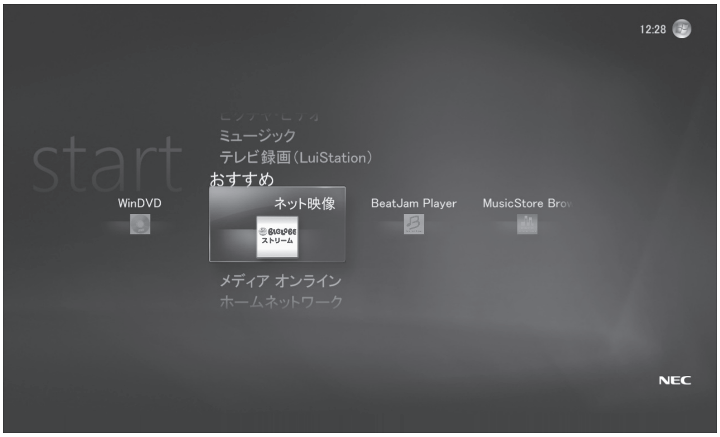
ポイント

ご購入時の状態では、ログインしているユーザーの「ビデオ」フォルダと「パブリックのビデオ」フォルダの動画が「ビデオライブラリ」に登録されています。他のフォルダの動画を追加する場合は、メニュー一覧の「タスク」の「設定」から「ライブラリのセットアップ」を選んでライブラリに追加するフォルダを設定してください。

チェック

動画の種類によっては、一部の操作ができないものもあります。

インターネットの動画再生機能



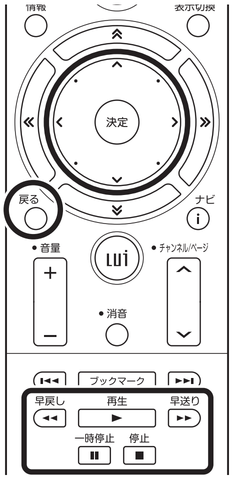
インターネットに接続して、BIGLOBEストリーム（インターネットプロバイダ「BIGLOBE」が提供しているブロードバンド映像サイト）の動画を視聴できます。
BIGLOBEストリームは、メニュー一覧の「おすすめ」の「ネット映像」から視聴できます。

■ネット映像

BIGLOBEストリームの動画を視聴できます。

■「BIGLOBE ストリーム」表示中の操作

リモコンのボタンで次のような操作ができます。



【早送り】：　映像を早送りします。
【早戻し】：　映像を早戻しします。
【一時停止】：再生を一時停止します。
【停止】：　再生を停止します。
【再生】：　再生します。
【矢印】：　メニューの項目やボタンを選びます。
【決定】：　メニューの操作を決定します。
【戻る】：　「BIGLOBEストリーム」の番組表に戻ります。番組表が表示されているときは、Windows Media Centerに戻ります。

・画面内のボタンで画質を選ぶことができます。
「標準画質」、「高画質」、「超高画質」のいずれかを選ぶことができます。動画は設定された画質で再生されます。ただし、対応する画質の映像が用意されていないときは、より低い画質（ビットレート）の動画が再生されます。
・画面内の「番組表」ボタンを選んで、番組表を表示させることができます。

ポイント

●インターネット接続環境が必要です。
●BIGLOBE会員でないかたもご覧いただけます。
●画面デザインおよびメニューは、予告なく変更になる場合があります。
●リモコンの【ネット映像】を押して、「BIGLOBEストリーム」を表示させることもできます。

チェック

●はじめて起動したときは、初期設定画面が表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。
●デジタル著作権管理(DRM)のアップグレードの案内が表示されたときは、画面の指示にしたがって操作してください。

ポイント

マウスで操作するときは、画面の項目やボタンをクリックして操作してください。

■「BIGLOBE ストリーム」視聴時のご注意

●映像を選択しているときにセキュリティ アップグレードの画面が表示されることがあります。その場合は、「OK」を選んで【決定】を押し、アップグレードをおこなってください。
●映像を見ているときにインターネット接続が切断されると、「オフライン作業」画面が表示されます。インターネットに接続されているかを確認して、「再試行」をクリックしてください。
●ネット映像が対応している画面解像度は、1,024×768以上です。
●ネット映像を見ているときにエラーメッセージが表示されたときは、Windows Media Centerが終了します。この場合は再度Windows Media Centerを起動してください。
●インストールなどの作業をおこなうときは、「WEBサイトの表示」画面が表示されることがあります。画面の指示を確認し、必要に応じてマウスやキーボードを使って操作してください。
●ご使用の回線速度や回線状況、またパソコンの負荷状況によって、映像がコマ落ちする場合があります。また、画面切換に時間がかかる場合があります。
●動画によっては、早戻し、早送り、一時停止などの操作ができない場合があります。

映像に関するお問い合わせ
「BIGLOBEカスタマーサポート」

お問い合わせフォーム
http://support.biglobe.ne.jp/ask.html

「BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク」
通話料無料 **0120-86-0962**
携帯電話・PHS・CATV電話の場合
03-3947-0962（通話料お客様負担）
9:00 ～ 21:00　365日受付

PART 3
音楽・写真・動画

DVDを視聴する

Windows Media Centerでは、DVDの再生が可能です。対応したモデルでは、ブルーレイディスクの再生もできます。

ブルーレイディスク再生の注意(ブルーレイディスクドライブモデル)

- このパソコンのブルーレイディスク再生機能は次世代著作権保護技術AACS(Advanced Access Content System)に対応しています。著作権保護されたブルーレイディスクを再生するには、AACSキーの更新が必要です。更新の際にはインターネット接続環境が必要です。
- AACSのキーの更新は無償で提供いたしますが、NEC、コーレル社の判断で予告なく終了することがあります。
- リージョンコードが「A」のBD-ROMコンテンツのみを再生できます。リージョンコードが異なるBD-ROMコンテンツは再生できません。
- ブルーレイディスクは新しい規格のディスクです。一部のブルーレイディスクのタイトルとは互換性がない場合があります。NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」で提供するアップデートモジュールで解決する場合があります。
- ブルーレイディスクはソフトを使って再生しているためコマ落ちや音飛びがすることがあります。
- ブルーレイディスク再生機能はコンテンツ内蔵のプログラムにしたがって作動しますので、コンテンツによって、操作方法、操作時の画面、効果音、アイコンなどの機能・動作は、それぞれ異なる場合があります。

■ AACS キーの更新方法

AACSキーの更新手順は次のとおりです(マウスで操作してください)。

1 AACSキーの含まれたBDコンテンツを再生すると、「AACSキーの有効期間が終了しました。…」という画面が表示されるので、「はい」をクリック

自動的にInternet Explorerが起動し、InterVideoの画面が表示されます。

2 InterVideoに登録している場合は、登録したメールアドレスとパスワードを入力して「Sign in」をクリック

登録していない場合は、「Sign up」をクリックしてください。登録画面へ移動します。

「Sign in」をクリックすると、AACSキーのダウンロードが始まります。終了すると自動的に画面が閉じます。

3 「AACSキーのアップデートが終了しました。」の画面で「OK」をクリック

チェック

- ブルーレイディスクドライブモデルは、市販のブルーレイディスク(BD-ROM)を再生できます。
- ブルーレイディスクを再生すると、画面の配色がWindows Vista ベーシックになり、ウィンドウの透過などの見た目が変わることがあります。WinDVD BD for NECを終了するともとに戻ります。

Windows Media CenterのDVD再生機能



Windows Media CenterでDVDを再生するときは、メニュー一覧の「おすすめ」の「WinDVD」を選びます。

■ WinDVD

「WinDVD for NEC」または「WinDVD BD for NEC」が起動してディスクの再生が始まります。

ポイント

Windows Media CenterのDVD機能は、次のソフトによって実現されています。

- ●「WinDVD for NEC」（DVDスーパーマルチドライブモデル）
- ●「WinDVD BD for NEC」（ブルーレイディスクドライブモデル）

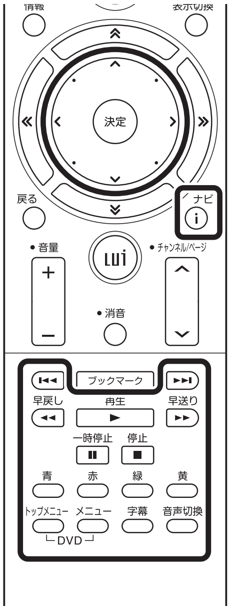
これらのソフトを単独で起動してDVDを視聴することもできます。

ポイント

- ●再生時の動作は、すぐ本編の再生が始まるものや、メニューが表示されるものなど、ディスクによって異なります。詳しくはディスクに添付されているマニュアルをご覧ください。
- ●ディスクを途中で停止すると、次に同じディスクを再生するとき、続きから再生されます。最初から再生したいときは、【停止】を2回押し、その後【再生】を押してください。
- ●再生にはHDCP対応のディスプレイが必要です。
- ●再生中のディスプレイの電源や入力を切り換えると再生が停止します。

■ DVDの再生に利用するボタン

再生中は、通常のDVDプレーヤと同様に、リモコンのボタンで次の操作ができます。



【早送り】: 映像を早送りします。
押すごとに、早送りの速度が上がります。

【早戻し】: 映像を早戻しします。
押すごとに、早戻しの速度が上がります。

【一時停止】: 再生を一時停止します。

【|◀◀】・【▶▶|】: 前後のチャプターに移動します。

【停止】: 再生を停止します。

【再生】: 再生します。

【矢印】: メニューの項目などを選びます。

【決定】: メニューなどで操作を決定します。

【ナビ】: 操作用のメニューを表示します。

【トップメニュー】: トップメニューを表示します。

【メニュー】: 再生されている映像のメニューを表示します。

【字幕】: 字幕のあるディスクで、字幕の言語や表示する／しないを切り換えます。

【音声切換】: 2か国語などのディスクで音声を切り換えます。

【青】【赤】【緑】【黄】: ブルーレイディスクのタイトルによっては、使用できるものがあります。詳しくはディスクに添付されているマニュアルをご覧ください。

ポイント

マウスで操作するときは、再生中の画面でマウスをクリックすると、画面の下側に操作用のボタンが表示されます。

それらのボタンをクリックして操作してください。

ボタンの機能について詳しくは「WinDVD for NEC」または「WinDVD BD for NEC」のヘルプをご覧ください。

参照

さらに詳しい「WinDVD for NEC」や「WinDVD BD for NEC」の機能について

→「WinDVD for NEC」のヘルプ

→「WinDVD BD for NEC」のヘルプ

チェック

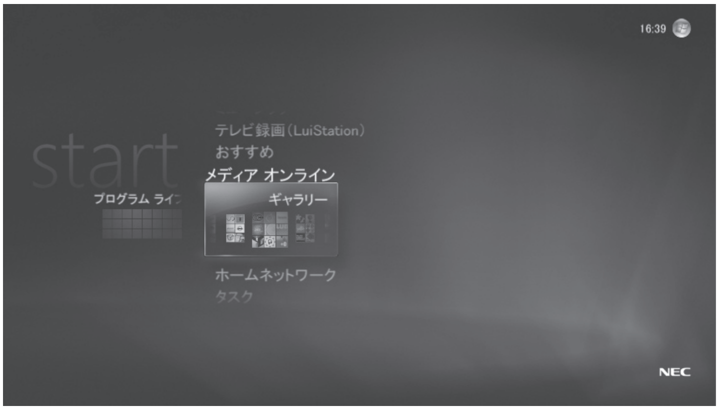
「タスク」-「設定」-「全般」の「保護者による制限」の設定内容を変更しても、WinDVDには反映されません。

PART 3
音楽・写真・動画

インターネットのコンテンツを利用する

Windows Media Centerでは、インターネット上のコンテンツにアクセスして映像や音楽を視聴することができます。

Windows Media Centerのメディアオンライン機能



Windows Media Centerでインターネットのコンテンツにアクセスするときは、「メディア オンライン」から操作します。

■ギャラリー

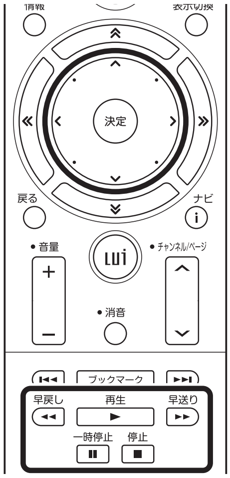
視聴したいコンテンツを配信している項目(サイト)を選ぶとコンテンツの再生が始まります。
インターネットから必要な情報がダウンロードされると表示されるようになります。ご購入時の状態では表示されません。
「ギャラリー」が表示されないときは、インターネットに接続した状態で「タスク」-「設定」-「全般」-「自動ダウンロードオプション」の「今すぐダウンロード」を選んで【決定】を押し、画面の指示にしたがって操作してください。その後、インターネットに接続した状態でしばらくお待ちいただくか、Windows Media Centerを一度終了し、起動しなおしてください。

ポイント

- インターネット接続環境が必要です。
- 視聴には別途料金がかかることがあります。

■コンテンツの再生中の操作に利用するボタン

リモコンのボタンで次のような操作ができます。



【早送り】: コンテンツを早送りします。
【早戻し】: コンテンツを早戻しします。
【一時停止】: 再生を一時停止します。
【停止】: 再生を停止します。
【再生】: 再生します。
【矢印】: メニューの項目やボタンを選びます。
【決定】: メニューの操作を決定します。
【戻る】: ひとつ前の画面に戻ります。

■プログラムライブラリ

「プログラムライブラリ」には、パズルやテーブルゲームなどリモコンで手軽に遊べるゲームや、音楽用ソフトなどのショートカットが登録されています。
また、「ギャラリー」でインターネットに接続して、ダウンロードしたゲームなどをここに登録することもできます。
プログラムライブラリについて詳しくは、Windows のヘルプをご覧ください。

チェック

操作のしかたは接続したサイトによって異なります。コンテンツによっては早戻しや早送り、一時停止などの操作ができないこともあります。

必要に応じて、画面の説明を確認してください。

PART
4

ネットワークの活用

ここでは、ネットワークなどを通じて、他の機器と相互にコンテンツを視聴する方法について説明しています。

PART 4 ネットワークの活用

ホームネットワークで映像や音楽を視聴する

ホームネットワーク内のDLNAに対応した機器とこのパソコンで、相互にコンテンツを視聴することができます。
また、セーフコネクトを利用することで、外出先からコンテンツを視聴することもできます。

■ DLNA とは

Digital Living Network Allianceの略称です。
ホームネットワークを使ってパソコンやAV機器などをつなぎ、コンテンツを相互に活用するための仕様を決める団体、そしてその仕様そのものの名前です。
DLNAに対応した製品同士は、ネットワークを通じて音楽・画像・動画といったコンテンツをやり取りすることができます。
DLNAへの対応については、各製品のマニュアルでご確認ください。
NEC製パソコン(VALUESTAR、LaVie)では、2007年1月以降に発表された製品にインストールされている「DiXiM Media Client for Media Center」および、2006年4月発表の製品から2006年8月発表の製品にインストールされている「MediaGarage」がDLNA に準拠しています。また、それ以前に発売された製品でも、2005年9月以降に発表された製品であれば、http://121ware.com/から「MediaGarage」のアップデートモジュールを入手し、適用すればDLNAに対応します。

以降、このマニュアルでは、DLNAに対応したパソコンやAV機器を「DLNA製品」と表記します。

■ホームネットワークを作る

このパソコンには、ホームネットワークを作るためのソフト「ホームネットサポーター」が入っています。
画面の説明にしたがって操作を進めることでホームネットワークが設定できます。



ホームネットワーク経由で音楽・画像・動画といったコンテンツを楽しむときは、コンテンツを公開するための設定が必要です。次の「コンテンツを公開する」をご覧ください。

ポイント

- ホームネットサポーターは、ソフトナビゲーターの「ホームネットワーク」-「ホームネットワークを設定する」-「ホームネットサポーター」の「ソフトを起動する」で起動できます。
- ホームネットサポーターなどのソフトは、マウスを使って操作してください。

チェック

セキュリティソフトを使っているときは、セキュリティソフトのマニュアルをご覧になり、ネットワーク上のパソコン同士が通信できるように設定してください。このパソコンにインストールされている「ウイルスバスター」は、あらかじめ通信できるように設定されていますので、継続してご利用になることをおすすめします。それ以外(市販版など)のセキュリティソフトをご利用になるときは、別途設定が必要となります。

参照

- ホームネットサポーターについて
  →『準備と設定』
- LANケーブルなどの接続について
  →「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「LAN」
- ネットワーク機器の接続について
  →ルータなどのネットワーク機器のマニュアル

コンテンツを公開する

パソコンを含むネットワーク上の機器のデータは、基本的にほかの機器からは利用できないよう保護されています。
DLNA製品を活用するためには、それぞれの機器のコンテンツがほかの機器から利用できるように設定する必要があります。これをコンテンツの公開と呼びます。
ここでは、このパソコンのコンテンツをほかのDLNA製品に公開する操作について説明します。

1 ホームネットサポーターのメインメニューを表示させる

2 「写真・音楽データの共有設定」をクリック

「写真・音楽データの共有設定」画面が表示されます。

3 「ほかのパソコンの写真/音楽を視聴する設定をする」をクリック

「データ参照を許可するパソコン」に、ネットワーク上のパソコン(DLNA製品)の一覧が表示されます。

4 コンテンツの公開を許可するパソコン(DLNA製品)の☐をクリックし、☑にする

5 「完了」をクリックし、「OK」をクリック

これで、コンテンツを公開する設定は完了です。

ポイント

- あらかじめホームネットサポーターで、ホームネットワークを作っておいてください。
- マウスで操作してください。

ポイント

- 公開を中止するときは、☑をクリックして☐に戻してください。
- 「詳細設定」をクリックして「DiXiM Media Server Tool」を起動し、公開するフォルダの種別など、より細かな設定をおこなうこともできます。
- ご購入時の状態では「パブリックのミュージック」、「パブリックのピクチャ」、「パブリックのビデオ」の3つのフォルダが公開されます。必要に応じて、ユーザーの「ミュージック」、「ピクチャ」、「ビデオ」などのフォルダを公開してください。

ポイント

ほかのDLNA機器のコンテンツを公開する操作については、それぞれの製品のマニュアルをご覧ください。公開されたコンテンツは、このパソコンから視聴できるようになります。

コンテンツを視聴する

ホームネットワークに公開されたコンテンツ(音楽・画像・ビデオ(動画))は、ほかのDLNA製品で視聴することができます。
ここでは、ホームネットワークに公開された曲を聴く手順を例に、このパソコンのWindows Media Centerを使ってほかのDLNA製品のコンテンツを視聴する操作について説明します。

1 「ホームネットワーク」の「音楽」を選んで【決定】を押す



ホームネットワークに公開された曲の一覧が表示されます。

2 「アルバム」を選び、下に表示されたアルバムの一覧から、再生したい曲が含まれたアルバムを選んで【決定】を押す

「アルバムの詳細」画面が表示されます。ここから先は、画面を見ながら操作してください。

曲の再生中は、Windows Media Centerの「ミュージック」で、このパソコンに保存された曲を再生しているときと同様に、リモコンのボタンで停止・スキップ(次の曲あるいは前の曲に移動)・一時停止などの操作ができます。

チェック

あらかじめ、対象となるDLNA製品のコンテンツを公開しておいてください。

コンテンツを公開する操作については、それぞれの製品のマニュアルをご覧ください。

ポイント

このパソコン以外のDLNA製品でコンテンツを視聴するときの操作については、それぞれの製品のマニュアルをご覧ください。

チェック

コンテンツを公開しているにもかかわらず、目的の曲(コンテンツ)が表示されないときは、「■接続した機器を選んでコンテンツを視聴する」(p110)をご覧ください。

ポイント

- ここでは例として「アルバム」を選んでいますが、「アーティスト」や「ジャンル」などを選んで、その項目に分類された曲を再生することもできます。また、「検索」を選んでキーワードで曲やアルバムを検索することもできます。
- ホームネットワークに公開された画像やビデオ(動画)を視聴するときは、手順1で「ホームネットワーク」の「画像」または「ビデオ」を選んで【決定】を押してください。

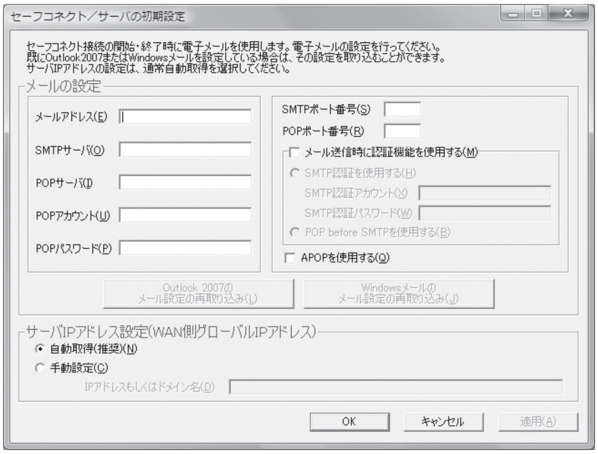
  視聴中の操作は、Windows Media Centerの「ピクチャ・ビデオ」で、このパソコンに保存された写真や動画を再生しているときと同様です。

チェック

- コンテンツの種類や、コンテンツが保存されているDLNA製品の性能などによって、再生できなかったり、早送りや早戻し、スキップなどの操作ができないことがあります。
- 「ピクチャ・ビデオ」で写真を再生しながら「ホームネットワーク」の「音楽」で曲を再生したり、「ホームネットワーク」の「画像」で写真を再生しながら「ミュージック」で曲を再生することはできません。

■外出先からコンテンツを視聴する

セーフコネクト／クライアントが搭載された機器をお持ちの場合は、外出先からインターネット回線を通じてコンテンツを視聴することができます。セーフコネクトの利用には、セーフコネクト／クライアントが搭載された機器での設定のほか、このパソコンでのセーフコネクト／サーバの設定も必要になります。



セーフコネクトで接続された機器からは、ホームネットワークと同様の手順でコンテンツの視聴がおこなえます。

■コンテンツを探す

キーワードを入力して、ホームネットワークに公開されたコンテンツを検索できます。
ここでは曲を探す手順を例に、コンテンツを検索する操作について説明します。

1 「ホームネットワーク」の「音楽」を選んで【決定】を押す

2 「検索」を選び、下に表示された検索文字列の入力欄を選ぶ

3 キーボードを使って、検索用のキーワードを入力する

最初の文字を入力してから2秒たつと検索が始まり、検索の結果が右側に表示されます。



📖 参照

セーフコネクトについて→『準備と設定』

チェック

- 著作権保護されたコンテンツは、宅外から視聴することはできません。
- あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

ポイント

それぞれのコンテンツに登録された情報に基づいて検索されます。情報が登録されていないコンテンツは検索の対象になりません。

チェック

DLNA製品によっては、キーワードによる検索をおこなうことができません。

その場合は、「■接続した機器を選んでコンテンツを視聴する」(p.110)をご覧ください。

ポイント

曲名などコンテンツそのものの名前のほか、アルバム名やアーティスト名なども検索の対象となります。

4 検索結果を選んで、【決定】を押す

「曲の詳細」画面や「アルバムの詳細」画面などが表示されます。

このあとの操作は、画面を見ながらおこなってください。

> **ポイント**
> コンテンツによっては、検索結果を選んで【決定】を押すと、すぐ再生が始まるものもあります。

■接続した機器を選んでコンテンツを視聴する

コンテンツが保存されているDLNA製品によっては、公開されたコンテンツが「ホームネットワーク」の「音楽」、「画像」、「ビデオ」に表示されないことがあります。
「コンテンツを視聴する」の操作で目的のコンテンツが見つからないときは、DLNA製品の名前を選んでコンテンツを探すことができます。
ここでは、あるDLNA製品に保存された曲を聴く手順を例に、DLNA製品を選んで目的のコンテンツを視聴する操作について説明します。

1 「ホームネットワーク」の「接続機器選択」を選んで【決定】を押す



ホームネットワークにつながっているDLNA製品の一覧が表示されます。

> **チェック**
> DLNA製品が表示されないときは、「■ホームネットワークを作る」(p.106)をご覧になり、DLNA製品の接続とホームネットワークの設定を確認してください。

2 再生したい曲が保存されているDLNA製品を選んで【決定】を押す

選んだDLNA製品のフォルダ(公開されているフォルダ)が表示されます。

3 再生したい曲が保存されているフォルダを選んで【決定】を押す

曲の一覧(そのフォルダに保存されているコンテンツの一覧)が表示されます。

さらにフォルダや「アルバム」などの項目が表示されたときは、手順3の操作を繰り返し、曲を表示させてください。

> **ポイント**
> ホームネットワークに公開された画像やビデオ(動画)を視聴するときは、手順3で画像やビデオ(動画)が保存されているフォルダを選んで【決定】を押してください。
>
> 視聴中の操作は、Windows Media Centerの「ピクチャ・ビデオ」で、このパソコンに保存された写真や動画を再生しているときと同様です。

4 再生したい曲を選んで【決定】を押す

曲の再生が始まります。

再生中は、Windows Media Centerの「ミュージック」で、このパソコンに保存された曲を再生しているときと同様に、リモコンのボタンで停止・スキップ(次の曲あるいは前の曲に移動)・一時停止などの操作ができます。

> **チェック**
> コンテンツの種類や、コンテンツが保存されているDLNA製品の性能などによって、再生できなかったり、早送りや早戻し、スキップなどの操作ができないことがあります。

■コンテンツをダウンロード / アップロードする

公開されている他の機器のコンテンツをこのパソコンにダウンロードしたり、このパソコンで公開しているコンテンツを他の機器にアップロードしたりできます。
※ダウンロード、アップロードは、2008年1月以降に発表されたVALUSTAR/LaVie/Lui SXの間でのみ利用できます。

●コンテンツをダウンロードする

ここでは曲をダウンロードする手順を例に説明します。

1 「ホームネットワーク」の「音楽」を選んで【決定】を押す

2 「サーバー」を選び、表示されたサーバーの中から または が表示されているサーバーを選んで【決定】を押す



そのサーバーで公開されているアルバムが表示されます。

3 ダウンロードしたいアルバムを選んで【ナビ】を押す

4 表示されたメニューから「ダウンロードする」を選んで【決定】を押す

確認のメッセージが表示された場合は、「はい」を選んで【決定】を押します。ダウンロードが開始されます。ダウンロード中も、Windows Media Centerの機能を使うことができます。

ダウンロードが終わると、「ダウンロードが完了しました」のメッセージが表示されます。

チェック

または が表示されていても、コンテンツによってはダウンロードできない場合があります。

ポイント

- ●曲を1曲だけ選んでダウンロードすることもできます。
- ●ダウンロードの状態を確認したり、中止したりする場合は、【ナビ】を押し「ダウンロードを確認する」、「ダウンロードを中止する」を選んで【決定】を押してください。
- ●ホームネットワークに公開された画像やビデオ(動画)をダウンロードするときは、手順1で「画像」や「ビデオ」を選んでください。
- ●ダウンロードしたコンテンツは「ユーザー名」-「ピクチャ」、「ミュージック」、「ビデオ」のフォルダにそれぞれ保存されます。
- ●ダウンロード/アップロード中にWindows Media Centerを終了した場合、ダウンロード/アップロードも中止されます。

●コンテンツをアップロードする

このパソコンから他の機器にコンテンツをアップロードする場合は、あらかじめ次の準備をしてください。

1 「ホームネットワーク」の「接続機器選択」画面を表示する

2 青色の または緑色の が表示されている機器の中からアップロードしたい機器を選び【ナビ】を押して、「アップロード先として登録」を選び【決定】を押す

オレンジ色の または が付きます。
コンテンツをアップロードする場合は、「ホームネットワーク」でアップロードするコンテンツの種類(「音楽」など)を選び、「サーバ」から が表示されている機器を選んで【決定】を押してください。アップロードしたコンテンツを選び、【ナビ】を押して「アップロードする」を選んで【決定】を押すと手順2で選んだ機器にコンテンツがアップロードされます。

ポイント

- ●アップロードされたコンテンツは「パブリックのピクチャ」、「パブリックのミュージック」、「パブリックのビデオ」にそれぞれ保存されます。
- ●ダウンロード/アップロード中にWindows Media Centerを終了した場合、ダウンロード/アップロードも中止されます。

PART 4 ネットワークの活用

ホームネットワークで録画番組を配信する

ホームネットワーク内の他のパソコンで、このパソコンの録画番組を視聴することができます。

利用できるパソコンについて

録画番組の配信には、DTCP-IPを利用します。次のNEC製品で視聴することができます。

●2007年1月以降発表のVALUESTAR/LaVieシリーズで、Windows Media Centerの「ホームネットワーク」に「デジタル録画番組」が表示されているモデル

・ 視聴用ソフト「Digital Video Network Player」がインストール済みで、最新のアップデートモジュールが適用されていること

※：最新の情報については、http://121ware.com/をご覧ください。

なお、録画したデジタル放送番組を、ネットワークを使って配信したり視聴したりするときは、著作権保護のためのライセンスの取得が必要です。
配信時および視聴時のライセンス取得の操作については、それぞれ「放送番組を配信するための設定」(p.114)および「放送番組を視聴する」(p.115)をご覧ください。

■ DTCP-IP とは

デジタル放送など、著作権が保護されているコンテンツを、家庭内のネットワークを使って伝送するための技術規格です（著作権保護技術「DTCP(Digital Transmission Content Protection)」をIPネットワークに適用したもの）。
ネットワークに送り出すコンテンツを暗号化したり、コンテンツがホームネットワークからインターネットなど外部のネットワークへ流出することを防いだりすることで、コンテンツの著作権を保護します。

チェック

●ネットワークの速度が24Mbpsを下回ると、映像が乱れる（コマ落ちする）ことがあります。特に、ワイヤレスLAN(無線LAN)をお使いの場合はご注意ください。

●LaVieは、次の状態でご使用ください。

・電源コード(ACアダプタ)でコンセントに接続する（バッテリ駆動しない）。

・「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「電源オプション」で、「LaVie高性能」を選ぶ。

・「スタート」-「すべてのプログラム」-「Catalyst Control Center」-「CCC」で、「POWERPLAY」の「POWERPLAY設定」を「最大パフォーマンス」にする。

●デジタル録画番組をネットワーク経由で配信／視聴するには、ライセンスの取得時にインターネット接続が必要となります。

参照

ホームネットワークについて
→「ホームネットワークで映像や音楽を視聴する」(p.106)

放送番組を配信するための設定

ホームネットワークを使って、録画したデジタル放送番組を配信するときは、著作権保護のためのライセンスを取得する必要があります。
ここでは、そのライセンスの取得(アクティベーション)の操作について説明します。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「DigiOn」-「DiXiM Media Server Tool」をクリック

「Media Server Tool」画面が表示されます。

2 「デジタル録画番組の配信」タブをクリック

3 キーボードを使って、別紙の『デジタル放送録画番組配信機能をお使いのお客様へ』に記載されたライセンスキーを入力する



4 「ライセンスを取得する」をクリック

「ライセンス認証の利用規約」画面が表示されます。

5 表示された内容を確認して「同意する」をクリック

ライセンスの取得が始まります。

完了すると、ライセンスの取得完了を告げるメッセージが表示されます。

6 「OK」をクリック

これで、録画したデジタル放送番組を配信するためのライセンスの取得は完了です。

チェック

- 「再生をおこなう前に」(p.58)の操作で、すでにライセンスを取得しているときは、ここでの操作は不要です。
- ライセンスを取得するときは、インターネットに接続する必要があります。

ポイント

マウスで操作してください。

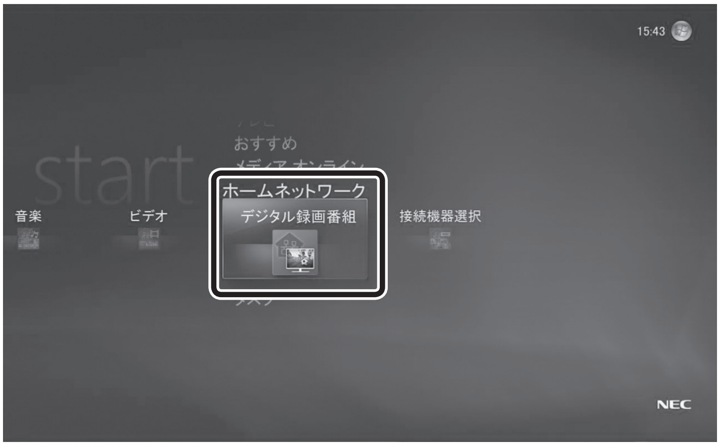
放送番組を視聴する

■ライセンスを取得する

ホームネットワークを使って録画されたデジタル放送番組を視聴するときは、著作権保護のためのライセンスを取得する必要があります。

ここでは、そのライセンスの取得の操作について説明します。

1 「ホームネットワーク」の「デジタル録画番組」をクリック



ホームネットワークに配信されている録画されたデジタル放送番組の一覧が表示されます。

フォルダが表示されたときは、フォルダを選んでクリックし、デジタル放送番組の一覧を表示させせます。

2 視聴したいデジタル放送番組をクリック

著作権保護のためのライセンスを取得するかどうか確認する画面が表示されます。

すでにライセンスを取得しているときは、そのまま選んだデジタル放送番組の再生が始まります。

3 「はい」をクリック

「使用許諾」画面が表示されます。

4 表示された内容を確認して「同意する」をクリック

ライセンスキーを入力する画面が表示されます。

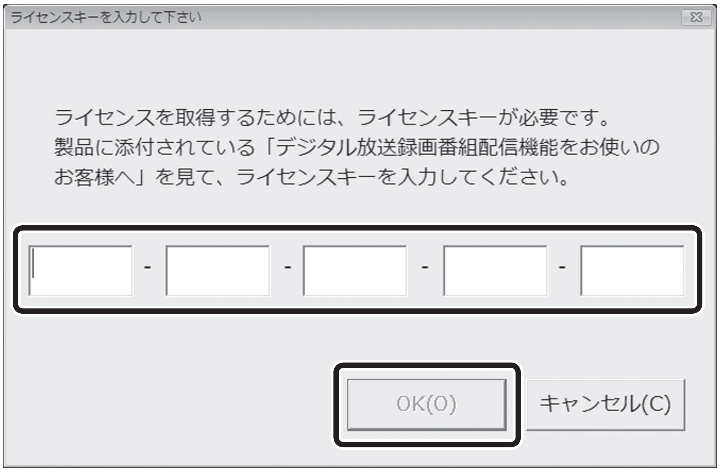
チェック

- 「再生をおこなう前に」(p.58)の操作で、すでにライセンスを取得しているときは、ここでの操作は不要です。
- ライセンスを取得するときは、インターネットに接続する必要があります。
- あらかじめ、視聴したいデジタル放送番組が録画された製品で、配信するための設定をおこなってください。設定方法については各製品のマニュアルをご覧ください。
- このパソコンで録画したデジタル放送番組を「ホームネットワーク」の「デジタル録画番組」で視聴するときも、このライセンスの取得が必要です。

ポイント

- ライセンスの取得の操作は、マウスを使っておこなってください。
- ライセンスの取得は、はじめて視聴するときに1度だけおこないます。ただし、パソコンを再セットアップしたときは、ライセンスを取得しなおす必要があります。

5 別紙の『デジタル放送番組配信機能をお使いのお客様へ』に記載されたライセンスキーを入力し、「OK」をクリック



インターネット経由でライセンスを取得するかどうか確認する画面が表示されます。

6 「はい」をクリック

ライセンスの取得が始まります。

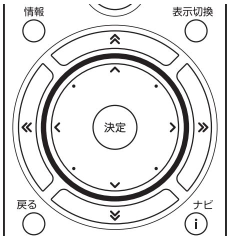
完了すると、ライセンスの取得完了を告げるメッセージが表示され、選んだデジタル放送番組の再生が始まります。

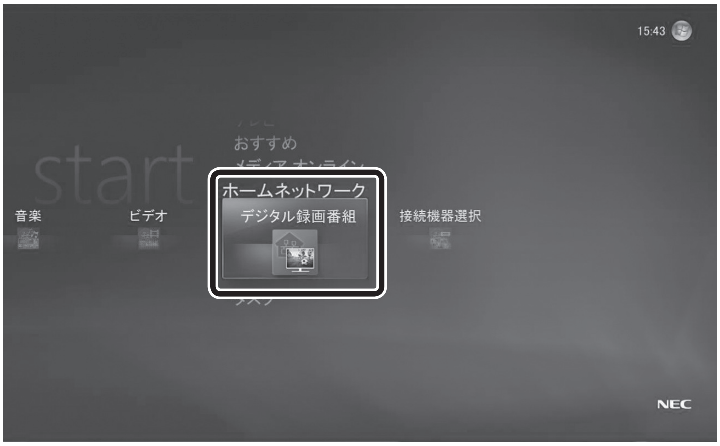
これで、録画されたデジタル放送番組を視聴するためのライセンスの取得は完了です。

■デジタル放送番組を視聴する

ここでは、ホームネットワークを使って、録画されたデジタル放送番組を視聴する操作について説明します。

1 「ホームネットワーク」の「デジタル録画番組」を選んで【決定】を押す





ホームネットワークに配信されている録画されたデジタル放送番組の一覧が表示されます。

フォルダが表示されたときは、フォルダを選んで【決定】を押し、デジタル放送番組の一覧を表示させてください。

2 視聴したい番組を選んで【決定】を押す

録画されたデジタル放送番組の再生が始まります。

Windows Media Centerの「ピクチャ・ビデオ」で、このパソコンに保存された動画を再生しているときと同様に、リモコンのボタンで停止・早送り・早戻し・一時停止・スキップなどの操作ができます。

チェック

- あらかじめ、視聴したいデジタル放送番組が録画された製品で、配信するための設定をおこなってください。設定方法については各製品のマニュアルをご覧ください。
- このパソコンで録画したデジタル放送番組を「ホームネットワーク」-「デジタル録画番組」で視聴するときは、録画したデジタル放送番組を配信するためのライセンスの取得と、視聴するためのライセンスの取得が必要です（ライセンスキーはいずれも同じものを入力します）。

ポイント

上段に表示された「日付」や「チャンネル」などを選んで、その項目に分類された番組を視聴することもできます。

チェック

デジタル録画番組を再生するときは、常に全画面モードで再生してください。

参照

このパソコンに保存された動画を再生するときの操作について→「動画を再生する」（p.97）

PART 4 ネットワークの活用

「LuiStation/PLAYER」を使う

「LuiStation/PLAYER」を使うと、ホームネットワーク上の他のパソコンから、録画番組を見たり、録画予約するなど、LuiStationの機能を使うことができます。

LuiStation/PLAYERをインストールする

■ LuiStation/PLAYER を使用できるパソコンについて

次のNEC製パソコンでLuiStation/PLAYERを使用できます。

●2007年1月以降発表のVALUESTAR/LaVieシリーズ

対応モデル
・VALUESTAR W
・VALUESTAR G タイプ W
・VALUESTAR R
・VALUESTAR G タイプ R
・LaVie L アドバンストタイプ
・LaVie C
・LaVie G タイプ L アドバンスト
・LaVie G タイプ C

必要条件
・CPU : Core2 Duo以上
・OS : Windows Vista® Home Premium
　　　Windows Vista® Ultimate
・視聴用ソフト「Digital Video Network Player※1」インストール済みで、最新のアップデートモジュールが適用されていること
　※1：Windows Media Centerの「ホームネットワーク」に「デジタル録画番組」という項目が表示されます。
・配信用ソフト「DiXiM Media Server for NEC(DTCP-IP対応版)※2がインストールされている場合最新のアップデートモジュールが適用されていること
　※2：インストールされている場合は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「DigiOn」-「DiXiM Media Server Tool」をクリックして表示される「DiXiM Media Server Tool」に「デジタル録画番組の配信」のタブが表示されます。

※：最新のアップデート情報については、http://121ware.com/support/をご覧ください。

あらかじめ「ホームネットサポーター」を使って、このパソコンのコンテンツを、LuiStation/PLAYERをインストールするパソコンに公開しておく必要があります。
公開のしかたについては「コンテンツを公開する」(P.107)をご覧ください。

参照

ホームネットワークについて→「ホームネットワークで映像や音楽を視聴する」(P.106)

チェック

LuiStation/PLAYERを使うと、このパソコンの録画番組を、ホームネットワークに接続された他の2台のパソコンで同時に再生できます。

ただし、このパソコンで録画番組を再生しているとき、LuiStation/PLAYERを使って録画番組を再生できる他のパソコンは1台となります。

■ LuiStation/PLAYER をインストールする

次の手順で、LuiStation/PLAYERを他のパソコンにインストールしてください。

1 インストール用ファイルをUSBメモリなどにコピーする

このパソコンの次のファイルを、USBメモリなどにコピーしてください。

C:¥APSETUP ¥LuiStation_PLAYER ¥Setup.exe

2 インストール用ファイルをUSBメモリなどから他のパソコンにコピーする

Setup.exeを、他のパソコンの任意のフォルダにコピーしてください。

3 他のパソコンで、Setup.exeをダブルクリック

インストールが始まります。画面の指示にしたがって、インストールを完了してください。

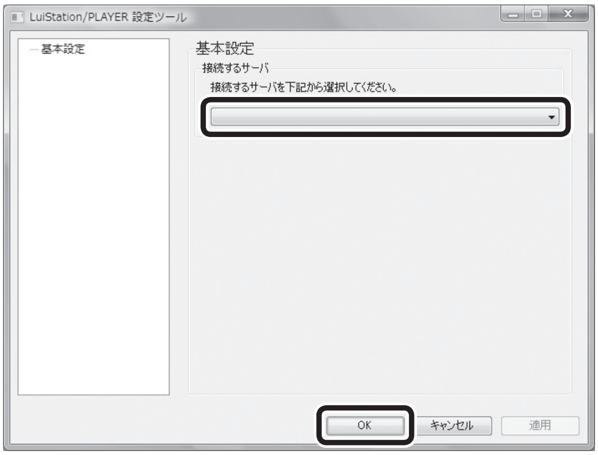
■ LuiStation/PLAYER の初期設定をする

LuiStation/PLAYERを使う前に、設定をおこないます。

1 「スタート」-「LuiStation」-「LuiStation/PLAYER 設定ツール」をクリック

LuiStation/PLAYER 設定ツールが起動します。

2 「接続するサーバ」をクリックしてサーバ(このパソコン)を選び、「OK」をクリック



これでLuiStation/PLAYERを使うための設定は完了です。

チェック

このパソコンのDiXiM Media Serverのライセンスの取得(アクティベーション)が完了していない場合は、PART2の「録画した番組を再生する」(p.58)の手順1 ～ 6をおこなってください。

LuiStation/PLAYERでできること

LuiStation/PLAYERをインストールしたパソコンからは、ホームネットワークを通じてこのパソコンのLuiStationの機能を使うことができます。
LuiStation/PLAYERの使い方は、一部を除いてLuiStationと同じです。
LuiStation/PLAYERは次の手順で起動します。

1 「スタート」-「LuiStation」-「LuiStation/PLAYER」をクリック

LuiStation/PLAYERが起動します。



LuiStationの使い方については、「PART2 テレビ映像の録画・再生」(p.19)をご覧ください。

ポイント

LuiStation/PLAYERでは、LuiStationの「書き出し」の操作ができません。

チェック

LuiStation/PLAYERで録画した番組を再生するとき、著作権保護のためのライセンスを取得するかどうかを確認する画面が表示されます。
その際に入力するライセンスキーは、LuiStation/PLAYERをインストールしたパソコンに添付されているライセンスキーを入力してください。
すでにライセンスを取得している場合は、そのまま選んだ録画番組が再生されます。

PART 5

Q&A

テレビの録画に関して困ったことがあったときは、ここをご覧ください。

PART 5 Q&A

録画予約ができないときには

録画予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画できない

■ 接続は正しいですか？

『準備と設定』第2章をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■「LuiStation 初期設定」は終わっていますか？

録画するには、あらかじめLuiStationの初期設定が必要です。設定についてはPART1の「LuiStationの初期設定」(p.6)をご覧ください。

参照

初期設定しても録画できないとき→PART1の「テレビ録画に関する設定を確認する」(p.10)

■ ほかのソフトが起動していませんか？

「WinDVD for NEC」など、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、LuiStationを起動してください。
また、録画番組を快適に視聴するために、LuiStationを起動する前に、動作中のソフトをすべて終了させてください。

■ ほかのユーザーでLuiStation などを起動したまま、ユーザーを切り換えていませんか？

LuiStationを起動中、Windowsのユーザー切り換えの機能で別のユーザーに切り換えると、そのユーザーではLuiStation、LuiStation/PLAYERを起動することはできません。

■ このパソコンをお使いの場所は地上デジタル放送のサービスエリア内ですか？ 地上デジタル放送

このパソコンをお使いの場所がサービスエリアに含まれているかどうか、アンテナレベルチェックで各チャンネルの受信状況を確認してください。
放送エリアについて詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ(http://www.dpa.or.jp/)をご確認ください。

チェック

放送エリア内でも、地形や建物、放送電波が弱い場合などの理由で視聴できない場合があります。

■ お使いのアンテナは UHF 帯に対応していますか？ 地上デジタル放送

地上デジタル放送は、UHF帯の電波を使っています。お使いのアンテナがUHF帯に対応しているか確認してください。
また、アンテナが地上デジタル放送を送信している電波塔に向いているかどうかも確認してください。
ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ BS･110度CSデジタル放送が受信できる環境ですか？

お使いのアンテナが、BS･110度CSデジタル放送に対応しているか確認してください。
ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

参照
テレビ放送の受信環境について→『準備と設定』第2章の「テレビ放送の受信環境を確認する」

■ B-CAS カードはセットされていますか？

このパソコンに添付のB-CASカードがなければ、テレビ番組を録画できません。また、正しい向きでセットされていないと映像が受信できません。
『準備と設定』第2章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

■ 地上デジタル放送の受信レベルを確認してください

「LuiStation設定ツール」の「受信レベル」で、アンテナの受信レベルを確認してください。受信レベルが0でなくても録画できないときは、次の点についてご確認ください。

参照
受信レベルチェックについて→PART1の「テレビ録画に関する設定を確認する」(p.10)

- 受信レベルが地上デジタル放送は59以下、BS･110度CSデジタル放送は64以下のとき、またはチャンネルスキャンをおこなったとき、受信可能チャンネルは表示されるが録画できない場合
  お近くの電器店などに、次の点を確認してください。
  ・地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
  ・受信環境(アンテナケーブルや分配器など)に問題はないか
- 受信レベルが地上デジタル放送は60以上、BS･110度CSデジタル放送は65以上でチャンネルスキャンも正常だが、録画できない場合
  B-CASカードが正しくセットされているか、確認してください。
  パソコンに添付されているB-CASカードがないと、テレビ番組を録画できません。
  『準備と設定』第2章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

番組が数分以上遅れて録画されている

■ デジタルチューナー内部の時計が合っていない可能性があります

地上デジタル放送およびBS･CSデジタル放送のアンテナが正しく接続されているかどうか確認してください。

■ おまかせ番組での自動録画ですか？

おまかせ番組の自動録画は、予約録画の優先度によって、番組の途中から録画されたり、録画が中断されることがあります。

録画予約した番組が録画されていない

■「録画結果一覧」で予約実行結果を確認してください。

「録画結果一覧」に予約実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると録画結果一覧に「失敗」と表示されます。録画結果を選ぶと、詳細が下段の情報エリアに表示されます。
たとえば、予約結果の詳細に「空いているチューナーがないため録画できませんでした。」と表示されたときは、次のような原因が考えられます。

●チャンネルスキャンや受信レベルの確認をおこなっていたため、録画に利用するためのチューナーがなく、録画できなかった

●3波チューナーで地上デジタル放送番組を録画していたため、BS/CS放送番組が録画できなかった

●番組表が更新され、予約した番組の放送がなくなった

参照
予約結果を確認する→PART2の「録画の結果を確認する」(p.43)

■ 番組編成が変わっていませんか？

次のようなときは録画されません。

●番組表が更新され、予約した番組の放送がなくなった。または、予約時の番組情報と一致しなくなった、予約済みの他の番組と予約時間が重なった。

●前の番組の延長や臨時番組の放送などで、予約した番組の開始時刻が遅れた。
なお、録画を予約するとき、「追跡録画」を「する」に設定すれば、番組の放送時刻の変更(3時間まで)に自動的に対応して録画できます。

■ 繰り返し予約が重複していませんか？

録画できるチャンネル数以上の繰り返し予約が入ったとき、録画される番組は無作為に選ばれます。このとき選ばれなかった番組は録画されません。

録画フォルダに録画した番組が見あたらない

■ 録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、「録画結果一覧」から確認することができます。

参照
予約結果を確認する→PART2の「録画の結果を確認する」(p.43)

■ 番組を自動的に削除する設定にしていませんか？

録画した番組を自動的に削除する設定にしていると、設定条件にしたがって録画番組は削除されます。自動削除の対象から外したいときは、番組を選んで【ナビ】を押し、「自動削除解除」を選んで【決定】を押してください。

■ 録画した番組をほかのユーザーが移動または削除していませんか？

このパソコンを複数ユーザーで使っている場合、「録画番組」の「録画フォルダ」にはすべてのユーザーの録画した番組が表示されるので、録画したユーザー以外の人でも、番組を別のフォルダに移動したり、削除できます。ほかのユーザーが番組を移動したり削除していないか、確認してください。

おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない

■ 条件の一致する番組が、同時刻に複数ありませんか？

おまかせ録画で、条件が一致する番組が複数存在する場合は、録画の優先度にしたがって、2番組まで録画できます。録画したい番組の優先度を高く設定するか、録画したい番組以外の番組が除外されるよう条件を絞り込んでください。

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？

すでに録画予約した番組と予約した時間帯が重なっている場合は、条件設定およびまるごと録画設定した予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組予約を取り消してください。

■ 番組に含まれる「キーワード」を「除外キーワード」に登録していませんか？

除外キーワードを含む番組は録画されません。
条件設定で「除外キーワード」を削除してください。

■ 番組を予約するのはいつですか？

おまかせ録画の条件に一致する番組が実際に予約リストに登録されるのは、条件設定から2 ～ 3分後です。また、毎日早朝におまかせ録画の予約リストが更新されます。
なお、おまかせ録画で抽出された番組は常に予約リストに登録されますが、手動録画予約などの優先度の高い録画予約によって削除されることがあります。
また、空きチューナーが存在しても、優先度の高い番組表取得やダウンロードなどをおこなうときに、複数のチューナーを使用することがあります。この場合も、おまかせ録画で抽出された番組は、優先度の高い処理によって削除されます。

参照

おまかせ録画の条件登録について→PART2の「おまかせ番組表から録画予約する（おまかせ番組）」（p.44）

チェック

このパソコンは、「地上デジタル/BS･110度CSデジタル放送共用」および「地上デジタル放送専用」のデジタルチューナーをひとつずつ搭載しており、同時に次の2チャンネルを録画できます。

・地上デジタル、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送いずれか1チャンネル

・地上デジタル放送を1チャンネル

ただし、それまでの録画予約の状況によって、上記の組み合わせで録画できないことがあります。

（例：「地上デジタル/BS･110度CSデジタル放送共用」のデジタルチューナーが手動で録画予約した地上デジタル放送の受信に継続的に使用されているとき、録画予約されたBSデジタル放送の番組が始まっても、録画を開始することができない）

参照

●予約録画の優先度について→PART2の「■予約録画の優先度について」（p.26）

●予約を変更する→PART2の「録画予約の一覧を表示させる（予約の確認･変更･取り消し）」（p.38）

PART 5
Q&A

録画番組を見ているとき

再生しても録画番組が映らない、音が出ないなど、録画番組を見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

音が出ない、音が大きすぎる

■ 音量を調節してください

リモコンの【音量】で音量調節をおこなってください。
また、ミュート(消音)になっていないか確認してください。

参 照

このパソコンのスピーカの音量を調節する→『準備と設定』第4章の「音量を調節する」

映像が乱れる(コマ落ちする)

■ CPU 使用率が高くなっていませんか?

このパソコンのCPU使用率が高くなると映像がコマ落ちします。
ほかのソフトを終了してから、LuiStationを起動してください。
次の手順でCPU使用率を確認できます。

1 **タスクバーの何もない部分を右クリックし、「タスク マネージャ」をクリック**

「Windows タスク マネージャ」が起動します。

2 **「パフォーマンス」タブをクリック**

3 **CPU使用率を確認する**

CPU使用率が約80%以上のときは、画面が乱れることがあります。ほかのソフトを終了して、CPU使用率を約80%以下にしてください。

チェック

約80%以下の場合でも、同時に動作しているソフトがメモリやリソースを多く使用していたり、ゲームのようなグラフィック表示を多用するソフトを動作させていると映像が乱れる(コマ落ちする)ことがあります。

■ ウイルスバスターの自動アップデート確認をしていますか?

ウイルスバスターの自動アップデート確認で、コマ落ちしたり音飛びすることがあります。次の手順をおこなってください。

1 **通知領域にある(ウイルスバスターのアイコン)を右クリック**

2 **「メイン画面を起動」をクリック**

3 **「アップデート/その他」をクリック**

4 **「アップデート」欄の「設定」をクリック**

5 **「アップデート設定」で「インテリジェントアップデート(自動アップデート)を有効にする」の☑をクリックして☐にする**

参 照

「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを更新する」-「インテリジェントアップデート(自動アップデート)を無効にする」

チェック

アップデートの確認は、番組を視聴していないときにおこなってください。

6 「OK」をクリック

「インテリジェントアップデート」を無効にすると、ウイルス定義ファイルや製品の更新(アップデート)が自動的におこなわれなくなります。LuiStationを終了した後は、「インテリジェントアップデート」をするように設定を変更するか、最低1週間に1回は手動で更新をおこなってください。

■ Windows がメッセージを表示している

Windowsがエラーメッセージなどを表示していると映像がコマ落ちすることがあります。全画面表示で録画番組を見ている場合は、一旦、ウィンドウ表示にするか最小化して (LuiStationを使用中の場合は終了して)、メッセージが表示されていないか確認してください。表示されていた場合は、メッセージの内容にしたがって対処してください。

「データを更新中です。一度ホームに戻り、3 〜 5分たってから再生してください。」と表示された。
「データを更新中のため、録画番組を再生できませんでした。一度ホームに戻り、3 〜 5分たってから再生して下さい。」と表示された。
「映像を正しく表示することができませんでした。」と表示された

■ LuiStation/PLAYER を使っていますか?

このパソコンのコンテンツをLuiStation/PLAYERをインストールしたパソコンに公開しておく必要があります。公開の方法については、PART4の「コンテンツを公開する」(p.107)をご覧ください。

■ホームに戻り、3 〜 5 分経ってから再生してください。

それでも再生できないときは、Windowsを再起動してから再生してください。

■ DiXiM Media Server for NECのライセンスを取得(アクティベーション)してください

それでも再生できないときは、Windowsを再起動してから再生してください。
ライセンスを取得(アクティベーション)する方法について詳しくは、PART4の「放送番組を配信するための設定」(p.114)をご覧ください。

番組を選んでも再生できない

■番組の録画中ではありませんか?

録画中の番組は再生できません。
録画が終了してから再生してください。

番組名が表示されない録画番組がある

録画用ハードディスクの異常などによって録画データが破損していたため、録画番組の管理情報が再構築されています。この様な番組は再生やBD/DVDへのムーブができないことがあります。

映像が微動する(揺れる)

映像によっては、画面(特に文字表示部分)が微動して見える場合がありますが、故障ではありません。

地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない 地上デジタル放送

■ チャンネルの再スキャンをおこなってください

新たに放送開始した放送局は、視聴可能チャンネルに自動的には追加されません。
チャンネルの再スキャンをおこなってください。

参照

チャンネルの再スキャンについて→付録の「チャンネル設定」(p.143)

携帯電話などでワンセグ放送が受信できるのに、地上デジタル放送の受信レベルが低い 地上デジタル放送

■ワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能です

ワンセグ放送は、地上デジタル放送より少ないデータ量で高感度受信を実現しているため、一般には、地上デジタル放送よりワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能となります。
アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうことで、受信状態が改善されることがあります。

参照

アンテナケーブルの接続方法について→『準備と設定』第2章の「アンテナケーブルを接続する」

PART 5
Q&A

番組表の受信がうまくいかない

番組表受信時に問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが起きる

■ アンテナは接続されていますか？

『準備と設定』第2章をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか?

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなることがあります。

■ まるごと録画を 2 件登録していませんか？

このパソコンは2つのデジタルチューナーを搭載しています。まるごと録画を2件登録すると、デジタルチューナーがまるごと録画に占有されてしまうため、設定したチャンネルによっては、そのチャンネル以外の番組表が受信できなくなります。
まるごと録画に設定したチャンネルと受信できる番組表の組み合わせは以下のとおりです。

地上デジタル放送:
設定したチャンネルの番組表だけ受信できます。
BSデジタル放送:
BSデジタル放送のすべての番組表が受信できます。
110度CSデジタル放送:
110度CSデジタル放送のすべての番組表が受信できます。

■ 長時間録画していませんか？

長時間の予約録画をすると、番組表の受信ができないことがあります。例えば、BSデジタル放送を24時間予約録画すると、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の番組表はその翌日以降に受信されるよう設定されます。このような場合は、録画を中断しても、番組表の受信は翌日以降のままとなります。

■ 次の手順で再起動してください

1 Windowsを終了したあと主電源(Main Power)スイッチを約4秒、主電源(Main Power)ランプがオレンジ色になるまで押す

2 ～ 3分待つと、主電源(Main Power)ランプが消え、主電源が切れます。

ポイント

地上波デジタル放送のハイビジョン放送など、あるチャンネルのすべてのサブチャンネルで同じ番組を放送している場合は、その番組の情報が配信されていないため、番組表の番組名などが空欄になることがあります。

チェック

番組表は、1日に1回、受信されます。

2 主電源(Main Power)スイッチを押して主電源を入れる

主電源(Main Power)ランプがオレンジ色から青色に変わるまで(2～3分)お待ちください。

3 PC電源(PC Power)スイッチを押す

PC電源(PC Power)ランプが青色に点灯します。

この後チャンネルスキャンがおこなわれます。ただし、番組の録画予約がある場合は録画が優先されてチャンネルスキャンはおこなわれません。番組の録画予約を削除するか、録画が終了してから再起動してください。

地上デジタル放送の番組表を取得したのに、放送局のロゴが表示されない 地上デジタル放送

■ 録画をおこなわない状態で主電源(Main Power)スイッチを入れてください。

地上デジタル放送の放送局ロゴは、10分程度の周期で送信されています。番組表を受信している間にロゴが受信できると、番組表に放送局ロゴが表示されます。
放送局ロゴが表示されていない場合は、自動的にロゴを受信し、番組表に反映されます。

チェック

番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次に番組表を表示したときに反映されます。

PART 5 Q&A

その他

リモコンの電源ボタンを押しても、Windowsが終了するのに時間がかかる

■ リモコンからのWindowsの終了には約30秒程度かかります

同時に大量のソフトを実行するなど、パソコンに負荷のかかる動作をおこなっている場合は、終了に通常の倍以上かかることもあります。

チェック

電源ボタンを押してから、1分以上経過してもWindowsが終了しない場合は、不要なソフトが同時に複数実行していないかを確認してください。

リモコンが正しく動作しない

■「サポートナビゲーター」で確認してください。

「サポートナビゲーター」-「解決する」-「Q&A一覧」-「ハードウェア・システム設定」にリモコンについてのQ&Aを記載しています。「サポートナビゲーター」をご覧になり、該当する項目がないか確認してください。

LuiStationの録画番組データをほかのパソコンに移したい

■ LuiStationの録画番組データをそのままほかのパソコンに移すことはできません。

録画番組データをほかのパソコンで見るときは、LuiStationの「書き出し」機能を使って、データをBD-REやDVD-RAMに保存してほかのパソコンで再生してください。

参照

録画番組データを書き出す→PART2の「番組をディスクに保存する」(p.83)

LuiStationを終了しようとしたが終了しない

■ ファイアウォールソフトで、LuiStationの通信を遮断していませんか？

ファイアウォールソフトの設定を変更して、関連アプリケーションの通信監視を除外するか、無効化してください。

「お知らせ」に届いたメールについて、対処方法を知りたい

LuiStationのシステムや放送局からメールが届いたときは、付録の「「お知らせ」に表示される内容について」(p.149)をご覧になり対処してください。

画面に表示されたエラーメッセージについて、対処方法を知りたい

■「システムエラーが発生したため、予約できませんでした」と表示された

B-CASカードが正しく挿入されているかどうか確認してください。正しく挿入されているにもかかわらず、このメッセージが頻繁に表示されるときは、121コンタクトセンターにお問い合わせください。

■「このB-CASカードは使用できません。正しいB-CASカードを挿入してください。エラーコード:EC01」が表示された

B-CASカードに問題があるか、B-CASカードが正しく挿入されていません。B-CASカードを正しい方向で挿入してください。

■ その他、LuiStation に関するエラーメッセージが表示された

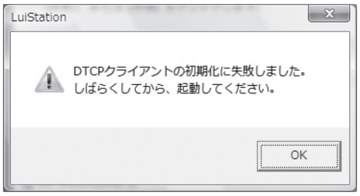
LuiStationのエラーメッセージについては、付録の「「お知らせ」に表示される内容について」(p.149)をご覧になり対処してください。なお、エラーメッセージの文章は「お知らせ」-「メール」に表示される文章と一部異なることがあります。

有料チャンネルの契約をおこなったとき、あるチャンネルに選局するように説明された

LuiStation設定ツールの「状態表示」-「受信レベル」で、説明されたチャンネルに選局し、受信レベルの取得をおこなってください。
この状態が、説明されたチャンネルに選局した状態になります。
録画中は、受信レベルの取得をおこなうことはできません。受信レベルを取得する時間は、録画予約をおこなわないでください。
受信レベルの取得方法について詳しくは、付録の「その他の設定」の「受信レベル」(p.144)をご覧ください。

LuiStationやLuiStation/PLAYERが起動できない

Digital Video Network Playerがインストールされていないときは、次のメッセージが表示され、LuiStationやLuiStation/PLAYERが起動できません。



Digital Video Network Playerがアンインストールされているときは、インストールしなおしてください。

LuiStationを工場出荷状態に戻す処理が正常に終了しない

121コンタクトセンターにお問い合わせください。

参照

121コンタクトセンターについて
→『パソコンのトラブルを解決する本』の付録「121コンタクトセンターに電話する」

LuiStationを工場出荷状態に戻す処理中に停電が発生した

主電源(Main Power)スイッチを押してください。しばらくすると、Windowsが自動的に起動し、LuiStationの初期化を自動的に再開します。主電源(Main Power)ランプが青色に点灯しても、Windowsが自動的に起動しない場合は、PC電源(PC Power)スイッチを押し、Windowsを手動で起動してください。

LuiStationを工場出荷状態に戻す処理中に、誤ってパソコンをシャットダウンしてしまった

パソコンを再起動してください。しばらくすると、LuiStationの初期化を自動的に再開します。

付　録

パソコンを廃棄・譲渡するときに、LuiStationに保存されている個人情報を消去する方法や、アンテナの設定方法を説明しています。
また、その他の設定について記載しています。

付録

B-CASカードについて

デジタル放送の視聴に必要なB-CASカードについて説明します。
B-CASカードは、登録が必要です。

B-CASカードを扱うときの注意

B-CASカードは、デジタル放送の各種サービスを利用するために必要なカードです。B-CASカードをセットしないと、録画できません。
B-CASカードを扱うときは、次のことに注意してください。

- このパソコン専用のB-CASカード以外のものをセットしないでください。
- B-CASカードは、記載されている「使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で台紙からはがしてください。
- B-CASカードの取り扱いについて、次のことにご注意ください。
  - ・裏面の金メッキされた端子に手を触れないでください。
  - ・折り曲げたり、変形させたり、傷を付けないでください。
  - ・上に重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。
  - ・ぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
  - ・分解・加工しないでください。
- 裏向きや逆方向からB-CASカードをセットしないでください。セットする方向を間違えると、B-CASカードが機能せず、録画できません。
- B-CASカードは、常時セットしたままにしておいてください。取り出す場合は、先にこのパソコンの電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いた後に、B-CASカードを取り出してください。
- B-CAS用「ユーザー登録ハガキ」は、B-CASカードをセットした後、必要事項をご記入の上投函してください。

ポイント

限定受信システム(CAS:Conditional Access System)とは、特定のお客様にかぎって、番組の視聴ができるようにするシステムです。

B-CASカードを登録する

デジタル放送のサービスを受けられるようにするには、B-CASカードのユーザー登録が必要です。B-CASカードに添付されている「ユーザー登録ハガキ」に必要事項を記入して、返送してください。その際、「ご登録に際して」欄の「はい」に○を付けることをおすすめします。
詳しくは、B-CASカードに添付されている説明書をご覧ください。

チェック

- B-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(略称:B-CAS)に帰属します。カードの登録をすると、カードシステムのバージョンアップを無料で受けることができます。
- カードを紛失するなどして再発行する場合は、再発行費用がかかります。

付録

アンテナの設定をする

録画に問題があるときは、アンテナの設定をしてください。

録画に問題があるときは、アンテナの設定をすると改善される場合があります。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「LuiStation」-「LuiStation設定ツール」をクリック

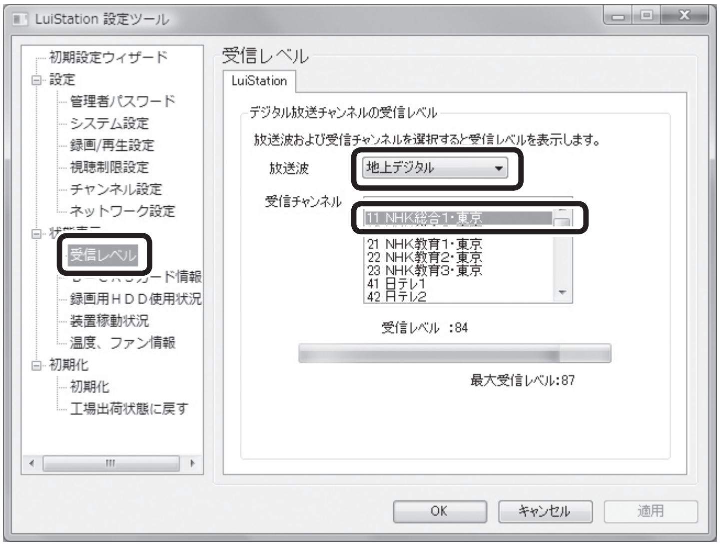
「LuiStation設定ツール」が起動します。

2 「受信レベル」をクリック

「受信レベル」が表示されます。

3 「放送波」を選び、「受信チャンネル」をクリック

そのチャンネルの電波の受信レベルが表示されます。



4 アンテナの向きを調節する

受信レベルが最大になるよう、アンテナの位置を調整してください。

5 「OK」をクリック

これで、アンテナの設定は終了です。

チェック

- 受信レベルは目安として地上デジタル放送では60以上、BS・110度CSデジタル放送では65以上になるように調節してください。アンテナの受信レベルは、天候・季節・受信している地域(アンテナの設置場所)などによって異なります。
- 受信レベルがすべて0の場合は、お近くの電気店などに次の点を確認してください。
  - ・衛星放送アンテナが正しい方向に設置されているか
  - ・110度CS放送に対応した衛星放送アンテナを使っているか
  - ・このパソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か
  - ・地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか

また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかどうかを確認してください。

付録

個人情報を消去する

パソコンを廃棄したり、ほかの人に譲渡するときは、LuiStationに保存されている個人情報を消去する必要があります。

次の内容が消去されます。
- ・郵便番号、地域情報
- ・視聴年齢制限
- ・システムメール、放送メール
- ・おすすめ番組検索用の視聴履歴情報

チェック

- ●この方法で消去できるのは、LuiStationが保持している個人情報です。
- ●「地上デジタル放送チャンネルスキャン」の「地域設定」は消去されません。

データを消去する

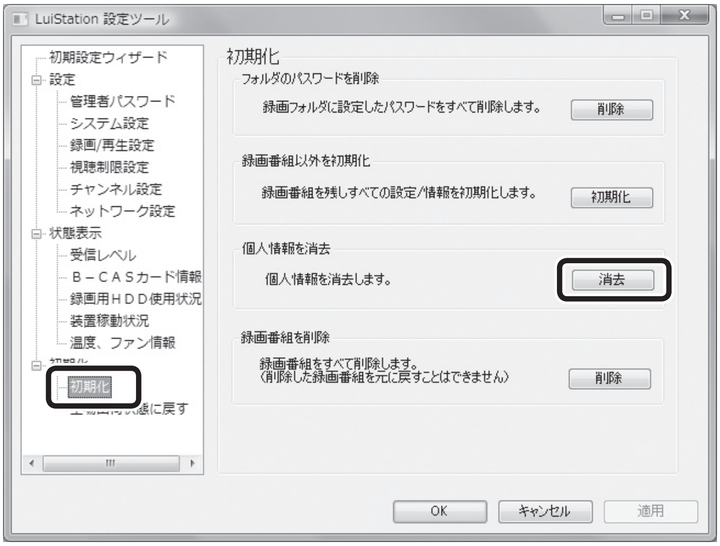
1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「LuiStation」-「LuiStation設定ツール」をクリック

「LuiStation設定ツール」が起動します。

2 「初期化」をクリック

「初期化」が表示されます。

3 「個人情報を消去」の「消去」をクリック



確認の画面が表示されます

4 「OK」をクリック

個人情報が消去されます。

チェック

管理者パスワードを入力する画面が表示されたときは、表示された内容にしたがって操作してください。

付録

その他の設定

LuiStation設定ツールを使って、LuiStationの設定を確認したり、変更することができます。

LuiStation設定ツールを起動する

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「LuiStation」-「LuiStation設定ツール」をクリック

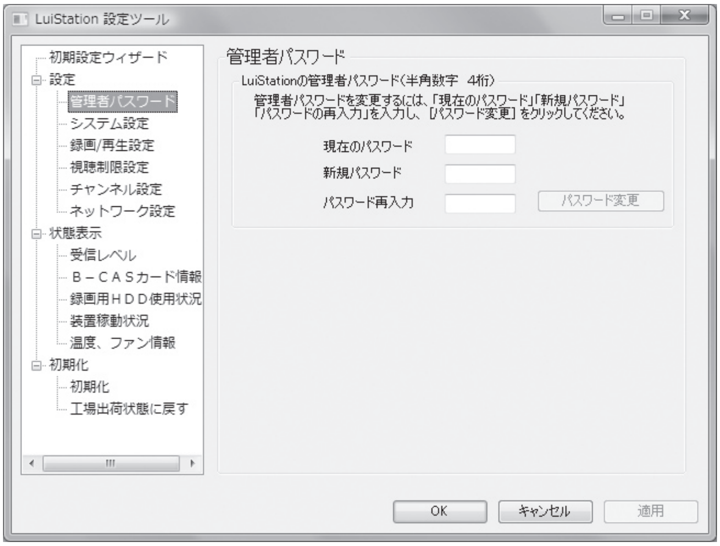
「LuiStation設定ツール」が起動します。

左側の一覧で設定したい項目をクリックし、表示された画面でそれぞれ設定を確認/変更してください。

管理者パスワード

LuiStationの管理者のパスワード(半角数字4桁)を設定します。

1 「LuiStation設定ツール」の「管理者パスワード」をクリック



パスワードは、視聴制限などLuiStation設定ツールの重要な設定内容を変更するときに必要となります。

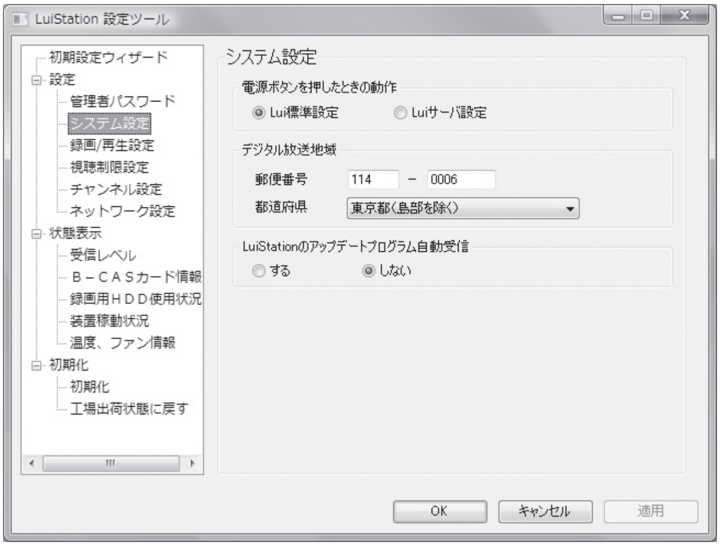
パスワードを変更するときは、現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを「新規パスワード」と「パスワード再入力」に入力して、「パスワード変更」をクリックしてください。

ポイント

工場出荷時のパスワードは「0000」です。

システム設定

1 「LuiStation設定ツール」の「システム設定」をクリック



●電源を押したときの動作

使用中にパソコンの電源ボタンを押したとき、サーバモードに移行するかスリープ状態に移行するかを選びます。

・Lui標準設定：
使用中に電源ボタンを押すと、スリープ状態に移行し、PC電源(PC Power)ランプはオレンジ色になります。

・Luiサーバ設定：
使用中に電源ボタンを押すと、サーバモードに移行し、PC電源(PC Power)ランプは青色になります。

●デジタル放送地域

お住まいの地域の郵便番号と都道府県を設定します。

●LuiStationのアップデートプログラムの自動受信

LuiStationのプログラムが修正(アップデート)されたとき、そのプログラムを自動的に受信するかどうか選びます。

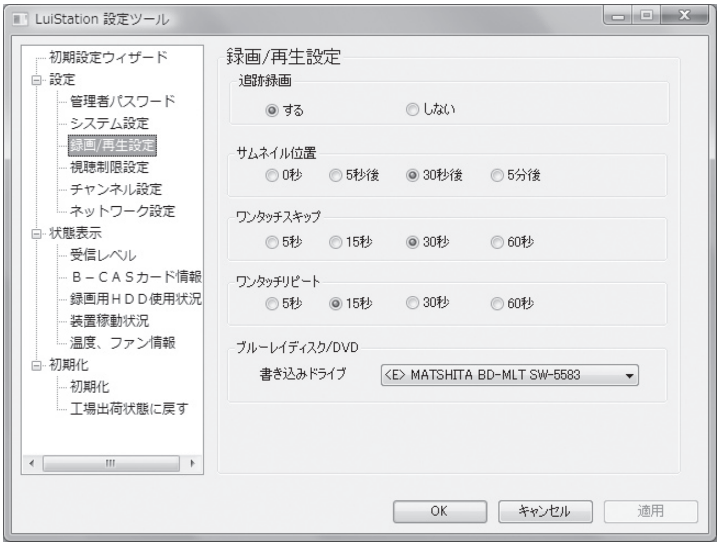
チェック

●サーバモードのときは、ホームネットワークで映像を配信しているときやLuiStationを利用しているときにパソコンの電源を切っても、映像の配信を停止せず、サーバとして動作し続けます。ただし、画面表示や音声出力はおこないません。

●「電源を押したときの動作」を変更すると、それにあわせて「コントロールパネル」-「電源オプション」の設定値が、工場出荷時の状態に戻ります。

録画/再生設定

1 「LuiStation設定ツール」の「録画/再生設定」をクリック



●追跡録画

録画予約した番組の放映開始時刻や終了時刻が変更されたとき、それに追従するかどうかを選びます。
この設定はおまかせ録画に反映されます。また、番組表を使って予約するときの「追跡録画」の初期値として表示されます。番組表を使って予約するときは、予約ごとに「追跡録画」の設定を変更することができます。
なお、まるごと録画では、ここでの設定にかかわらず常に「追跡録画」を「する」設定になります。

●サムネイル位置

サムネイルを番組のどの部分から採取するか、番組開始からの経過時間で指定します。

●ワンタッチスキップ

リモコンの【・→】を押したとき、何秒後の映像を表示するかを選びます。

●ワンタッチリピート

リモコンの【←・】を押したとき、何秒前の映像を表示するかを選びます。

●ブルーレイディスク/DVD

録画した番組をブルーレイディスクやDVDに書き出すとき、使用するドライブを選びます。

ポイント

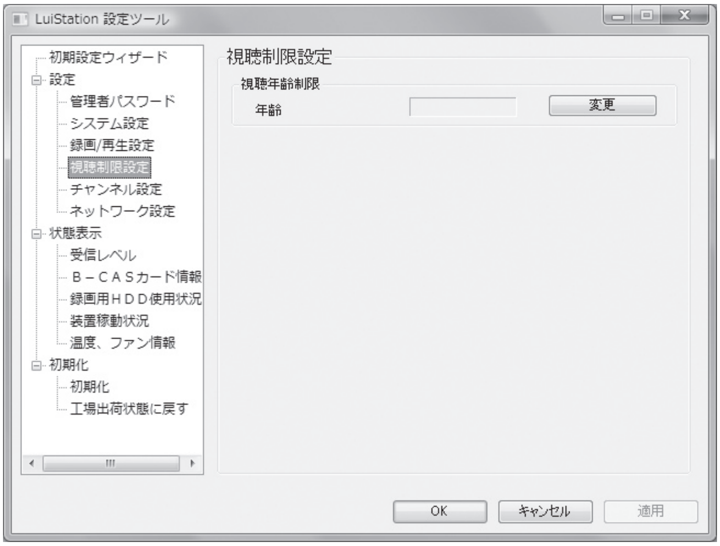
録画予約した際の「繰り返し録画」の条件に合う番組が、番組表から見つからなかったときは、「チャンネル」と「録画日時」の開始時刻/終了時刻を適用した「時刻指定録画」として録画予約されます。このとき、「追跡録画」は、最初の設定にかかわらず「しない」になります。

その後、番組表の更新によって「繰り返し録画」の条件に合う番組が見つかったときは、「時刻指定録画」は取り消され、あらためてその番組の録画が予約されます。このとき「追跡録画」は「繰り返し録画」を登録したときの設定に戻ります。

視聴制限設定

年齢による視聴制限を設定します。

1 「LuiStation設定ツール」の「視聴制限設定」をクリック



「変更」をクリックして、年齢による番組の視聴制限を設定できます。

視聴年齢制限を設定しないと、視聴制限のある番組は録画できません。

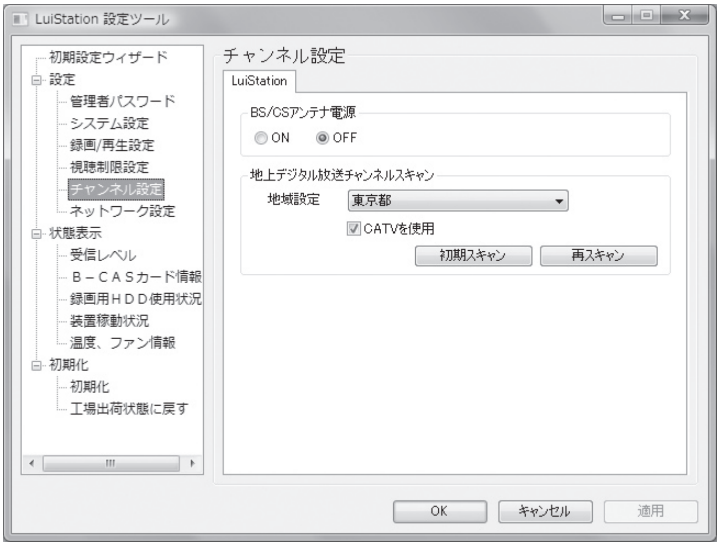
工場出荷時は視聴制限が設定されていない状態です。必要に応じて、あらかじめ設定しておいてください。

チェック

「管理者パスワード」の設定が必要です。管理者パスワードは、初期値(0000)のままにせず、変更しておくことをおすすめします(p.139)。

チャンネル設定

1 「LuiStation設定ツール」の「チャンネル設定」をクリック



●BS/CSアンテナ電源

このパソコンに接続されたBS/CSアンテナに電力を供給するかどうか選びます。

・ON
このパソコンとBSアンテナを直接接続している場合に設定します。

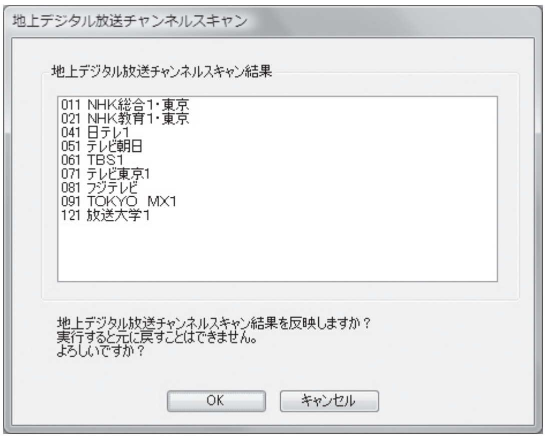
・OFF
マンションなどの共聴アンテナを使用している場合や、ブースターなどの別の機器から電源が供給されている場合に設定します。

●地上デジタル放送チャンネルスキャン

お住まいの地域を設定します。

また、チャンネルの「初期スキャン」または「再スキャン」をすることができます（お住まいの地域を変更したときは「初期スキャン」を、それ以外は「再スキャン」をしてください）。

「初期スキャン」または「再スキャン」をクリックすると、スキャンされたチャンネルの一覧が表示されます。



「OK」をクリックすると、スキャンした結果が反映されます。

チェック

●スキャン中に「キャンセル」をクリックして「LuiStation設定ツール」に戻ったときは、数秒間待ってから次の操作をしてください。

●「初期スキャン」または「再スキャン」をクリックしたとき、「チャンネルスキャンできませんでした」というエラーメッセージが表示されたら、一度、Windowsを終了してパソコンの主電源を切ってください。その後、主電源を入れなおしWindowsを起動しなおしてから、LuiStationの初期設定をやりなおしてください。

●「地域設定」は、地上デジタル放送のチャンネルスキャンが正常に完了したとき、反映されます。

●アンテナの受信レベルが低いとチャンネルスキャンに失敗することがあります。その場合は、他の地上デジタルチューナーなどで受信レベルを確認してください。

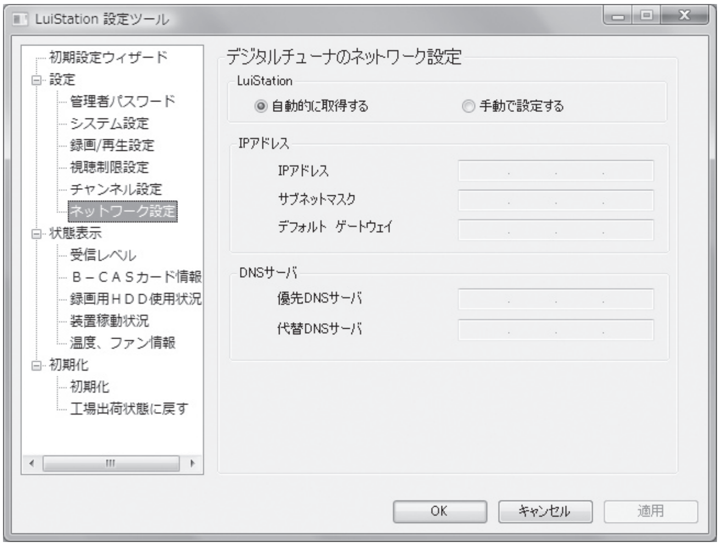
参照

Windowsの終了と主電源の切り方について→『準備と設定』第4章の「終了する」

ネットワーク設定

このパソコンに搭載されたデジタルチューナーのネットワーク設定をおこないます。

1 「LuiStation設定ツール」の「ネットワーク設定」をクリック



●LuiStation

ネットワーク設定を、自動でおこなうかどうか選びます。

●IPアドレス･DNSサーバ

ネットワーク設定を「手動」でおこなうとき、IPアドレスやDNSサーバのアドレスを入力します。

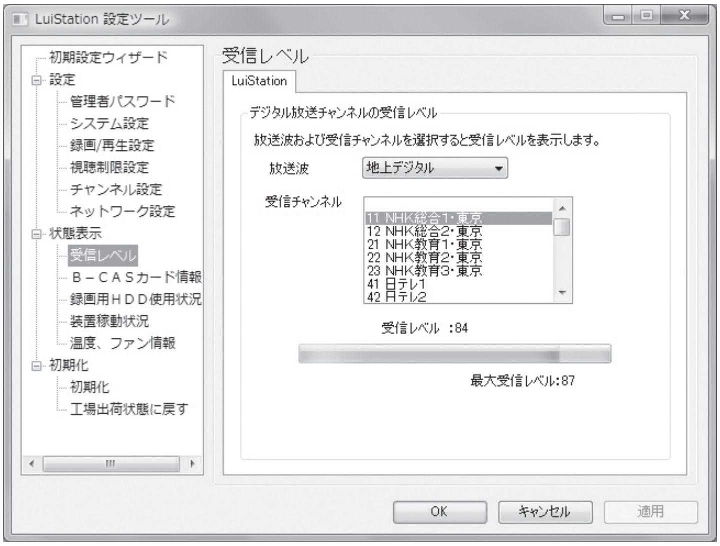
チェック

ネットワーク設定を変更すると、デジタルチューナー部が再起動します。再起動中は 主電源(Main Power)ランプがオレンジ色に点灯し、起動が完了すると青色になります。

LuiStationやLuiStation設定ツールは、主電源(Main Power)ランプが青色に点灯してから起動してください。

受信レベル

1 「LuiStation設定ツール」の「受信レベル」をクリック



スキャンできたチャンネルの一覧が表示されます。

「放送波」と「受信チャンネル」を選ぶと、そのチャンネルの受信レベルが表示されます。

チェック

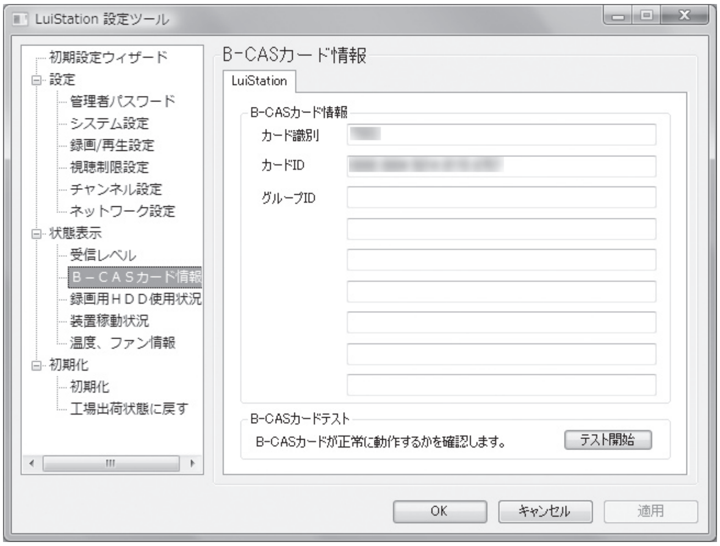
●録画中に受信レベルの確認をすることはできません。

●受信レベルが地上デジタル放送は60以上、BS･110度CSデジタル放送は65以上になるよう、アンテナの位置を調整してください。

●おまかせ録画中に受信レベルの確認をおこなうと、自動的におまかせ録画が停止します。

B-CASカード情報

1 「LuiStation設定ツール」の「B-CASカード情報」をクリック

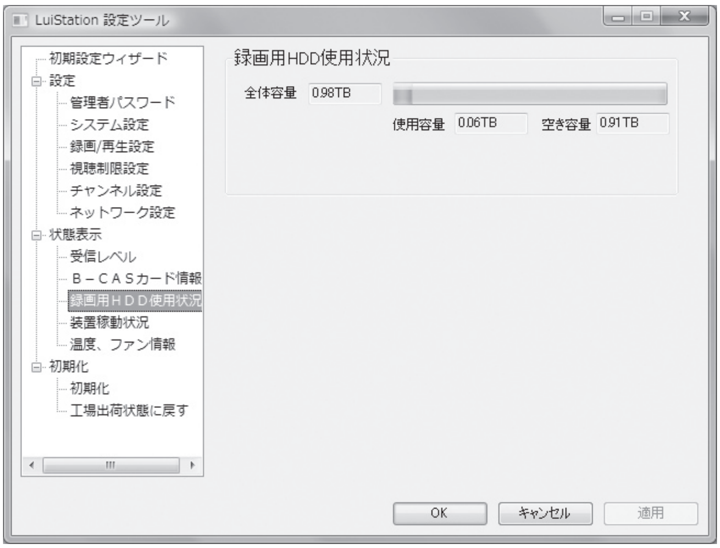


● B-CASカード情報
このパソコンにセットされたB-CASカードの情報が表示されます。

● B-CASカードテスト
「テスト開始」をクリックして、B-CASカードが正常に動作しているかどうかテストできます。

録画用HDD使用状況

1 「LuiStation設定ツール」の「録画用HDD使用状況」をクリック



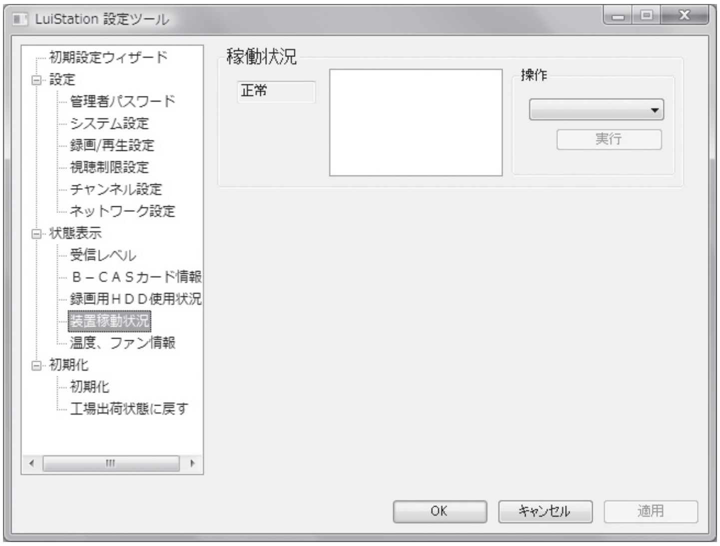
このパソコンの録画用ハードディスクの全体容量と、使用容量、空き容量が表示されます。

ポイント

録画用ハードディスクの容量は、端数を省略して表示されています。
このため、表示されている使用容量と空き容量の合計が、全体容量の表示と一致しないことがあります。

装置稼動状況

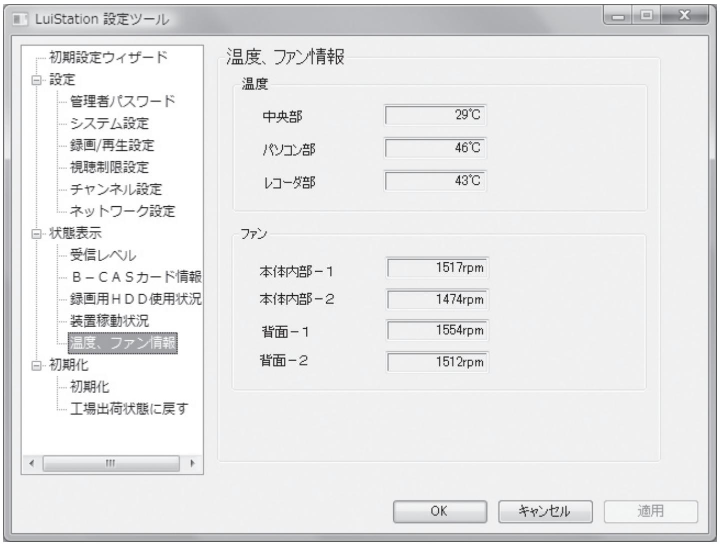
1 「LuiStation設定ツール」の「装置稼動状況」をクリック



デジタルチューナーの稼動状況が表示されます。必要に応じて、「操作」からデジタルチューナーを再起動することもできます。

温度、ファン情報

1 「LuiStation設定ツール」の「温度、ファン情報」をクリック

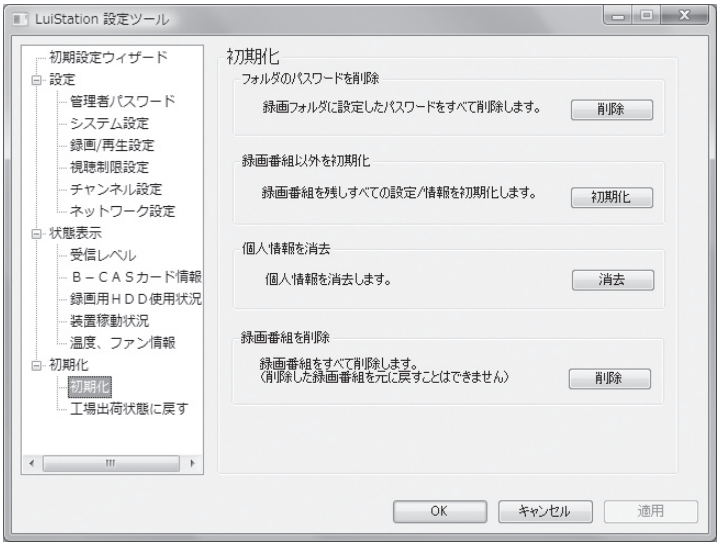


このパソコンの各部の温度と冷却ファンの回転数が表示されます。

初期化

LuiStationに関する情報を初期化することができます。

1 「LuiStation設定ツール」の「初期化」をクリック



- ●フォルダのパスワードを削除※
  録画フォルダのパスワードを初期化(削除)します。
- ●録画番組以外を初期化
  登録した情報をすべて削除し、すべての設定を初期状態に戻します。録画した番組はそのまま保存されます。
- ●個人情報を消去※
  登録した個人情報を初期化(削除)します。
  なお、「地上デジタル放送チャンネルスキャン」の「地域設定」は消去されません。
- ●録画番組を削除※
  録画した番組をすべて削除します。

※この操作をおこなうには、「管理者パスワード」(p.139)が必要です。

チェック

- ●録画中にこの操作をおこなうと、番組の録画は停止します。
- ●初期化をおこなうと、番組表のデータも初期化されます。番組表のデータを再取得するには、PART5の「番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが起きる」(p.129)の「■次の手順で再起動してください」をご覧になり、本機を再起動してください。

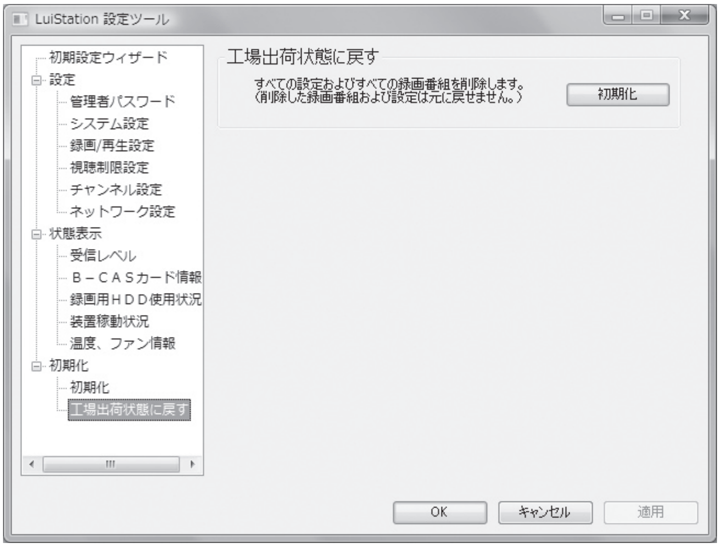
チェック

番組の録画中にこの操作をおこなうことはできません。

工場出荷状態に戻す

LuiStationに関するすべての情報を削除し、工場出荷状態に戻します。

1 「LuiStation設定ツール」の「工場出荷状態に戻す」をクリック



「初期化」をクリックし、表示された画面で「OK」をクリックすると、登録したすべての情報を削除し、すべての設定を初期状態に戻し、録画した番組をすべて削除して、LuiStationを工場出荷状態に戻します。

初期化中、Windowsの再起動を数回おこないます。Windowsのログオンパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してログオンしてください。

LuiStationが初期化されると「工場出荷状態に戻りました」とメッセージが表示されます。

チェック

- 録画中にこの操作をおこなうと、番組の録画は停止します。
- LuiStationの初期化には約30分程度かかります。
- LuiStationの初期化中に、本体の電源を切ったり、PC電源(PC Power)スイッチを押したり、Windowsのシャットダウン、ログオフなどはおこなわないでください。故障の原因となります。
- 万一、停電などの理由で電源が切れた場合は、主電源(Main Power)スイッチを押してください。しばらくすると、Windowsが自動的に起動し、LuiStationの初期化を自動的に再開します。主電源(Main Power)ランプが青色に点灯しても、Windowsが自動的に起動しない場合は、PC電源(PC Power)スイッチを押し、Windowsを手動で起動してください。

付録　「お知らせ」に表示される内容について

LuiStationのシステムや放送局からのお知らせは、ホームメニューの「お知らせ」で確認することができます。

LuiStationのシステムメールや放送局からのメールを確認する

LuiStationのシステムや放送局からメールでお知らせがあるときは、LuiStationのホームメニューの右上に、メールのアイコンが表示されます。また、パソコンの通知(Information)ランプが青く点灯します。
障害が発生したときは、通知(Information)ランプが赤く点灯します。

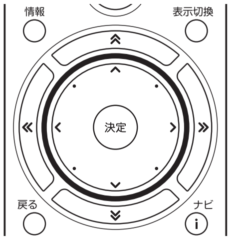
メールのアイコン



ポイント

- 「お知らせ」-「バージョン」を選んで【決定】を押すと、LuiStationのソフトのバージョンが表示されます。
- すべてのメールを見ると、通知(Information)ランプは消灯します。

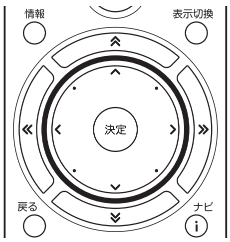
1 「お知らせ」-「メール」を選んで【決定】を押す

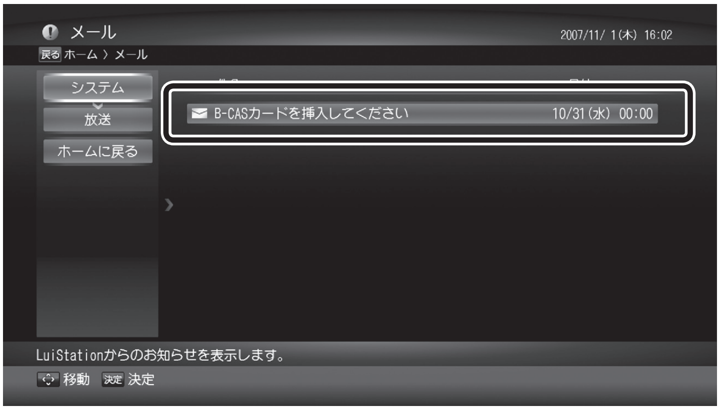




メールの一覧が表示されます。

2 「システム」または「放送」を選び、読みたいメールを選んで【決定】を押す





メールの内容が表示されます。

チェック

表示されるメールは30件までです。それを超えると開封/未開封にかかわらず古い順に削除されます。

「お知らせ」-「メール」-「システム」の内容について

「お知らせ」-「メール」-「システム」にメールが登録された場合は、メールの内容を確認のうえ、次のように対処してください。

■ 内部温度に問題があったため、シャットダウンしました。

■ 本体のファンの回転数に問題があったため、
シャットダウンしました。

■ 本体の電源に問題があったため、
シャットダウンしました。

■ 本体のマイコンに問題があったため、シャットダウン
しました。エラーコード:14000000

■ 本体の動作が不安定な状態です。
再起動を繰り返しましたが回復しないため、
シャットダウンしました。エラーコード:15000000
この問題が続くようであれば、すぐに使用を停止し、
電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

主電源(Main Power)を切り、1時間経ってから主電源(Main Power)を入れなおしてください。それでも同じ内容のメールが登録されるときは使用を中止してください。
そのまま使用すると、火災、やけど、感電のおそれがあります。内部の点検・調整は、121コンタクトセンターにお問い合わせください。

■ パソコンが起動しませんでした。
エラーコード:1C300000

■ 本体のチューナーボードに問題が検出されました。
エラーコード:18000000

■ マルチレコードキャストに問題が検出されました。
エラーコード: 19000000

Windowsを再起動してください。それでも同じ内容のメールが登録されるときは、内部のハードウェアが故障している可能性があります。121コンタクトセンターにお問い合わせください。

■ 本体のアンテナがショートしているため、
BS/CSアンテナ電源の供給を停止しました。
アンテナの確認をしてください。
エラーコード:16000000

『準備と設定』の第2章をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。
ご利用のBS/CSアンテナに電源を供給する必要がある場合は、次の設定を行ってください。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「LuiStation」-「LuiStation設定ツール」をクリック

「LuiStation設定ツール」が起動します。

参照
121コンタクトセンターについて
→『パソコンのトラブルを解決する本』の付録「121コンタクトセンターに電話する」

2 「チャンネル設定」をクリック

「チャンネル設定」が表示されます。

3 「BS/CSアンテナ電源」の「ON」をクリック

4 「OK」をクリック

■ 本体の録画用ハードディスクに問題が検出されました。

■ 本体の動作が不安定な状態です。
再起動を繰り返しましたが回復しないため、
シャットダウンしました。エラーコード:21000000

■ 本体の動作が不安定な状態です。
再起動を繰り返しましたが回復しませんでした。
エラーコード:22000000

録画用ハードディスク内のデータが破損している可能性があります。
何度もこのエラーが登録される場合は、付録の「工場出荷状態に戻す」(p.148)をご覧になり、工場出荷時に戻してください。
工場出荷状態に戻してもこの問題が続くようであれば、121コンタクトセンターにお問い合わせください。

参照

121コンタクトセンターについて
→『パソコンのトラブルを解決する本』の付録「121コンタクトセンターに電話する」

■ アップデートの準備ができました。

エクスプローラを起動し、メール本文に記載されているファイル名を実行してください。

■ 新しいアップデートプログラムがあります。

付録の「システム設定」(p.140)をご覧になり、アップデートプログラムを自動受信してください。

■ お住まいの地域において地上デジタル放送の
周波数リストが変更されます。

お住まいの地域で放送されている地上波デジタル放送のチャンネルが変更されます。メール本文に記載されている期間のうちにLuiStation設定ツールを使用してチャンネルスキャンをおこなってください。

■ 録画番組データベースの自動修復を行いました。

ハードディスクのデータが破損していたため、録画データベースを再構築しました。録画番組の一部が削除された可能性があります。削除された番組は復旧できません。
また、番組名や番組情報が復旧できなかった可能性があります。番組情報が復旧できなかった番組は、再生や、BD-REやDVD-RAMへのムーブができない場合があります。

■ B-CASカードが挿入されていないため、
契約情報の確認ができません。

B-CASカードが挿入されていません。このパソコンに添付のB-CASを正しい方向でパソコンに挿入してください。

■ B-CASカードを確認してください。

B-CASカードが正しく挿入されているかどうか確認してください。
B-CASカードが挿入されているにもかかわらずこのエラーが登録されるときは、B-CASカードを一度抜いて、正しい方向で挿入しなおしてください。

■ 無効なB-CASカードが挿入されている、またはB-CASカードの挿入方向が異なっているため、契約情報の確認ができません。

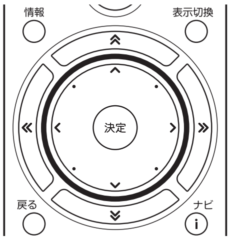
B-CASカードの挿入方向が正しくないか、このパソコンでは使用できないB-CASカードが挿入されています。このパソコンに添付のB-CASカードを正しい方向で挿入してください。
B-CASカードを正しい方向に挿入してもこのメッセージが登録される場合は、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。

■ B-CASカードの交換時期です。

B-CASカードの交換が必要です。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへお問い合わせください。

CSデジタルからのお知らせ(ボード情報)を確認する

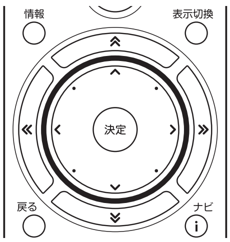
1 「お知らせ」-「ボード」を選んで【決定】を押す

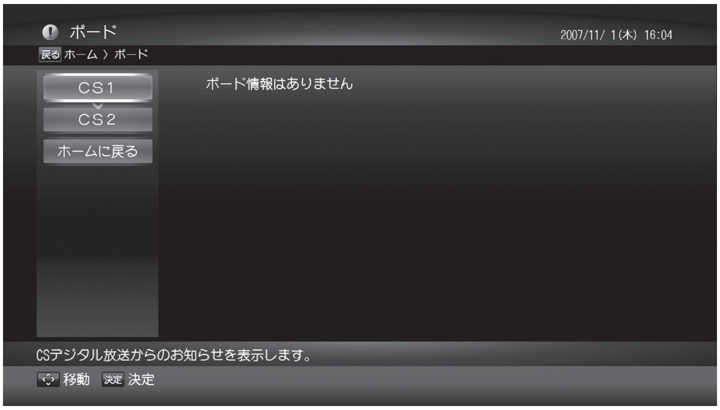




ボード情報の一覧が表示されます。

2 「CS1」または「CS2」を選び、読みたいボードを選んで【決定】を押す





ボードの内容が表示されます。

索　引　INDEX

オープンソフトウェア使用許諾条件書

このたびは、弊社製品をお求めいただき、まことにありがとうございます。お客様が購入されたこの製品（以下「本製品」といいます。）には、以下の ＧＮＵ劣等一般公衆利用許諾契約書（GNU Lesser General Public License）及び ＧＮＵ一般公衆利用許諾契約書（GNU General Public License）の適用ソフトウェアを使用しております。お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布を行う事ができる権利がございます。ソースコードは Web でご提供しております。
以下の URL にアクセスしてダウンロード可能です。なお、ソースコード及びその内容についてのご質問はご遠慮願います。

http://121ware.com/product/pc/support/lui/linux/index.html

+++GPLライセンス/LGPL適用ソフト+++

○GPL/LGPLライセンス適用ソフトウェアパッケージリスト

base-passwd
bash
beecrypt-dev
beecrypt-libs
binutils
bsdutils
comerr-dev
comerr-libs
console-data
console-tools
cpio
devfsd
dhcpcd
diff
e2fsprogs
ed
eject
fileutils
findutils
g++
gawk
gcc
gdbm-dev
gdbm-libs
glibc
glibc-i18ndata
glibc-libopt
glibc-linuxthreads
glibc-locales
glibc-nscd
glibc-pic
glibc-prof
glib-dev
glib-libs
grep
gzip
hostname
hotplug
hotplug-base
ifupdown
initscripts
iptables
iputils-arping
kernel-headers
kernel-headers-product
less
libgcc1
libpcre
libstdc++6
module-init-tools
mount
mvlutils
netbase
net-tools
pam
pam-cracklib
pam-modules
patch
perl
pkgconfig
popt-dev
popt-libs
procps
psmisc
readline-dev
readline-libs
rpm
rpm-build
rpm-edition
sed
shellutils
socket
ss-dev
ss-libs
sysfsutils
sysutils
sysvinit
tar
textutils
time
udev
util-linux
uuid-dev
uuid-libs
which

○以下の条件が適用されます。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a

notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License
along with this program; if not, write to the Free Software
Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it
under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
`Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are

prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it. You can use it for your libraries, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library. If the library is modified by someone else and passed on, we

want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs. This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries. This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.

The reason we have a separate public license for some libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it. Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application program. However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.

Because of this blurred distinction, using the ordinary General Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries. We concluded that weaker conditions might promote sharing better.

However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves. This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them. (We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the Library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library.

Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Library General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline

functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

c) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

d) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
    <one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
    Copyright (C) <year>  <name of author>

    This library is free software; you can redistribute it and/or
    modify it under the terms of the GNU Library General Public
    License as published by the Free Software Foundation; either
    version 2 of the License, or (at your option) any later version.

    This library is distributed in the hope that it will be useful,
    but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
    MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.  See the GNU
    Library General Public License for more details.

    You should have received a copy of the GNU Library General Public
    License along with this library; if not, write to the
    Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330,
    Boston, MA  02111-1307  USA.
```

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
  Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the
  library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

  <signature of Ty Coon>, 1 April 1990
  Ty Coon, President of Vice
```

That's all there is to it!

+++

オープンソースソフトウェアに関するお知らせ

このたびは、弊社製品をお求めいただき、まことにありがとうございます。お客様が購入されたこの製品（以下「本製品」といいます。）には、以下のオープンソースソフトウェアを使用しております。これらのソフトウェアは弊社が各著作権者とのライセンス契約に基づき使用しており、各著作権者の要求で弊社には下記内容をお客様に通知する義務があります。下記内容をご一読いただけますよう、お願いいたします。

+++BSDライセンス適用ソフト++
○BSDライセンス適用ソフトウェアパッケージリスト
hdparm
iputils-ping
iputils-tracepath
netkit-ftp
netkit-inetd

○以下の条件が適用されます。

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors
may be used to endorse or promote products derived from this software
without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

++

+++cracklib-dev/cracklib-libs++++++++++++++++++++++++++++++++++++
○以下の条件が適用されます。
(*
This document is freely plagiarised from the 'Artistic Licence',
distributed as part of the Perl v4.0 kit by Larry Wall, which is
available from most major archive sites
*)

This documents purpose is to state the conditions under which these
Packages (See definition below) viz: "Crack", the Unix Password Cracker,
and "CrackLib", the Unix Password Checking library, which are held in
copyright by Alec David Edward Muffett, may be copied, such that the
copyright holder maintains some semblance of artistic control over the
development of the packages, while giving the users of the package the
right to use and distribute the Package in a more-or-less customary
fashion, plus the right to make reasonable modifications.

So there.

++

+++db4-dev/db4-libs/db4-util++++++++++++++++++++++++++++++++++++++
○以下の条件が適用されます。
/*
* Copyright (c) 1990-2003
* Sleepycat Software. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. Redistributions in any form must be accompanied by information on
* how to obtain complete source code for the DB software and any
* accompanying software that uses the DB software. The source code
* must either be included in the distribution or be available for no
* more than the cost of distribution plus a nominal fee, and must be
* freely redistributable under reasonable conditions. For an
* executable file, complete source code means the source code for all
* modules it contains. It does not include source code for modules or
* files that typically accompany the major components of the operating
* system on which the executable file runs.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY SLEEPYCAT SOFTWARE ``AS IS'' AND ANY EXPRESS
* OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR
* NON-INFRINGEMENT, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL SLEEPYCAT SOFTWARE
* BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
* CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
* SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
* INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
* CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
* THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*/
/*
* Copyright (c) 1990, 1993, 1994, 1995
* The Regents of the University of California. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors
* may be used to endorse or promote products derived from this software
* without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*/
/*
* Copyright (c) 1995, 1996
* The President and Fellows of Harvard University. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors
* may be used to endorse or promote products derived from this software
* without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY HARVARD AND ITS CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL HARVARD OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*/
++

+++dhcp/dhcp-relay++
○以下の条件が適用されます。
/*
* Copyright (c) 1996, 1998, 1999 The Internet Software Consortium.
* All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright

*   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
*   documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. Neither the name of The Internet Software Consortium nor the names
*   of its contributors may be used to endorse or promote products derived
*   from this software without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INTERNET SOFTWARE CONSORTIUM AND
* CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,
* INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF
* MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INTERNET SOFTWARE CONSORTIUM OR
* CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT
* LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF
* USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND
* ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY,
* OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT
* OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* This software has been written for the Internet Software Consortium
* by Ted Lemon <mellon@fugue.com> in cooperation with Vixie
* Enterprises. To learn more about the Internet Software Consortium,
* see ``http://www.vix.com/isc''. To learn more about Vixie
* Enterprises, see ``http://www.vix.com''. */

+++

+++file/file-dev+++
○以下の条件が適用されます。
Copyright (c) Ian F. Darwin 1986, 1987, 1989, 1990, 1991, 1992, 1994, 1995.
Software written by Ian F. Darwin and others;
maintained 1994-2004 Christos Zoulas.

This software is not subject to any export provision of the United States
Department of Commerce, and may be exported to any country or planet.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice immediately at the beginning of the file, without modification,
   this list of conditions, and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR
ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.
+++

+++libcap/libcap-dev/libcap-libs+++++++++++++++++++++++++++++++++
○以下の条件が適用されます。
Redistribution and use in source and binary forms of libcap, with
or without modification, are permitted provided that the following
conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain any existing copyright
   notice, and this entire permission notice in its entirety,
   including the disclaimer of warranties.

2. Redistributions in binary form must reproduce all prior and current
   copyright notices, this list of conditions, and the following
   disclaimer in the documentation and/or other materials provided
   with the distribution.

3. The name of any author may not be used to endorse or promote
   products derived from this software without their specific prior
   written permission.

ALTERNATIVELY, this product may be distributed under the terms of the
GNU General Public License, in which case the provisions of the GNU
GPL are required INSTEAD OF the above restrictions. (This clause is
necessary due to a potential conflict between the GNU GPL and the
restrictions contained in a BSD-style copyright.)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED
WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING,
BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS
OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND
ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE
USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH
DAMAGE.
+++

+++libwrap/tcpd++
○以下の条件が適用されます。
/**
* Copyright 1995 by Wietse Venema. All rights reserved. Some individual
* files may be covered by other copyrights.
*
* This material was originally written and compiled by Wietse Venema at
* Eindhoven University of Technology, The Netherlands, in 1990, 1991,
* 1992, 1993, 1994 and 1995.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that this entire copyright notice
* is duplicated in all such copies.
*
* This software is provided "as is" and without any expressed or implied
* warranties, including, without limitation, the implied warranties of
* merchantibility and fitness for any particular purpose.
**/

+++

+++lilo++
○以下の条件が適用されます。
LInux LOader (LILO) program code, documentation, and auxiliary programs are
Copyright 1992-1998 Werner Almesberger.
Copyright 1999-2004 John Coffman.
All rights reserved.

License
=======

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions are
met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice,
this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the names of the author(s) nor the names of other contributors
may be used to endorse or promote products derived from this software
without specific prior written permission.

Disclaimer
==========

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS
"AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR
A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR
PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF
LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING
NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

+++

+++linux-ftpd++
○以下の条件が適用されます。
Copyright 1988, 1991 by Carnegie Mellon University

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its
documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided
that the above copyright notice appear in all copies and that both that
copyright notice and this permission notice appear in supporting
documentation, and that the name of Carnegie Mellon University not be used
in advertising or publicity pertaining to distribution of the software
without specific, written prior permission.

CARNEGIE MELLON UNIVERSITY DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS
SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS.
IN NO EVENT SHALL CMU BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR
PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS
ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS
SOFTWARE.

+++

+++openssh/openssh-clients/openssh-server++++++++++++++++++++++++
○以下の条件が適用されます。
The licences which components of this software fall under are as
follows. First, we will summarize and say that all components
are under a BSD licence, or a licence more free than that.

OpenSSH contains no GPL code.

1)

```
 * Copyright (c) 1995 Tatu Ylonen <ylo@cs.hut.fi>, Espoo, Finland
 *                    All rights reserved
 *
 * As far as I am concerned, the code I have written for this software
 * can be used freely for any purpose.  Any derived versions of this
 * software must be clearly marked as such, and if the derived work is
 * incompatible with the protocol description in the RFC file, it must be
 * called by a name other than “ssh” or “Secure Shell”.

[Tatu continues]
 *  However, I am not implying to give any licenses to any patents or
 * copyrights held by third parties, and the software includes parts that
 * are not under my direct control.  As far as I know, all included
 * source code is used in accordance with the relevant license agreements
 * and can be used freely for any purpose (the GNU license being the most
 * restrictive); see below for details.

[However, none of that term is relevant at this point in time.  All of
these restrictively licenced software components which he talks about
have been removed from OpenSSH, i.e.,

 - RSA is no longer included, found in the OpenSSL library
 - IDEA is no longer included, its use is deprecated
 - DES is now external, in the OpenSSL library
 - GMP is no longer used, and instead we call BN code from OpenSSL
 - Zlib is now external, in a library
 - The make-ssh-known-hosts script is no longer included
 - TSS has been removed
 - MD5 is now external, in the OpenSSL library
 - RC4 support has been replaced with ARC4 support from OpenSSL
 - Blowfish is now external, in the OpenSSL library

[The licence continues]

Note that any information and cryptographic algorithms used in this
software are publicly available on the Internet and at any major
bookstore, scientific library, and patent office worldwide.  More
information can be found e.g. at “http://www.cs.hut.fi/crypto”.

The legal status of this program is some combination of all these
permissions and restrictions.  Use only at your own responsibility.
You will be responsible for any legal consequences yourself; I am not
making any claims whether possessing or using this is legal or not in
your country, and I am not taking any responsibility on your behalf.


                        NO WARRANTY

BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY
FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW.  EXCEPT WHEN
OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES
PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED
OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.  THE ENTIRE RISK AS
TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU.  SHOULD THE
PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING,
REPAIR OR CORRECTION.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING
WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR
REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES,
INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING
OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED
TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY
YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER
PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE
POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.
```

2)

```
The 32-bit CRC compensation attack detector in deattack.c was
contributed by CORE SDI S.A. under a BSD-style license.

 * Cryptographic attack detector for ssh - source code
 *
 * Copyright (c) 1998 CORE SDI S.A., Buenos Aires, Argentina.
 *
 * All rights reserved. Redistribution and use in source and binary
 * forms, with or without modification, are permitted provided that
 * this copyright notice is retained.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED
 * WARRANTIES ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL CORE SDI S.A. BE
 * LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY OR
 * CONSEQUENTIAL DAMAGES RESULTING FROM THE USE OR MISUSE OF THIS
 * SOFTWARE.
 *
 * Ariel Futoransky <futo@core-sdi.com>
 * <http://www.core-sdi.com>
```

3)

```
ssh-keygen was contributed by David Mazieres under a BSD-style
license.

 * Copyright 1995, 1996 by David Mazieres <dm@lcs.mit.edu>.
 *
 * Modification and redistribution in source and binary forms is
 * permitted provided that due credit is given to the author and the
 * OpenBSD project by leaving this copyright notice intact.
```

4)

```
The Rijndael implementation by Vincent Rijmen, Antoon Bosselaers
and Paulo Barreto is in the public domain and distributed
with the following license:

 * @version 3.0 (December 2000)
 *
 * Optimised ANSI C code for the Rijndael cipher (now AES)
 *
 * @author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>
 * @author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>
 * @author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>
 *
 * This code is hereby placed in the public domain.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS ''AS IS'' AND ANY EXPRESS
 * OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
 * WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
 * ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE
 * LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
 * CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
 * SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
 * BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
 * WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE
 * OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE,
 * EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
```

5)

```
One component of the ssh source code is under a 3-clause BSD license,
held by the University of California, since we pulled these parts from
original Berkeley code.

 * Copyright (c) 1983, 1990, 1992, 1993, 1995
 *      The Regents of the University of California.  All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *    documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors
 *    may be used to endorse or promote products derived from this software
 *    without specific prior written permission.
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
 * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
 * ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
 * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
 * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
 * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
 * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
 * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
 * SUCH DAMAGE.
```

6)

```
Remaining components of the software are provided under a standard
2-term BSD licence with the following names as copyright holders:

    Markus Friedl
    Theo de Raadt
    Niels Provos
    Dug Song
    Aaron Campbell
    Damien Miller
    Kevin Steves
    Daniel Kouril
    Wesley Griffin
    Per Allansson
    Nils Nordman
    Simon Wilkinson

Portable OpenSSH additionally includes code from the following copyright
holders, also under the 2-term BSD license:

    Ben Lindstrom
    Tim Rice
    Andre Lucas
    Chris Adams
    Corinna Vinschen
    Cray Inc.
    Denis Parker
    Gert Doering
    Jakob Schlyter
    Jason Downs
    Juha Yrj
    Michael Stone
    Networks Associates Technology, Inc.
    Solar Designer
    Todd C. Miller
    Wayne Schroeder
    William Jones
```

Darren Tucker

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
*   documentation and/or other materials provided with the distribution.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR
* IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
* OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
* IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
* DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
* THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
* THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

8) Portable OpenSSH contains the following additional licenses:

a) md5crypt.c, md5crypt.h

* "THE BEER-WARE LICENSE" (Revision 42):
* <phk@login.dknet.dk> wrote this file. As long as you retain this
* notice you can do whatever you want with this stuff. If we meet
* some day, and you think this stuff is worth it, you can buy me a
* beer in return.   Poul-Henning Kamp

b) snprintf replacement

* Copyright Patrick Powell 1995
* This code is based on code written by Patrick Powell
* (papowell@astart.com) It may be used for any purpose as long as this
* notice remains intact on all source code distributions

c) Compatibility code (openbsd-compat)

Apart from the previously mentioned licenses, various pieces of code
in the openbsd-compat/ subdirectory are licensed as follows:

Some code is licensed under a 3-term BSD license, to the following
copyright holders:

Todd C. Miller
Theo de Raadt
Damien Miller
Eric P. Allman
The Regents of the University of California

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
*   documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors
*   may be used to endorse or promote products derived from this software
*   without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.

Some code is licensed under an ISC-style license, to the following
copyright holders:

Internet Software Consortium.
Todd C. Miller

* Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any
* purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above
* copyright notice and this permission notice appear in all copies.
*
* THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND TODD C. MILLER DISCLAIMS ALL
* WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES
* OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL TODD C. MILLER BE LIABLE
* FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES
* WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION
* OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN
* CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Some code is licensed under a MIT-style license to the following
copyright holders:

Free Software Foundation, Inc.

* Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a *
* copy of this software and associated documentation files (the   *
* "Software"), to deal in the Software without restriction, including   *
* without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish,   *
* distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell   *
* copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is   *
* furnished to do so, subject to the following conditions: *
*   *
* The above copyright notice and this permission notice shall be included *
* in all copies or substantial portions of the Software.   *
*   *
* THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS *
* OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF   *
* MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.   *
* IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM,   *
* DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR   *
* OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR   *
* THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.   *
*   *
* Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright   *
* holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the   *
* sale, use or other dealings in this Software without prior written   *
* authorization.   *
**/

++

+++openssl-libs+++
○以下の条件が適用されます。
/* ==
* Copyright (c) 1998-2004 The OpenSSL Project. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer in
*   the documentation and/or other materials provided with the
*   distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this
*   software must display the following acknowledgment:
*   "This product includes software developed by the OpenSSL Project
*   for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
*   endorse or promote products derived from this software without
*   prior written permission. For written permission, please contact
*   openssl-core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
*   nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
*   permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
*   acknowledgment:
*   "This product includes software developed by the OpenSSL Project
*   for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
* ==
*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation

* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
*   documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
*   must display the following acknowledgement:
*   "This product includes cryptographic software written by
*   Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
*   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
*   being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
*   the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
*   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/

+++

+++shadow++
○以下の条件が適用されます。
This software is copyright 1988 - 1994, Julianne Frances Haugh.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Julianne F. Haugh nor the names of its contributors
   may be used to endorse or promote products derived from this software
   without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY JULIE HAUGH AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL JULIE HAUGH OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

This source code is currently archived on ftp.uu.net in the
comp.sources.misc portion of the USENET archives. You may also contact
the author, Julianne F. Haugh, at jfh@tab.com if you have
any questions regarding this package.

THIS SOFTWARE IS BEING DISTRIBUTED AS-IS. THE AUTHORS DISCLAIM ALL
LIABILITY FOR ANY CONSEQUENCES OF USE. THE USER IS SOLELY RESPONSIBLE
FOR THE MAINTENANCE OF THIS SOFTWARE PACKAGE. THE AUTHORS ARE UNDER NO
OBLIGATION TO PROVIDE MODIFICATIONS OR IMPROVEMENTS. THE USER IS
ENCOURAGED TO TAKE ANY AND ALL STEPS NEEDED TO PROTECT AGAINST ACCIDENTAL
LOSS OF INFORMATION OR MACHINE RESOURCES.

Source files: login_access.c, login_desrpc.c, login_krb.c are derived
from the logdaemon-5.0 package, which is under the following license:

/**
* Copyright 1995 by Wietse Venema. All rights reserved. Individual files
* may be covered by other copyrights (as noted in the file itself.)
*
* This material was originally written and compiled by Wietse Venema at
* Eindhoven University of Technology, The Netherlands, in 1990, 1991,
* 1992, 1993, 1994 and 1995.
*
* Redistribution and use in source and binary forms are permitted
* provided that this entire copyright notice is duplicated in all such
* copies.
*
* This software is provided "as is" and without any expressed or implied
* warranties, including, without limitation, the implied warranties of
* merchantibility and fitness for any particular purpose.
**/

+++

+++sudo++
○以下の条件が適用されます。
Sudo is distributed under the following BSD-style license:

Copyright (c) 1994-1996,1998-2003 Todd C. Miller <Todd.Miller@courtesan.com>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. The name of the author may not be used to endorse or promote products
   derived from this software without specific prior written permission
   from the author.

4. Products derived from this software may not be called "Sudo" nor
   may "Sudo" appear in their names without specific prior written
   permission from the author.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,
INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY
AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL
THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF
ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Sponsored in part by the Defense Advanced Research Projects
Agency (DARPA) and Air Force Research Laboratory, Air Force
Materiel Command, USAF, under agreement number F39502-99-1-0512.

Additionally, lsearch.c, fnmatch.c, getcwd.c, snprintf.c, strcasecmp.c
and fnmatch.3 bear the following UCB license:

Copyright (c) 1987, 1989, 1990, 1991, 1993, 1994
     The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors
   may be used to endorse or promote products derived from this software
   without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

+++

+++tcsh++
○以下の条件が適用されます。
tcsh is Copyright (c) The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the

++

MEMO

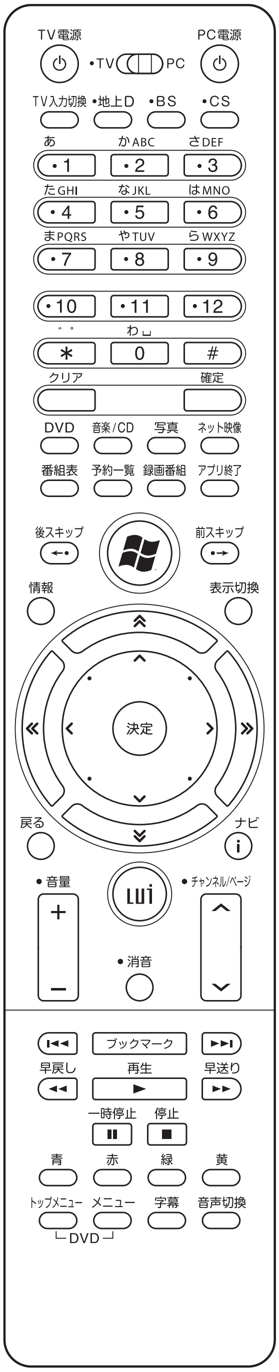
MEMO

リモコンを使えるソフトについて

このマニュアルで説明している以外にも、次のソフトでリモコンを使うことができます。

・「BeatJam」
・「WinDVD for NEC」
・「WinDVD BD for NEC」

※：ご購入いただいたモデルにより、添付されるソフトは異なります。



ボタン	WinDVD※1	BeatJam
【DVD】	WinDVDの起動	－
【早戻し】	巻き戻し※2	－
【早送り】	早送り※2	－
【⏮】、【⏭】	前後のチャプターへ移動	前後の曲へ移動
【︽】、【︾】	前後のチャプターへ移動	－
【再生】	再生	再生
【一時停止】	一時停止	一時停止
【停止】	停止	停止
【ナビ】	サブメニューの表示	－
【矢印】	項目の移動	項目の移動
【決定】	決定	決定
【音量】	音量の変更※3	音量の変更
【消音】	消音	消音
【1】～【9】、【0】	チャプターの選択	－
【青】【赤】【緑】【黄】	ブルーレイディスクによって、使用する場合があります。詳しくは、ディスクに添付されているマニュアルをご覧ください。	－
【DVDメニュー】	再生されている映像のメニューを表示	－
【DVDトップメニュー】	トップメニューを表示	－
【字幕】	字幕のあるディスクで、字幕の言語や表示する／しないを切り換え	－
【音声切換】	主音声/副音声を切り換え	－

※1：「WinDVD for NEC」、「WinDVD BD for NEC」を指します（ご購入のモデルによって添付されるソフトは異なります）。
※2：押すたびに速度が変化します（速度はディスクによって異なります）。
※3：Windowsの音量が変化します。WinDVDの音量は変化しません。

LUI SX

AV機能ガイド

録画・映像・音楽を楽しむ本



810939001A

初版 2008年4月
NEC
853-810939-001-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1(ゲートシティ大崎 ウエストタワー)

このマニュアルは、再生紙を使用しています。